

機関名	北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場
部署名	製品技術部 デザイン・人間情報グループ
電話連絡先	011-747-2377

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
研究開発事業(デザイン関連)	-	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

道内の中小企業などが、新製品開発やデザイン活用をより効果的・効率的に進められるよう、国内外の最新の 知見を取り入れながら実践的な方法論や支援ツールを開発しています。

<これまでの主な研究>

1. 商品力強化のための食品パッケージデザイン分析ツールの開発(経常研究・ H25~26・場報告 No.314)

食品パッケージデザイン開発における、コンセプト開発やデザイン案評価を 支援するソフトウェアを開発しました。自己組織化ニューラルネットワーク技術 を応用しています。

2. 新型デザインマネジメントゲームの開発 (奨励研究・H25・場報告 No.313)

新製品開発を成功に導いていける"ものづくりリーダー"人材の育成を目的に、製品デザイン開発から販売までを模擬的に体験できるゲームを開発しました。

3. 道内食産業のためのブランドづくりに関する研究(経常研究・H21~23・場報告 No.312)

食関連事業者によるブランドづくりのケーススタディを通じて、ブランドづくりの考え方や具体的な手法を小冊子「食のブランドづくり読本」としてまとめました。

4. デザイナーと依頼企業の合意形成を支援する手法の開発(経常研究・H21 ~22・場報告 No.311)

デザイナーやデザイン依頼者などへのヒアリング調査を通じて、商品開発やデザイン活用のビギナーを対象に、デザイン活用に関する基本的な知識などを提供する web サイト「モノのデザインを成功に導くガイド」をまとめました。

<事業に関する情報が掲載されているURL>

https://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/jyoho/reports/index.html (工業試験場報告)









次回実施予定及び評価

機関名	北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場
部署名	製品技術部 デザイン・人間情報グループ
電話連絡先	011-747-2377

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術支援事業(その1 デザイン活用支援)	_	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

道内の中小企業等を対象に、デザインの戦略的な活用による新製品開発やブランドづくりなどを、次のメニューにより支援しています。

1. 技術相談

電話・面談などにより一回〜数回にわたるアドバイスを行います(デザイン分野 H26 実績・約 130 件)。

2. 技術指導・講師派遣

新製品の企画やコンセプトの強化、各種デザインリサーチの設計・実施、デザイン業とのマッチング、具体的な製品等のデザイン開発・ブランディング、企業等におけるセミナー開催などを、数ヶ月~数年の期間に渡って支援します(デザイン分野 H26 実績・6 件)。



【支援テーマ例】

- ・農業機械・食品関連機械等のUIデザイン
- 食品のブランディング、パッケージデザイン
- ・道内市町村等におけるデザインセミナー企画・運営

3. 派遣指導·短期実用化研究開発

当場職員が依頼企業等に出向き、製品開発やデザイン活用、ブランディングなどに関する技術的課題の解決に取り組みます(デザイン分野 H26 実績・4 件 34 日)。

【支援テーマ例】

- ・地域木材を活用した新製品開発・事業化支援
- ・動物キャラクターを活用した地域産品プロモーション

4. 設備使用

非接触 3 次元測定機や 5 軸 NC 加工システム、光造形システム、3D プリンター、UV プリンターなどの設備を道内企業に開放し、デザイン開発プロセスにおける試作開発などを支援しています(上記 5 設備 H26 実績・81 件)。



次回実施予定及び評価

機関名	北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場
部署名	製品技術部 デザイン・人間情報グループ
電話連絡先	011-747-2377

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術支援事業(その2 研究成果普及・移転)	-	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

研究開発事業による成果の普及・移転を図るため、次の取り組みを実施しています。

1. 開発したツール類の普及

技術相談や技術支援、研修会などを通じて、これまで開発したデザイン活用に係わる次のようなツール類の普及・移転を図っています。

- ・地域ブランドづくりのためのデザイン・IT 活用ガイド
- ・戦略的デザイン活用ガイド
- ・北海道・食のブランドづくり読本
- ・WEBサイト「モノのデザインを成功に導くガイド」http://hrodesign.net
- ・デザイン活動を支援するワークシートツール
- ・デザインマネジメントゲーム

2. デザイン関連の研究会支援

工業試験場が運営の中核を担っているデザイン活用の勉強会「北海道デザインマネジメントフォーラム(以下 H D M F、H20.8 設立 http://hdmf-hdmf.blogspot.jp/)」において、各種事業の企画・計画づくりや実施を支援しています。

<HDMF主要事業「山村塾」の概要>

中小企業への製品開発支援の経験が豊富な(株)コボ代表の山村真一氏を塾長に迎え、新製品開発やデザイン活用の適切な進め方などを、参加者が主体的に学び取ることを狙いとした講座事業です。 H24 年度からHDMFの主要事業として取り組んでいます。

①夏期集中ワークショップの実施(H26)

山村塾長による話題提供とアドバイスのもと、新製品開発の進め 方やデザイン活用のポイントなどを、参加者自身がグループワークを 通じて整理しました。

- ・講師: (株) コボ代表取締役社長 山村真一 氏
- ·開催日·参加者数: H26.7.29~30 参加者延べ61名
- ②オリジナルツール開発(H27)



山村塾の成果として、新製品開発プロジェクトにおける企画立案やプロジェクト設計に活用できるカード &マップ形式のツール「プロジェクトメーカー」を開発しました(近日発売予定)。

次回実施予定及び評価

機関名	札幌市
部署名	経済局国際経済戦略室海外戦略推進課
電話連絡先	011-211-2379

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
札幌スタイル推進事業	平成 16 年度	15,610 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)



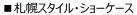
札幌の良好な都市イメージを活用した地域ブランド「札幌スタイル」を構築し、ブランドの価値、製品の付加価値を 高め、市内中小企業等の競争力強化につなげることを目的としている。個々の企業が不足する機能や能力を相互 に補完しつつ、ブランドカの強化、プロモーションや販路拡大を図っている。

■札幌スタイル認証事業

「札幌スタイル」のブランドを形作る、札幌ならではの完成製品を公募し、審査の うえ認証する。平成 27 年度は新規8製品、追加4製品、更新29製品を認証 し、平成28年1月1日現在、40社124製品を認証している。

■札幌スタイルショップの運営

平成20年4月、札幌でも有数の人気スポットJRタワー展望室の入口に開設。「札幌スタイル」の情報発信拠点として、認証製品の販売や情報発信を行っている。



上記ショップの情報発信機能を補完する目的で、市街中心駅の地下鉄駅構内にショーウィンドーを設置。札幌スタイルショップと連動しながら認証製品の企画展示を行っている。

■ 他産業・他地域連携の取組

相互補完・相乗効果が期待できる他地域・他産業とした取組を進めている。平成 27 年度は、富山県高岡市企業との共同製品開発や両市での販売プロモーション を行った。

■札幌スタイル機構

札幌スタイル認証製品を持つ企業等による任意団体(平成 23 年 1 月設立)。 札幌スタイル公式ホームページの管理運営、展示・販売イベントの企画運営を行っている。平成 27 年度は高岡市内のギャラリーでの期間限定フェア、札幌市内商業施設での企画展、さっぽろ雪まつりでのブース出展などを行った。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.sapporo.jp/keizai/sapporo-style/(市役所 HP)

http://www.sapporostyle.jp/(札幌スタイル公式 HP)



(7月3日開催)



札幌スタイルショップ



札幌スタイル展 (11月11日~15日開催)

次回実施予定及び評価

機関名	札幌市
部署名	経済局産業振興部ものづくり産業課
電話連絡先	011-211-2362

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン活用型製品開発支援事業	平成 25 年度	5,900 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

市内中小企業を対象に、商品開発や販売促進など経営上のさまざまな課題に対して、デザイン活用・導入することを支援し、市内企業の製品企画力、競争力強化を図る。

■デザイン戦略セミナーの開催

(1) 実施時期:平成27年6月26日(金)

内容:「伝わる」ものづくりセミナー

「デザインエンジニアリング」手法を使い、様々な分野の企業と共に製品開発のプロジェクトを手がける工業デザイナーによる講演のほか、デザイン戦略において先進的な取組を進める道内企業の事例を紹介

参加人数:60名

(2) 実施時期:平成27年12月18日(金)

内容:伝わるものづくりセミナー~「経営資源を活かしたデザインマネジメント」

デザインマネジメントで注目を集める講師により、デザインの重要性や伝わるブランドづくりについての講演のほか、デザイン戦略を 取り入れた企業の事例を紹介

■専門家チーム派遣

新製品開発や新事業展開を目指す意欲のある市内中小企業に対して、豊富な企業支援実績を持つ「製品開発プロデューサー」及びマーケティング、セールス、ブランディング、デザイン、知的財産等の各分野の専門家である「製品開発アドバイザー」により構成される支援チームを派遣し、製品開発におけるプロセスを支援することで、企業の製品開発力、競争力を強化することを目的とする

■ものづくり道場の開催(予定)

実施時期:平成27年2月18日(金)

内容:企業経営者や開発担当者を対象に、製品課題の明確化、コンセプト構築の過程を体感する講演とワークショップを通して、デザイン戦略を学ぶ少数規模の勉強会を実施

<事業に関する情報が掲載されているサイトURL>

http://www.city.sapporo.jp/keizai/seizo/shien/design/top.html

次回実施予定及び評価

機関名	旭川市
部署名	経済観光部 産業振興課
電話連絡先	0 1 6 6 - 6 5 - 7 0 4 7

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
 デザインギャラリー及びコレクション館管理負担金	平成9年度	14,319 千円
ナリ1ノキャノリー及びコレクンコン略官垤貝担並 	十成9年長	16,726 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

産業デザインを主体とした、企画展示及び発表の場としてのデザインギャラリー、産業分野その他貴重なコレクションを主に展示するコレクション館の管理運営を行い、地場産業デザイン振興の動機付けやデザインマインドの高揚を図る。

- ■運営団体:旭川デザイン協議会(会長 伊藤 友一)
- ■所 在:旭川市宮下通11丁目 上川倉庫「蔵囲夢」内
- ■入館者数(平成26年3月末現在)
- ・デザインギャラリー 14,928 人
- ・コレクション館 8,638 人
- ■平成26年度展示事業:
- ・デザインギャラリー

旭川クラフト展2014,旭川デザイン協議会展,旭川広告デザイン協議会展 他

・コレクション館

旭川クラフト展2014, ハンス・J・ウェグナー展 他



旭川クラフト展2014 (2014.6.17~29)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http:// potato.hokkai.net/~ada/



旭川デザイン協議会展2015 (2015.1.6~25)

次回実施予定及び評価

平成27年度も継続して実施。市民に開かれた質の高いデザイン展示・発表の場として評価を得ている。

機関名	旭川市
部署名	経済観光部 産業振興課
電話連絡先	0166-65-7047

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興基金積立金	平成元年度	134千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デザインに関する事業に必要な経費の財源に充てるため,「旭川デザイン振興基金条例」を制定し,基金趣旨 に賛同する企業及び団体からの寄付金を積み立てる。

平成27年3月現在 基金額 18,581,695円

次回実施予定及び評価

平成27年度も継続して実施

機関名	旭川市
部署名	経済観光部 旭川市工芸センター
電話連絡先	0166-66-1770

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ASAHIKAWA DESIGN WEEK 開催支援事業	昭和 30 年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

「ASAHIKAWA DESIGN WEEK」は、旭川地域における木製品産業、ものづくり、デザインをトータルでPRする旭川地域で開催されるイベントである。

昭和 30 年より開催してきた「旭川家具産地展」が 61 回目を迎えるに際し、「ASAHIKAWA DESIGN WEEK」と改称し、各種デザインコンテンツを加えプロユーザーだけではなく一般ユーザーも含めて旭川広域地域を舞台に家具木工産業を世界に広めるイベントとしてリニューアルした。

平成 28 年度の「ASAHIKAWA DESIGN WEEK2016」においても前年度同様,新作家具やクラフトの展示,講演会,インスタレーション等,一連のイベントを実施する予定。

<平成 27 年度 開催内容>

イベント名 ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2015

主 催 旭川家具出品者協会(旭川家具工業協同組合,旭川商工会議所,旭川市)

期 日 平成 27年6月24日(水)~6月28日(日) ※一般公開日27,28日

場 所 旭川家具センター(北海道旭川市永山2条10丁目)ほか

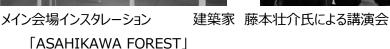
実施内容 旭川地域で生産された新作家具やクラフト・工芸品の展示

建築家 藤本壮介氏によるインスタレーション及びトークイベント

織田コレクションによるイタリアデザインの展示, ファクトリーツアー 等

参加人数 5700人





<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.asahikawa-kagu.or.jp/adw/

次回実施予定及び評価

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2016 の開催に向けて事業を継続する。

※期日 平成28年6月22日(水)~6月26日(日) ※一般公開日25,26日

機関名	旭川市
部署名	経済観光部 工芸センター
電話連絡先	0 1 6 6 - 6 6 - 1 7 7 0

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
国際家具デザインフェア旭川2017開催事業	平成27年度 ※開催は平成29年度	15,000 千円(補助) 45,236 千円(全体) ※IFDA2014(H24~ H26)の事業費

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

「国際家具デザインフェア旭川(IFDA)」は、本市における主要な地域産業のひとつである家具製造業のデザインの高度化と高付加価値化及び家具産地としてイメージの高揚、デザインによる国際交流の促進及び市民の家具デザインへの理解を深めることを目的として、平成2年度以降3年毎に開催されているデザインの国際イベントである。

木製家具の国際的なデザインコンペティションを中軸に、展示会、デザインセミナーなどを開催している。

平成28年度は、10回目の開催となる「国際家具デザインフェア旭川2017」の開催に向けて、デザインコンペティションなどの一連のイベントの準備を実施する。

〈平成 28 年度 実施予定内容〉

事業名:国際家具デザインフェア旭川2017(IFDA)

主 催:国際家具デザインフェア旭川開催委員会

実施事業内容(予定)

- •開催委員会開催
- ・国際家具デザインコンペティション旭川 開催
 - ・コンペ作品募集
 - ·予備審查会開催
 - ·試作品製作
 - ・本審査開催 など



IFDA2014 ゴールドリーフ賞

<平成 29 年度 実施予定内容>

・国際家具デザインフェア旭川2017 開催

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.ifda.jp/ ※IFDA2014 のホームページ

次回実施予定及び評価

国際家具デザインフェア旭川2017の開催に向けて事業を継続して実施。

機関名	函館市
部署名	経済部工業振興課
電話連絡先	0138-21-3314

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン産業推進事業	25 年度	4,800 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【事業内容】

平成25年度から平成27年度まで、市内食品加工企業のビジュアルコミュニケーション導入に対する支援を、市内デザイン関連団体に委託し実施してきた。

支援内容は、デザインを通じて企業価値、商品価値を高めたい市内食品加工企業を対象に、地元デザイナーのマッチングを行ったうえで、企業とデザイナーの協業によるデザイン戦略やデザインコンセプトの作成など、ビジュアルコミュニケーション導入初期の取り組みを支援するものである。

本事業による支援期間は1年間で、2年目以降は企業とデザイナーが直接契約を結び、企業とデザイナーが協業を継続する。

平成28年度においては、これまで実施してきた事業の評価検証や市内企業への広報活動など、平成29年度以降のデザイン産業推進事業に向けた取り組みを行う予定。

【支援対象企業一覧】

- 平成25年度支援対象企業 2社(水産加工業,乳製品製造業)
- 平成26年度支援対象企業 2社(菓子製造業,水産加工業)
- 平成27年度支援対象企業 2社(菓子·惣菜製造業,水産加工業)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014040800108/

次回実施予定及び評価

平成28年度の評価検証を経て平成29年度から実施予定

機関名	帯広市
部署名	商工観光部 工業労政課
電話連絡先	0155-65-4167

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
帯広市ものづくり総合支援補助金	平成 20 年度	7,000 千円
市仏印でのノバがロメ抜併め並	十成 20 平反	(平成27年度時点)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 目的

新たなものづくりの先導的な取組み及び新しい産業を創造する中小企業者を、研究開発から技術指導、販路開拓までを総合的に支援し、本市産業経済の発展に資するため、事業費の一部を補助するもの。

2 対象者

- ・中小企業者、又は中小企業者で構成された団体・グループ (海外販路開拓の場合は、中小企業者で構成された団体・グループに限る)
- ・帯広市に主たる事業所があること。
- ・市税の滞納がないこと(市長が特に認める場合を除く)。

3 対象事業

- ①新製品・新技術・新サービス開発
- ②国内販路開拓
- ③海外販路開拓
- ④新事業・新分野進出
- ※いずれの区分もデザイン開発に係る経費は対象。

4 補助額

補助対象経費の1/2以内

上記①・④の事業は限度額150万円

上記②・③の事業は限度額50万円

ただし、産学官・異業種連携により①~④の事業を実施する場合はそれぞれの限度額に 50万円を加算する。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shoukoukankoubu/kougyourouseika/b040104monozukuri.html

次回実施予定及び評価

継続予定ではあるが、予算や詳細については未定。



青森県

機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所
部署名	生活デザイン部
電話連絡先	0172-55-6740

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
開発研究·支援研究·重点事業	平成 25 年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1、開発研究

「伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究」

① 現代生活空間における漆の配色に関する研究(H27~28)

概 要;津軽塗業界では従来の使用環境である日本家屋様式の減少化にともない製造販売している 製品の配色や形状が現代の生活空間に合っていないという問題をかかえている。

そこで、現代の住空間の配色調査・形状 調査及び研究し、カラーイメージマップにまとめる。 マップを基に手板・製品アイテム試作検討する。

② 県産材三次元曲面加工に関する研究 (H26~30)

概要;木工業界では青森らしさや三次元曲面加工等デザイン性に優れた家具・木工品の開発が求められている。しかし、 県内木工企業は3次元曲面加工用の高度な設備を持っていない。 そこで、既存木工用 NC マシンで三次曲面成形型を製作するための 3DCAD/CAM 変換プログラムを検討し、三次元曲面加工研究会で提案された製品アイデアを試作する。







ポイント: 昔と今では生活空間の色・明度が違う

2、支援研究

「デザイン関連技術支援事業」(H26~30)

概 要;商品開発を目指す県内企業の育成・強化・発展を図るために パカンド・デザインや木工・漆工関連の調査、研究成果による普及、情報発信などの技術支援を行う。



ポイント:治具による曲面加工技術の開発

3、重点事業

「高齢者施設の QOL が高い製品開発事業」(H27~28)

- 概 要;高齢者のクォリティー オブ ライフを向上するため、高齢者やその高齢者をケアする施設従事者が安心し、 安らぎを持てる福祉介護製品を青森県の資源を生かした開発・提案・普及を実施する。
 - 1.老人ホームをフィールドとし、職員の意見を参考にしながら、福祉機器の調査研究する。
 - 2.センサー技術を使い効果測定方法など検討する。

「商品開発支援体制強化事業」(H27~28)

- 概 要;商品開発を目指す県内企業の育成・強化・発展を図るためにデザインや木工・漆工関連の調査、研究成果による普及、情報発信などの技術支援を行う。
 - 1. 商品開発総合支援体制

これまでの製品の技術的支援のほか、商品企画・デザイン企画立案、商品試作まで商品開発全般を支援

2. 県内デザイナーとの連携による商品開発実践プログラムの実施

「商品企画支援ツール(V-cup)」を活用した商品開発を県内企業と県内デザイナーと連携し、モデル的に実践

3. 産学官共同商品開発プログラム

若者の発想等を活かし、弘前大学及び八戸工業大学と連携して、県内協力企業の商品開発をモデル的に実践

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2902

次回実施予定及び評価

青森県

機関名	青森県
部署名	環境生活部県民生活文化課 文化・NPO活動支援グループ
電話連絡先	0 1 7 - 7 3 4 - 9 2 0 8

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ファッション振興事業	平成12年度	14,800千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」の開催

(平成12年度~)

ファッション文化の振興を通じた産業・地域の活性化の推進と創造力豊かでチャレンジ精神あふれる人財の育成を図るため、全国の高校生を対象にファッションデザインコンテストを開催する。 ※ 平成12~16年度: 県主催、平成17年度~: 実行委員会組織への開催支援

【平成27年度 ファッション甲子園最終審査会開催実績】

開催年月日: 平成27年8月23日(日)

会場: 弘前市民会館

応募総数: 全国137校、1,759チーム 審査員: 著名ファッションジャーナリスト、デザイナー等



ファッション甲子園最終審査会の様子

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

ファッション甲子園ホームページ http://www.f-koshien.com/fashion.html

次回実施予定及び評価

岩手県

機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
部署名	デザイン部
電話連絡先	019-635-1115

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
		7,573 千円
 食品産業商品力向上支援並びに販路開拓支援事業	平成25 年度	8,179 千円
民間性未同間が同工文版並しに規範的相文版学未	十八次23 千尺	※上段:補助予算額
		下段:全体予算額

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■事業の目的

東日本大震災津波で被害を受けた沿岸部をはじめとする岩手県内の食品加工事業者を対象に、新商品開発と販路開拓など新事業展開を支援する事業である。商品設計からデザイン、販路開拓まで、連続した支援を行い、岩手県内における食品産業の活性化を目指している。(いわて希望ファンド地域活性化支援事業の助成を受けて実施)

■食品産業商品力向上支援

①「商品力向上セミナー」の開催

岩手県内2地域にてセミナーの開催を予定している。検査機関の専門家及び岩手県内の食品加工事業者に 講師を依頼し、食品表示、衛生管理及び販路開拓について講演をいただく予定。

②パッケージやパンフレットなどのデザイン支援

岩手県内のデザイナー等と依頼事業者のマッチングを図り、デザイン制作を支援した。

③パッケージ表示や販促資料の作成支援

商品の法的表示基準(原材料表示、栄養成分、加工法など)、商品説明資料(味、価格、安全性、商品の優位性など)及び販路開拓に必要な資料等の作成を支援した。

■販路開拓支援

- ①食品関係のアドバイザーやバイヤーなどの専門家を講師として、販路開拓に向けたセミナーを開催した。
- ②販路拡大の機会創出のため、地方創生「食の魅力」発見商談会 2015 に、支援先企業 22 社の出展を支援した。
- ③飲食店関係業界への販路拡大の機会創出のため、支援先企業 5 社による都内飲食店での商談会を開催した。
- ④岩手県内での販路拡大の機会創出のため、支援先企業の製品を「いわてデザインデイ vol.3」に出展し、支援 先企業及び製品の PR を行った。

次回実施予定

平成28年度は別事業にてデザイン支援を実施する予定

岩手県

機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
部署名	デザイン部
電話連絡先	019-635-1115

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
圧縮処理木材による曲木技術を活用した沿岸地域木製品製造企業のための製品開発に関する調査研究 (公益財団法人さんりく基金調査研究事業)	平成26年度	1,700 千円 1,700 千円 ※上段:補助予算額 下段:全体予算額

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■実施期間

平成26年6月~平成27年1月

■事業の目的

岩手県工業技術センターの技術シーズであるコンプウッドシステム(圧縮処理木材による曲木技術)を活用して、沿岸地域の小規模企業でも製造可能で、従来製法では難しいデザイン(木目の美しさを生かし、自然な趣きをもちながらも丈夫)を付与した新たな木製品の開発について調査研究を行い、沿岸地域の木製品製造業の新分野市場への参入促進を図ろうとするもの。

■事業の概要

岩手県は国内有数の広葉樹産出地である。コンプウッドシステムで処理した広葉樹は、コールドベンディングが可能で、乾燥しなければいつでも曲げられる状態で保存できる。この特徴的なシーズを岩手県沿岸地域の小規模な木工メーカーで生産する木製品に生かしたい。しかし、小規模メーカーが活発な商品開発に取り組むには、人材・設備も限られる。この状況を打破するため、地域の公設試験研究機関が備えている設備と技術を活用することで、最小限のコストで新しい曲木加工技術を導入できる。歩留まりよく強度も付与できる曲木は、岩手らしい貴重な地域資源を無駄なく生かすことのできる技術で、岩手の木工の製品とデザインに新しい展開を生み出すものである。

■小規模企業での実証と製品提案(曲木を取り入れた新製品のデザイン開発及び設計)

岩手県工業技術センターとの連携で小規模メーカーが新しい曲木技術に取り組んだ。コンプウッドシステムで処理 した岩手県産の広葉樹を用い、岩手県内の木工工房が曲木製品を試作した。完成品はシンプルな曲木の形状 と、丁寧な曲面の仕上げによって広葉樹の素材感を際立たせ、魅力を十分に発揮するものとなった。これまで岩手 県内では見られなかった木製品が提案できた。2015 年度商品化予定。

■事業化支援

今後、次のような取り組みを進め、沿岸地域の小規模木工業での曲木を活用した新しい商品開発を支援する。・製造コストの検証、・製品デザインや試作品を商品化に結びつけるための問題点の抽出、・当該取り組みの沿岸小規模木工事業所へのPR。

なお、本事業は「第 1 回ウッドデザイン賞 2015(新・木使い顕彰)」を受賞した(主催:ウッドデザイン賞運営 事務局((特)活木活木森ネットワーク、(公社)国土緑化推進機構、(株)ユニバーサルデザイン総合研究 所)、後援:林野庁、平成 27 年 11 月 19 日発表)。

次回実施予定

岩手県内の木工工房が製作した試作品の商品化支援を継続する予定

宮城県

機関名	宮城県
部署名	経済商工観光部 新産業振興課/産業技術総合センター
電話連絡先	022-211-2723/022-377-8700

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン・商品開発研修事業	平成3年度	2,062千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■平成27年度デザインセミナー「デザインが生み出す新価値」

期日:平成27年5月20日(水)

講師:名木山 景(株式会社デンソーデザイン部 部長)ほか

定員:70名程度

■感性マーケティング研修「選ばれる商品戦略」

期日:平成27年7月28日(火),29日(水) 計2日間

講師:宮内 博実(デザインインテグレート代表・静岡文化芸術大学 名誉教授)

定員:10名

■商品プランニング研修「マーケットイン手法による商品プランニング研修」

期日:平成27年10月21日(水),22日(木),11月5日(木)計3日間

講師: 宮島 慎吾(武蔵野美術大学 造形学部 基礎デザイン学科長・教授)

定員:10名

■パッケージデザイン研修「デザインの使い方」

期日:平成27年11月18日(水),25日(水) 計2日間

講師:小板橋 基希(アカオニデザイン代表)

定員:10名

※上記セミナー・研修いずれも実施場所は、宮城県産業技術総合センターです。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.mit.pref.miyagi.jp/kenshu/15/index.html#shouhinkikaku

次回実施予定及び評価

宮城県

機関名	仙台市
部署名	経済局 産業政策部産業振興課
電話連絡先	022-214-8321

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
クリエイティブ産業振興	平成 18 年度	17,188 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1、仙台クリエイティブ・クラスター・コンソーシアム運営の支援

クリエイティブ産業の活性化を図る産学官連携プラットフォーム「仙台クリエイティブ・クラスター・コンソーシアム」に対して助成を行い、本市のクリエイティブ産業の拠点性の発信を支援する。

参考 URL: 仙台・クリエイティブ・クラスター・コンソーシアム【http://www.sendai-c3.jp/】

2、クリエイティブプロジェクト

〇概要

クリエイティブ産業の振興を支援する取り組みや、クリエイティブ産業の創造性を活かした新事業の創出、都市の課題解決等を目指すプロジェクトに対し、助成を行う。クリエイティブ・プロデューサーによる助言や情報発信なども行い、プロジェクトを支援する。

〇実績(H21年~H26年)

スタートアッププロジェクト:19件

(アイデアの熟度が実現化レベルにあり、年度内に事業の立ち上げを行うことができるもの)

リサーチプロジェクト: 11件

(年度内に実現化の構想を策定できるもの)

サポートプロジェクト: 27件

(自己資金等により事業構想の策定又は事業の立ち上げができるもの)

3、クリエイティブ・プロデューサーの配置

専門的な知識、経験を有するクリエイティブ・プロデューサーを配置し、地域企業のクリエイティブ面での支援やクリエイティブプロジェクトの支援などを行う。

4、クリエイティブ・カフェ開催

クリエイティブ産業関係者のネットワーク形成や事業連携などを目的に、クリエイティブ・カフェを実施。

5、情報発信

Web サイトやメール配信により、クリエイティブな活動の情報を発信している。

- 6、クリエイターのためのものづくり支援事業
- 〇概要

3D プリンターやレーザーカッターといった試作用機器の利活用を促進することで、クリエイター等によるものづくり活動及び企業の試作開発を支援することにより、付加価値の高い多様な商品・サービスを創出・促進する。

参考 URL: FabLab SENDAI-FLAT [http://fablabsendai-flat.com/]

- 〇事業内容、実績(H25~H26年度)
- •機材利用件数:1,530件
- ・セミナー・ワークショップの開催:49回
- ・地域企業との連携による新商品の試作開発支援:68件

次回実施予定及び評価

未定(予算要求中)

宮城県

機関名	仙台市
部署名	経済局 産業政策部産業振興課
電話連絡先	022-214-8321

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
クリエイティブ産業振興	平成 24 年度	45,000 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1、地域企業ブランディング支援事業

〇概要

ブランディングに課題を抱える事業者を対象に、専門家チームによる集中支援(プロジェクト支援)を実施し、販路拡大や売上向上に努める。平成 24 年度より実施してきた東北復興創業スクエア事業(ビジネス支援業務)の後継事業。

参考 URL: 創業スクエア 【http://square3f.jp/】

- 〇対象:小規模事業者や起業後間もない事業者
- ○事業内容、実績
- ・プロジェクト支援(H24年~H26年度実績: 41件)

プロジェクトマネージャー、マーケッター、デザイナー等の専門家で支援チームを結成し、ブランディングの集中支援を実施する。集中支援の対象となるのは、ブランディングに課題を抱え、かつ、集中支援を通して地域企業のロールモデルとなりうる事業者を想定。

- ・ビジネス相談(H24年~H26年度実績):551件
- ※平成24~26年度は、上記の他、事業者向けのビジネスセミナー、相談会も開催。

2、デザイン活用による高付加価値化支援事業

〇概要

仙台市若林区卸町にある市内最大のクリエイティブ・シェア・オフィス「TRUNK」を拠点に、デザイン活用に積極的な企業と地元クリエイターのマッチングを実施し、企業のデザイン活用を促進するとともに、地元クリエイターの育成にも取り組み、卸町地区へのクリエイティブ産業の集積を図る。平成 24 年度より実施してきた東北復興創業スクエア事業(デザイン活用促進業務)の後継事業。

参考 URL: とうほくあきんどでざいん塾【http://tohokuakindodesign.jp/】

- 〇対象:中小企業、地元クリエイター
- ○事業内容、実績
- ・企業とクリエイターのマッチング(H25~H26 年度実績: 21 件)
- ・デザインに関するセミナー、ワークショップ(H24年~H26年度実績: 50回、参加者 1673人)
- ・クリエイター交流会(H25 年~H26 年度実績: 7回、参加者 310人)
- ・デザイン相談会(H25年~H26年度実績: 31回)

次回実施予定及び評価

未定(予算要求中)

秋田県

機関名	秋田県
部署名	産業労働部地域産業振興課
電話連絡先	018-860-2231

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
あきた産業デザイン支援センター運営事業	平成23年度	15,126 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【あきた産業デザイン支援センター運営事業の概要】

さまざまな課題を抱える県内産業の振興を図るため、「あきた産業デザイン支援センター」を設置し、製造業を中心に、製品の企画の段階から製造、製品化後のマーケティング・販路開拓に至るまで、県内企業を産業デザインの面から支援しています。

また、グッドデザイン賞の普及促進ためのイベントなどを通して、産業デザインの普及啓発を行い、県内企業が産業デザインを導入することで、商品ブランドの向上や付加価値の高い商品開発が促進されるよう支援します。

【主な業務】

- 製品のデザイン、開発、製作技術に係る助言
- 市場開拓、販路拡大などマーケティングに係る助言
- 相談の内容に応じた専門家 (デザイナー) の紹介・つなぎ
- 公的助成制度等への申請に係る支援
- グッドデザイン賞応募に係る支援
- 産業デザインの普及啓発、人材育成 など

<平成27年度 秋田県グッドデザイン賞受賞講演会>

開催日:平成 27年 12月 21日 (月) 講演①:「都市と田舎を動かすデザイン」

講師:株式会社 kedama 代表 武田 昌大 氏

講演②:「生活を見つめ直すデザイン」

講師:デザインハウス WASABI デザイナー 佐藤 和子 氏





【設置場所】

公益財団法人 あきた企業活性化センター 内

【人員体制】

- 産業デザイン相談員 3人
- 外部アドバイザー 1人(公立大学法人 秋田公立美術大学 教授)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://idsc-akita.net/

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続実施の予定

機関名	山形県
部署名	商工労働観光部産業政策課
電話連絡先	023-630-2360

事業名	開始年度	全体予算額
山形エクセレントデザイン事業	平成9年度	3,287千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始、現在は隔年開催で、平成27年度に9回目となる「山形エクセレントデザイン2015」を実施した。

■山形エクセレントデザイン2015

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

内 容:魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された

優れたデザインの製品を選定・顕彰する。

募集期間:平成27年7月13日(月)~9月18日(金)

募集対象:過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、販売されている又は平成27年

12 月までに販売予定の製品及び商品

応募数:88点(60社)

選定結果:エクセレントデザイン大賞「COLON CORPO」(株)コロン

地域デザイン賞「いなごふりかけ」、何佐藤商店

「日知舎のおえ草履」日知舎

「最上を受け継ぐヒトとモノ」吉野敏光デザイン事務所

技術デザイン賞 「COOL WOOD」(株)シェルター

「Easy Thermo」(株)チノー山形事業所

ブランドデザイン賞 「王将果樹園 果物用パッケージ」

農業生産法人㈱やまがたさくらんぼファーム

入賞 「麻のスリッパ「さふら」」 阿部産業(株)

「世界一大きな雪だるまの雫」大蔵村

「オーロラコーヒー」 オーロラコーヒー

「リネンタオル・ストール・レギンス、ヘンプマット」(株)ケンランド

「PARIPARI×SAKUSAKU 日和」 酒田米菓㈱

「ダイヤモンド電着ピンセット」 ジャスト(株)

「藤ハンガー」(有ツルヤ商店

「萩原農園の大豆菓子 | 萩原農園

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.yamagatanodesign.jp/

次回実施予定及び評価

平成28年度は、選定品の県内展示会を実施予定。

機関名	山形県
部署名	商工労働観光部産業政策課
電話連絡先	023-630-2360

事業名	開始年度	全体予算額
山形エクセレントデザイン販路開拓支援事業	平成 27 年度	3,287千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

山形エクセレントデザイン 2 0 1 5 受賞製品の販路開拓を目的とし、売るための製品ブラッシュアップと販路開拓 手法を学ぶ塾を開催する。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■山形エクセレントデザイン販路開拓支援事業

<u>内___容</u>: 講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議

期 日: 平成28年1~3月(月1回、計3回開催)

参 加 者: 講師 1名

参加企業 山形エクセレントデザイン2015受賞企業

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.yamagatanodesign.jp/

次回実施予定及び評価

平成28年度も、同事業を実施する予定。

機関名	山形県
部署名	商工労働観光部産業政策課
電話連絡先	023-630-2360

事業名	開始年度	全体予算額
デザイン活用促進事業	平成27年度	3,287千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内企業のデザインカ向上、デザイン思考を積極的に活用する意識の醸成を図ることを目的とし、企業とデザイナーによる企業見学会や交流会を行うことにより、企業とデザイナーの良好な関係を構築し、県内ものづくり企業がデザインを活用した自社製品開発に取り組むきっかけをつくる。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■デザイン活用促進事業

内___容: 県外のプロダクトデザイナーによる県内製造業者の企業見学会及び交流会を実施し、デザイナー

と県内企業のマッチングを行う。

期___日: 平成27年8月3日(月)~4日(火)

参 加 者: コーディネーター 1名

県外デザイナー 4名

参加企業 穂積繊維工業㈱ (中山町)

(株)石澤製作所 (山辺町) (有)冨樫製作所 (南陽市)

(株)ニューテックシンセイ (米沢市)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.yamagatanodesign.jp/

次回実施予定及び評価

平成28年度も、デザイン活用促進事業を実施予定。

機関名	山形県
部署名	商工労働観光部産業政策課
電話連絡先	023-630-2360

事業名	開始年度	予算額
デザイン共創促進事業	平成 24 年度	1,906千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内企業が東北芸術工科大学と協働して行うデザインを活用した商品開発を支援することにより、①学生の地域帰属意識向上と県内企業への愛着心育成、②将来のものづくりを支える学生のデザイン能力向上、③成功事例の輩出による県内企業の「デザイン思考」を活用する意識の醸成を図る。

■デザイン共創促進事業

内___容: 東北芸術工科大学と県内企業の協働による商品開発の支援

実施主体: 県

募集期間: 平成27年6月10日(水)~7月10日(金)

支援対象企業及び案件

	企業名	案 件
1	蔵王ロープウエイ(株)	「恋人の聖地サテライト」グッズの開発
2	さとう農園(株)	洗い里芋パッケージのリニューアル
3	㈱高橋型精	精密プレス加工技術を活かした製品開発
4	テクノクォーツ(株)	石英ガラスを用いた製品の開発
5	㈱山本産業	天然水の営業ツール開発

次回実施予定及び評価

平成28年度も、同事業を実施する予定。

福島県

機関名	福島県
部署名	県産品振興戦略課
電話連絡先	024-521-7296

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ふくしま県産品販路開拓プロデュース事業(国内販路)	平成 26 年度	29,675 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業の概要

県内の加工食品、工芸品等の地場産業事業者を対象に、プロデューサー等の外部人材と連携し、消費者ニーズを取り入れた商品開発や販路開拓等の支援を一貫して行うことにより、県産品の市場競争力を高めるとともに、事業者の企画・開発力、マーケティング力を向上させ、地場産業復興のけん引役となり得る事業者の創出を図る。

2 事業内容

(加工食品分野)

総合プロデューサーを中心に、デザイナーやバイヤー等の外部人材により県の特産品(果実や野菜)を使用した「ふくしまの顔」となりうる加工食品(首都圏向けギフト・土産品)の開発をテーマに開発支援。



(パッケージのブラッシュアップ)

(工芸品分野)

外部人材である総合プロデューサーを中心に、県内クラフト事業者とクリエイター、産地等とのマッチング機会の創出による新たなコラボレーションをテーマに支援し、マッチングの促進及び各事業者のブランドカ向上のためのロードマップを作成。マッチングにより、新たなブランドの創出やブランドプロモーションを通じたブランド価値向上を図った。





(新ブランドの創出)

※本事業において

支援を受ける事業者に対しては、商品開発、販路拡大に必要な経費の一部を補助。 (補助額上限 150 万円、補助率 1/2 以内)

3 その他の取組

新たなマッチングを通じて作られたブランドや新商品を、プロデュースチームが持つ販路先や EC サイトなどを通じてテストマーケティングを実施。

次回実施予定及び評価

平成 27 年度で事業終了

福島県

機関名	福島県
部署名	県産品振興戦略課
電話連絡先	024-521-7296

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ふくしま県産品販路開拓プロデュース事業(海外販路)	平成 26 年度	17,951 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業の概要

震災後の厳しい状況の中、海外に新たな販路を求めようとする工芸品等の地場産業事業者を対象に、プロデューサーや海外現地コーディネーター等と連携し、海外市場へマッチした商品開発・改良を行い、国際的な大規模展示会(パリ市内開催「メゾン・エ・オブジェ」)へ出展することにより海外の販路開拓支援を行うとともに、海外市場やマスコミに対し福島の復興をアピールした。

- 2 「メゾン・エ・オブジェ 2015 (1月展)」出展実績
 - (1) 開催・出展概要
 - ·会 期: 平成 27 年 1 月 23 日 (金) ~ 27 日 (火)
 - ・会場等: フランス、パリ市 ノール・ヴィルパント見本市会場
 - ・出展ホール;ホール3 (テーブルウェアがテーマ)
 - ·本県出展内容; 4事業者(※)、80~100商品
 - ※出展事業者:会津塗事業者、キッチン用檜製品事業者、木製漆器事業者
 - (2) ブースコンセプト

「FUKU DINING(フクダイニング)」(日々の食事のシーンにフォーカスを当て、食事を準備する楽しみや快適な環境を提案し、人々の暮らしを豊かにする。





(福島県ブース)

次回実施予定及び評価

平成 26 年度で事業終了

福島県

機関名	福島県
部署名	県産品振興戦略課
電話連絡先	024-521-7296

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
メイド in.ふくしま販路開事業	平成 27 年度	517 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業の概要

国内で開催される地場産品を対象にした展示会に「福島」として出展し、県全体の地場産業の高いクオリティイメージを提供するとともに、販路拡大に向けた取組を一体的に行うことで、バイヤー等に対する訴求力の向上を図る。

また、当該展示会出展と連動させて、日本のものづくりの魅力を幅広く伝えることが出来るメディアと連携し、福島県のものづくりの魅力を発信する。

2 国内展示会出展実績

(出展展示会) rooms31(国立代々木競技場 第一体育館 平成27年9月9日~11日開催)

(出展事業者数) 8者(伝統的工芸品分野、木加工品分野等が出展)





次回実施予定及び評価

東北
你拉拉米口
経済産業局

機関名	東北経済産業局
部署名	地域経済部 産業技術課 特許室
電話連絡先	022-221-4819

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
TOHOKUデザイン創造・活用支援事業	平成26年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 目的

東北地域の魅力ある商品に対する新パッケージデザインを公募・展示することにより、東北ならではのデザイン等を 創造し、優秀な作品について実用化することで中小企業等におけるデザイン等の活用による商品の販売促進とブランド化を支援するとともに、東北地域におけるデザイン等に対する意識を啓発し、デザイン等の創造・保護・活用を 促進する。

2. 実施内容

- (1) 「おいしい東北パッケージデザイン展2015」開催 東北地域の魅力ある商材(10社10商品)に対するパッケージデザインやキャッチコピー等を公募・審査・ 表彰・展示を行うデザイン展を開催。
- (2) 「おいしい東北パッケージデザイン展2015」フォーラム開催(同時開催:デザイン展表彰式) 東北管内における商材に対するデザインの創造・保護・活用に関する意識啓発、制度普及を図るため、フォーラムを開催するとともに、関係者間のネットワーク構築を図るため、フォーラム参加者による交流会を開催。
- (3) 新パッケージデザインの実用化支援

優秀なパッケージデザインの実用化に向けたフォローアップとして、デザイナーや専門家等と各参加企業を訪問し、デザインの改善、知的財産権の取り扱いに関する契約、権利化等ついて支援を実施。

《スケジュール》

平成27年6月15日~30日 : 参加企業の募集

平成27年9月1日~10月30日 : 新パッケージデザイン案の募集

平成27年11月10日: 審査会(外部審査委員・参加企業等関係者・主催者により審査)

平成27年11月27日~12月1日: 「おいしい東北パッケージデザイン展2015」

平成27年12月1日 : 「おいしい東北パッケージデザイン展2015」フォーラム・表彰式・交流会

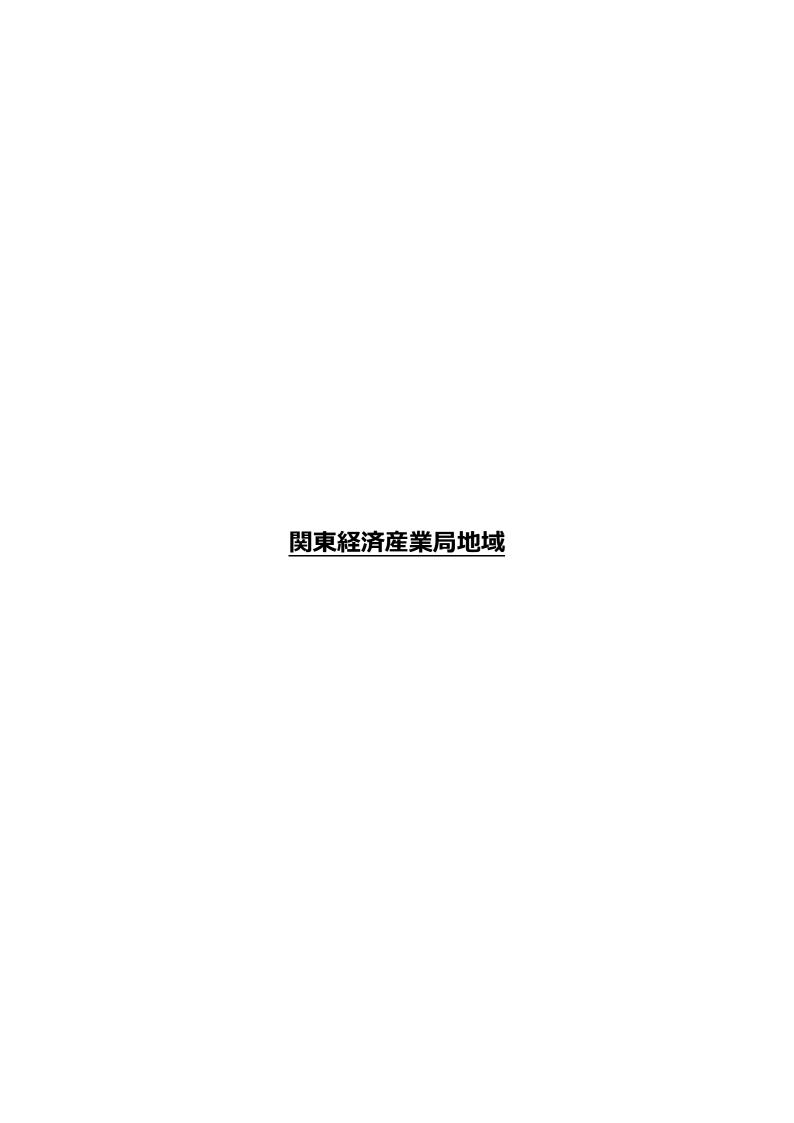
平成28年3月9日~4月17日 : 「おいしい東北パッケージデザイン展2015」東京巡回展

平成27年12月~順次: 優秀作品実用化に向けたフォローアップ

【事業に関する情報が掲載されているサイトURL】

http://www.tohoku.meti.go.jp/chizai-enet/index.html

次回実施予定及び評価



茨城県

機関名	茨城県
部署名	商工労働部産業技術課
電話連絡先	029-301-3584 / 茨城県デザインセンター 029-264-2205

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
いばらきデザインカレベルアップ事業	平成9年度	17,496千円
し、いはつごう ダインカン・ソング 学来	十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十八五十	(H 2 7年度予算)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○茨城県デザインセンターの設置

県内中小企業等の製品の付加価値を高めるため、総合的なデザイン支援活動拠点として平成9年に「茨城県デザインセンター」を設置、デザイン相談、情報提供、デザイン開発支援や普及活動等を実施して中小企業等のデザイン活動を支援している。

〈実施主体〉 茨城県デザインセンター (茨城県ひたちなか市新光町 38)

○平成27年度事業の概要

県内の特に優れたビジネス性を有するデザイン及び活動等を「いばらきデザインセレクション」として選定するとともに、選定品の推奨・PRのため「いばらきデザインフェア」を開催し、デザインの重要性の啓発及び地域産業の発展を図る。

【いばらきデザインセレクション 2015】

- ·応募期間 平成 27 年 5 月 19 日~7 月 21 日 ·審査会 平成 27 年 9 月 4 日
- ·応募件数 105件 ·選定数 知事選定 10件, 選定 19件, 奨励 4件

(部門) ・デザインセレクション部門 ・テーマセレクション部門(2015 テーマ:食の彩)

(分野) ・プロダクトデザイン分野 ・空間デザイン分野

・ビジュアルコミュニケーション分野・ソーシャルデザイン分野

【いばらきデザインフェア 2015】

開催期間:平成28年1月28日~2月7日

会場:茨城県陶芸美術館(茨城県笠間市)

【デザイン相談等】

デザインコーディネーターによるデザイン企画の助言や相談、デザイン開発機器・施設等の開放

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.idesign-c.jp/ (茨城県デザインセンターHP)

次回実施予定及び評価

栃木県

機関名	栃木県
部署名	産業労働観光部工業振興課
雷話連絡先	028-623-3198

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
栃木県優良デザイン商品選定・表彰事業	平成元年度	3 3 1 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内中小企業者等のデザインカの向上と魅力ある商品づくりを推進するため、県内中小企業が製造する自社商品を募集し「栃木県優良デザイン商品(Tマーク商品)」を選定するとともに、特に優秀なものを「とちぎデザイン大賞」として表彰する。

選定商品については、県ホームページでの紹介やリーフレットの作成・配布等を通じて広くPRを行う。

○ 募集対象 : 県内中小企業者等の自社開発による商品・パッケージ

○ 募集期間 : 平成27年6月5日(金)~7月6日(月)

○ 審 査 会 : 平成27年9月4日(金) 栃木県庁本館会議室

○ 審査委員 : デザイナー、大学教授、中小企業関係団体の役職員、流通関係者等11名

○ 審査方法 : 外観、機能、品質、安全性、共用性、環境性の審査基準(6項目)をもとに、

総合的に審査する。(書類、現品)

○ 審査結果 : 栃木県優良デザイン商品 (Tマーク商品)・・12点

とちぎデザイン大賞 最優秀賞・・・・・・ 1点 とちぎデザイン大賞 優秀賞・・・・・・ 3点

栃木県デザイン協会賞・・・・・・・・ 1点

○ 表彰式: 平成28年1月25日(月) 栃木県庁昭和館正庁



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.tochigi.lg.jp/f02/work/shoukougyou/chitekishoyuuken/tmark_index.html

次回実施予定及び評価

栃木県

機関名	栃木県
部署名	産業労働観光部工業振興課
電話連絡先	028-623-3198

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン力強化事業	平成22年度	5 7 0 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. ものづくりデザイン塾

県内中小企業者を対象とした全4回の連続講座を開催し、講義と演習を通してデザインを活用した商品開発の実践的な能力の習得を図る。

○ 期 日 : 平成27年11月6日(金)、11月25日(水)、12月16日(水)、

平成28年1月14日(木)

○ 場 所 : 栃木県庁本館会議室

○ テーマ: 第1回 デザイン・商品開発の基礎、これから未来予想

第2回 商品案の仮説づくり

第3回 商品案のアイデア発想、商品案の企画の完成

第4回 市場のデザイン、プレゼンテーションとまとめ

○ 講 師: 株式会社クルー 代表取締役 馬場了

○ 参加人数 : 県内中小企業者 5 社 9 名 (企業経営者、開発担当者等)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.tochigi.lg.jp/f02/work/shoukougyou/chitekishoyuuken/dezain-zyuku.html

2. デザイン・意匠権セミナー

県内中小企業者等を対象とした講演会を開催し、商品開発におけるデザイン活用や、模倣品対策・商品デザインの権利保護のための意匠権活用の重要性に対する意識の向上、知識の習得を図る。

○ 期 日: 平成28年2月

○ 場 所 : 栃木県庁本館会議室

○ 内 容 : デザイン及び意匠権の基礎・重要性についての解説から事例紹介を交えた具体的な活用方

法までの講義 (二部構成)

○ 講 師: デザイナー、弁理士 各1名

○ 参加人数 : 県内中小企業者等 50名程度

次回実施予定及び評価

群馬県

機関名	群馬県
部署名	産業経済部工業振興課
雷話連絡先	027-226-3352

事業名	開始年度	全体予算額
グッドデザインぐんま商品選定事業	平成5年度	1,426千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

[内容]

デザインに対する理解と関心を高め、地域の産業振興と個性的で豊かな県民生活を目指し、県内の優れた工業製品を「グッドデザインぐんま商品」として選定・推奨する。

[応募資格]

県内でデザインされた工業製品であって、県内で製造又は販売がされていること。ただし、販売業者が応募者となる場合は自社開発商品、又は製造業者の応募承認を得たものに限る。

[募集期間]

平成27年8月3日(月)~9月30日(水)

[現品審査会]

平成27年11月6日(金)

[選定結果]

選定数:49点(36企業)

[賞]

大賞1点、優秀賞2点、奨励賞2点

[展示会]

「グッドデザインぐんま商品展示会」

会期 平成28年2月5日(金)~8日(月)

会場 けやきウォーク前橋(前橋市文京町)

内容 平成27年度グッドデザインぐんま商品の展示(初日に表彰式を開催)



平成27年度大賞商品







平成26年度大賞商品

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00001588.html

次回実施予定及び評価

埼玉県

機関名	埼玉県産業技術総合センター
部署名	事業化支援室
電話連絡先	048-885-1325

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
次世代型ものづくり開発支援事業	平成26年度	34,340千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【事業目的】

新製品開発を目指す企業に対し、製品開発プロデューサーによる商品化、デザイン企画から製品化・販路開拓までの一気通貫支援を実施する。

これにより、地域経済を牽引するリーディングカンパニーを輩出し、次世代産業分野への参入促進、新産業の創出を図る。

【事業内容】

新製品開発による新規ビジネスの展開などを行う企業を支援するため、外部専門家を「製品開発プロデューサー」 として産業技術総合センターに配置し、商品企画から試作開発、販路開拓までを一気通貫支援し"売れるものづくり"を推進する。

支援の概要は、商品企画や製品開発などの経験豊富な外部専門家、デザイナー等の知見、産業技術総合センターのシーズや3D関連機器・技術等を活用し、中小企業の新たなビジネス展開のための新製品開発を進める。

- 外部専門家の活用による製品開発支援
 - ・外部専門家を製品開発プロデューサーとして配置
 - ・商品化計画から製品開発、販路開拓まで一気通貫で支援
 - ・開発に係る専門家、デザイナー等による支援
- 試作支援(例)
- ・3 Dプリンタによる試作
- ・SAITEC 保有機器の活用による分析・測定
- ・SAITEC のシーズを活用した支援など
- <事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.saitec.pref.saitama.lg.jp/consult/info/jisedaikigyo27.html

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続事業として実施する予定

埼玉県

機関名	埼玉県産業技術総合センター
部署名	事業化支援室
電話連絡先	048-885-1325

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ものづくりの基本構想から事業計画までの企画デザイン実践講座	平成26年度	3 0 0 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【事業目的】

埼玉県内の中小企業は優れた開発案件(新商品開発や自社技術を生かした新事業開発等)を有しながらも、資金、人材ともに不足し、開発案件を具現化することが難しい状況にあります。本講座は、売れるモノづくりのためのマーケティング、デザイン開発等を学習、実践指導し、受講終了後には開発費の獲得のために各種補助金獲得を目指します。また、売上、利益確保ができる新商品や新事業の販売戦略を学習し、開発商品のための営業活性化に貢献します。

【事業内容】

平成 27 年 7 月 17 日(金)、27 日(月)

8月19日(水)

9月1日(火)、16日(水)、30日(水)

全6日間

- 1日 事業構想 自己紹介・マーケティングの基礎、3C+M、SWOT分析、事業 ドメイン、ロードマップ
- 2日 事業戦略 課題発表(市場調査、競合調査)、4 Pについて、USPと顧客設定 事業戦略
- 3日 商品戦略 課題発表(USPと顧客設定の整合)商品戦略シナリオ、商品戦略シート作成
- 4日 販売促進 顧客心理、イベント企画、アクションシート、成果発表
- 5日 知財戦略 知的財産権全般、IPDL検索方法、意匠登録・商標登録、知財戦略シート作成
- 6 日 補助金活用術 課題発表 (商品戦略シート)、補助金の種類、補助金申請のポイント、補助金申請事

講師 姫野裕基 氏 (公社)埼玉デザイン協議会ひめの企画代表 中小企業診断士 平山裕嗣 氏 (公社)埼玉デザイン協議会 ヤヨイ広告企画株式会社

山岡和彦 氏 (公社) 埼玉デザイン協議会 NEC 株式会社

峯 唯夫 氏 特許業務法人 レガート知財事務所

参加企業 6 社 12 名

共催 埼玉県産業技術総合センター

(公社) 埼玉デザイン協議会

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.saitec.pref.saitama.lg.jp/semina/sonota/150717_monodesign.html

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続事業として実施する予定

千葉県

機関名	千葉県
部署名	商工労働部産業振興課
電話連絡先	043-223-2778

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン戦略によるブランド力強化事業	平成 19 年度	3,394 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内中小企業等事業者のデザイン戦略を支援し、商品や地域のブランド力を高めるデザインの活用支援や、地域に分散する魅力をパッケージ化した販路支援のため、「デザイン戦略によるブランド力強化事業」として、以下の事業を実施。

■ デザイン実践力強化のためのセミナー事業

商品のブランド力を高めるため、商品開発全体(マーケティング、設計・開発、販路展開等の各段階)を俯瞰したコンセプトデザインを意識した、実践的なセミナーを開催する。

(平成27年度開催実績:4回)

【実施例】「~起業家のためのデザイン活用術~デザインでビジネスを加速させる」

平成 27 年 10 月 4 日 幕張メッセ国際会議場 2 階 中会議室 201

講師:株式会社ノイエデザイン 代表 熊谷淳一氏

(グラフィックデザイナー・販促コンサルタント)

参加者数:29名

■ ローカルデザイン確立によるブランド力強化支援事業(平成27年度より実施)

県内の各地域における地域資源(特産品など)をデザインの力で活性化するため、地域単位で、専門家によるワークショップ若しくはデザインプロトタイプ(試作品)の作成補助を実施することにより、地域オリジナルのデザイン(ローカルデザイン)を確立し、地域ブランド力強化を目指す。

(平成27年度実績:受援地域グループ3件)

【実施例】八街生姜ジンジャーエール(ボトルタイプ)のパッケージラベル及び店頭に飾るタペストリーのデザイン

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/design/seminar.html

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続して実施 (一部変更点等あり)

機関名	東京都立産業技術研究センター
部署名	事業化支援本部 システムデザインセクター
電話連絡先	03-5530-2180

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ブランド確立実践ワークショップ①②③④	平成14年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

都内中小製造企業・サービス業を対象に「商品企画」「販売促進企画」「マーケティング」を実践的に学ぶ、連続 ワークショップです。

●企業・デザイナー向けセミナー

①「企画基礎講座」全3回 勝てるアイデアの出し方や、 育て方、必須要素を抑えた企画書の書き方を学びます。

●企業向けセミナー

- ②「商品企画講座」全9回 マーケティングや知的財産の基礎から、デザイン思考の商品企画立案、試作、プレゼンテーションまで一連のプロセスの実践を通して自社の製品・商品開発力向上を目指します。
- ③「販売促進企画講座」全14回 開発製品の出口戦略として販売促進がますます重要になっています。本講座では、自社商品の良さを出し、どんなツールに表現するのかを軸に販売促進企画の一連の流れを学びます。

●デザイナー向けセミナー

④「マーケティングデザイナー養成講座」全17回 おもに企画・マーケティング・コンサルティングに軸足を置きたいフリーランスデザイナー向け。下請デザイナーから脱却するために、事業戦略企画・マーケティングをクライアントのパートナーとして、中小企業経営者と一緒に進めていける知識や技術を実践・実地を通して学びます。

【期日】毎年7月~2月

【場所】東京都立産業技術研究センター本部

【講師】計12名(都産技研登録エンジニアリングアドバイザー、他)+都産技研のデザイン担当研究員 【定員】各講座15名程度

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

https://www.iri-tokyo.jp/gaiyo/soshiki/design/index.html

次回実施予定及び評価

機関名	東京都立産業技術研究センター
部署名	事業化支援本部 システムデザインセクター
雷話連絡先	03-5530-2180

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
オーダーメード開発支援・セミナー	平成7年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

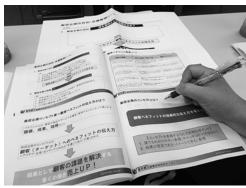
●オーダーメード開発支援

型通りの依頼試験ではなく、企業の事情に合わせ戦略やマーケティングに即した企画書作成、新商品開発、デザイン開発、プロモーション設計、販売プロセスに対応したツール開発(チラシ、ラベルシール、ポスター、web 用ページレイアウト、映像編集)を行います。

●オーダーメードセミナー

都内中小企業・サービス企業等の商品企画力、商品開発力の向上のために、通常行う集合セミナーや講習会ではなく、一企業、一団体(組合)単位で行う産業人材育成セミナーです。





次回実施予定及び評価

機関名	東京都
部署名	産業労働局商工部創業支援課
電話連絡先	03-5320-4763

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン導入・活用支援事業	平成16年度	13,153 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

東京の有力な地域資源である民間のデザイン人材を最大限活用した、中小企業のためのデザイン支援策を実施することで、中小企業の個性化、差別化、高付加価値化を推進していく。

1 デザイン導入支援事業

① デザイン導入支援セミナー

中小企業の企業運営・商品開発へのデザイン導入を促すため、講義形式の中小企業向け無料セミナー (デザインの機能や導入方法、成果事例紹介等)を実施。

規模:各回定員50名、年4回実施。

② デザインコサルティグ講座

デザイナーに向けて、中小企業と効果的にデザイン開発を行うために必要となる知識を習得するためのセミナーを実施。

規模:各回定員30名、延べ8コマ実施。

2 デザイン活用支援事業

① デザイン活用ガイド

デザインの活用方法が分からない中小企業に対し、デザインを活用する上での基本 的な考え方やデザインの有効な活用法などについてのガイドを作成・配布する。

②デザイン関連事業パンフレット

都や都関連団体で実施しているデザイン関連の事業を網羅したパンフレットを作成して中小企業に配布 し、周知を図る。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/design/design.html

次回実施予定及び評価

機関名	東京都
部署名	産業労働局商工部創業支援課
電話連絡先	03-5320-4763

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインコラボ事業	平成27年度	29,481 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

データベースを核とした中小企業とデザイナーが交流できる場・機会を創出し、様々な段階における「デザイン活用 実践の場」を提供することで、デザイン活用に関心の高い中小企業と、中小企業との協働意欲の高いデザイナーと の自立的マッチングが生まれやすい環境を整備する。

- 1 東京デザイナーデータベース運営事業
- ①デザイナーデータベースの管理・運営

中小企業との協働を希望するデザイナーの情報を提供するデザイナーデータベースの管理・運営を行う。

②デザイナーデータベースの再構築

利用者である中小企業の利便性向上の観点からサイトの画面構成等の見直し・登録情報の充実を図り、データベースを再構築する。

- 2 マッチング・フォローアップ事業
 - ①交流促進事業

交流会や、展示会出展、デザイナーツアー(工場見学)等、企業とデザイナーの多様な交流機会を設定する。

②コラボマッチング事業

具体的な相談案件を有する中小企業とデザイナーとの商談会を設定する。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/design/design.html

次回実施予定及び評価

機関名	東京都
部署名	産業労働局商工部創業支援課
電話連絡先	03-5320-4763

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
東京デザインコンペティション事業	平成24年度	31,349 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

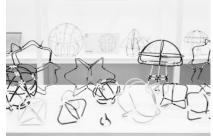
提案公募型コンペティション「東京ビジネスデザインアワード」を実施する。

優れた技術力を持つ都内中小企業から「自社保有の高度な加工技術や特殊な素材等」を「テーマ」として募集する。これに対し、国内のデザイナーから「テーマ」に対応する「技術や素材を活用した新たな商品開発・用途開発」「技術を活かした新たなビジネスモデル」等を「提案」として募集、専門家による審査を経てテーマ毎に最も優れた提案を「テーマ賞」として1提案ずつ選定する。

選定された提案について、提案デザイナーによるプレゼンテーションに基づく最終審査を行い、「最優秀賞」1提案、「優秀賞」2提案程度を選定・表彰する。「テーマ賞」受賞提案については、デザイン関連イベントでの展示やHP等により結果を発信する。あわせて受賞案件の商品化・実用化のフォローも行う。

【商品化事例】







<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html

次回実施予定及び評価

機関名	産業技術センター
部署名	技術支援推進部 商品開発支援室
雷話連絡先	046-236-1500(代表) 内線2131

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン相談事業	平成18年度	3,928千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内中小企業の様々なデザイン課題の解決に役立ていただくために、デザイン相談員(当センターデザイン職員と、専門デザイナー2名委嘱)で、無料のデザイン相談を行う。

"魅力あるものづくりのために"、"お客様に選んでいただくために"「デザイン」は有効な手段となることの訴求に努めている。

また、気軽にデザインを理解していただくことを目的に、隔月で、「デザインカフェ」を開催。

【相談日】休祝日を除く毎週月曜日・水曜日と第2、第4金曜日(9:30~16:30)

【場 所】神奈川中小企業センタービル6階(横浜市中区尾上町5-80)

<JR関内駅北口から徒歩5分>

【連絡先】Tel: 0 4 5 - 6 3 3 - 5 2 0 4 E-mail: design@ark.ocn.ne.jp





←デザインカフェの様子

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kanagawa-iri.jp/tech_supports/product_development/designshien.html

次回実施予定及び評価

機関名	産業技術センター
部署名	技術支援推進部 商品開発支援室
雷話連絡先	046-236-1500(代表) 内線2131

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
製品化・事業化支援事業	平成25年度	1,775千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

新製品の開発や新事業創出をめざす県内の中小企業等を対象に、「研究開発」「製品化」「事業化」の各段階を踏まえ、センターの技術力(技術・デザイン・経営)、専門人材、支援ネットワーク力、設備機器・製品開発室等の利用を通じて、『売れる商品づくり』を目標に総合的な支援を行う。

■開発の段階に合わせた支援体制

*事業の申込については、「製品化支援」と「事業化支援」の2つのフェーズに分けて募集を行う。

	製品化支援	事業化支援	
募集	一般公募	随時受付	
支援内容	確かな基礎研究を踏まえた製品開発	「売れる商品」の仕組みづくり	
	■技術職員の技術サポート	■商品企画策定サポート	
	■試験分析費、機器利用の一部免除	■デザイン製作サポート	
支援メニュー	■知的財産相談	■市場調査	
	■展示会等への出展支援	■テストマーケティング	
	■事業化に向けて「事業化支援」も併用可	■販路開拓、企業マッチング	
	■技術相談/デザイン相談/経営相談		
共通メニュー	■商品開発セミナーの受講		
	■商品開発ラボの利用 等		

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kanagawa-iri.jp/tech_supports/product_development/product_project02.html

次回実施予定及び評価

機関名	産業技術センター
部署名	技術支援推進部 商品開発支援室
雷話連絡先	046-236-1500(代表) 内線2131

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
生活支援ロボットデザイン支援事業	平成27年度	43,500千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

神奈川県では、「さがみロボット産業特区」において、これまで「重点プロジェクト」における実証実験の支援などにより、生活支援ロボットの研究開発を支援してきたが、さらに、商品化を促進するため、産業技術センターに3 Dプリンター等を設置し、これまでの研究開発を通じて重要課題と認識された生活支援ロボットのデザイン支援を推進する。

【実施事業】

1. 個別課題解決支援事業

特区におけるプロジェクトのうち、中小企業が抱えるデザイン面の個別課題を解決することにより、商品化に向けた開発期間の短縮が見込まれるものについて、中小企業からの求めに応じ、専門的な立場から助言・指導するデザイナーを派遣する。

・実施件数 10件(10回まで無料で派遣)

2. 商品化促進モデル事業

特区におけるプロジェクトのうち、早期に商品として県民に提供することが求められる生活支援ロボットについて、個別課題ではなくデザイナーによる総合的な支援を必要とする中小企業を対象に、ロボットの商品コンセプト創りから製品の完成度を高める一連の総合的業務をデザイナーに委託し、短期間での商品化を実現する。

·実施件数 1件(委託費200万円以内)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kanagawa-iri.jp/tech supports/product development/robot-design 2015.html

次回実施予定及び評価

機関名	産業技術センター
部署名	技術支援推進部 商品開発支援室
雷話連絡先	046-236-1500(代表) 内線2131

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインセミナー・フォーラム	平成21年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

①ものづくり技術経営セミナー (商品企画セミナー)

期間:2014年6月27日~7月18日(全4回)*今年度(2015年)は年明け開催予定

内容:ユーザーの本質的要求に応える、新たな商品・サービスの創出を目指して

『EXPERIENCE VISION「ビジョン提案型デザイン手法」を学ぶ』

講師:高橋 克実 氏(株式会社ホロンクリエイト 代表取締役)

早川 誠二 氏 (NPO 法人人間中心設計推進機構 事務局長)

山崎 和彦 氏 (千葉工業大学工学部デザイン科学科 教授)

上田 義弘 氏(富士通デザイン株式会社 代表取締役社長)

http://www.kanagawa-iri.jp/2014/06/mod_seminar2014.html

②デザインフォーラム

期間:2015年10月29日(「神奈川県ものづくり技術交流会」内の開催)

内容: 県内ものづくり中小企業にデザイン活用の啓蒙・普及、ものづくり企業とデザイン事業者の

交流を目的としたデザインフォーラムを実施。

内容:【デザイン】次世代ものづくりフォーラム「ロボット×デザイン×経営」

基調講演:近藤 玄大 氏(イクシー株式会社 代表取締役)

松崎 良太 氏(きびだんご株式会社 代表取締役)

http://www.kanagawa-iri.jp/2015/09/design-forum_2015.html

次回実施予定及び評価

機関名	横浜市工業技術支援センター
部署名	横浜市経済局中小企業振興部工業技術支援センター
電話連絡先	045-788-9000

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザイン支援事業	平成6年度	11,535 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(1) デザイン相談

中小企業からの相談に対し、当センターのデザイナーが現地を訪問し、課題解決方法を提案します。

対象分野:ウェブデザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、等

対象者:横浜市内の中小企業

利用料金:無料

(2) デザイン調製

企業から依頼を受け、当センターのデザイナーが製品・パンフレット・パネル等のデザインを行い、中小企業の販路 開拓、販売促進等を支援します。

対象分野:グラフィックデザイン、プロダクトデザイン

対象者:市内中小企業、市内大企業、市外企業

利用料金: 有料(企業の規模により、手数料が異なります。)

(3) デザイン産学

自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えている横浜市内の中小企業が商品企画テーマを提示し、それに対し、デザイン系教育機関の学生が自らの感性や発想等の強みを活かして商品企画を提案する事業を実施しています。

(平成26年度実績)

取組期間:平成26年4月~12月

取組数:6テーマのプログラムを実施(6企業、5教育機関)

(4) デザインセミナー

デザイン相談事業の一環として、製造業を中心とした市内中小企業を対象に、販売促進活動へのデザインの活用方法などを紹介し、参加企業が抱える販促関連の課題に対するデザイン相談会を行うセミナーを実施しています。

(平成26年度実績)

テーマ:「売るための販促戦略とデザイン」 「中小企業経営に役立つデザインカ」

実施回数:2回 参加者数:延べ40名

<事業に関する情報が掲載されているサイトURL>

http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shien/sien-c/design/

次回実施予定及び評価

機関名	川崎市
部署名	経済労働局次世代産業推進室コンテンツ産業担当
電話連絡先	044-200-0168

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザイン振興育成事業	平成4年度	7 9 4 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

① かわさきデザインフォーラム

各分野で活躍している方を講師に招き、デザインを切り口にしたテーマによる講演会を開催するとともに、参加者相互のビジネス交流・情報交換の場を提供するデザインフォーラムを開催した。

通算回数	開催日	テーマ	講師	参加人数
102	平成26年7月28日	『売れるパッケージの作り方』 〜自社製品を持つ中小企業の方へ パッケージデザインの基本講座〜	株式会社プラグ アカウント・エグゼクティブ 代表取締役社長 冨澤 慈人 氏	5 2名
103	平成 2 6年 9月 3日	『中小企業のためのブランデングデザイン』 ~「良さ」を伝える手段としてのブランド戦略~	株式会社エイトブランディングデザイン 代表/ブランディングデザイナー 西澤 明洋 氏	5 8 名
104	平成27年 1月27日	3D プリンタの本当に新しいモノづくり』	慶應義塾大学環境情報学部 准教授 田中 浩也 氏	176名
105	平成27年 2月16日	『社会を創るデザイン』 〜ピープルデザインの目指すもの〜	NPO 法人ピープルデザイン研究所 代表理事 有限会社フジヤマストア/ネクスタイド・エヴォリ ューション代表 須藤 シンジ 氏	5 9名

②商品化支援事業

市内中小企業の自社ブランド製品の商品化等に向けた活動に対し、デザイナー等の外部専門家を派遣し、商品化から販路開拓までの支援を行った。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.kawasaki.jp/jigyou/category/79-29-3-0-0-0-0-0-html

次回実施予定及び評価

平成27年度も継続して実施。

平成28年度以降は「かわさき産業デザインコンペ」等と統合し、実施予定

機関名	川崎市
部署名	経済労働局次世代産業推進室コンテンツ産業担当
電話連絡先	044-200-0168

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザインコンペ事業	平成8年度	5,367千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

市内企業等の協賛(デザイン課題提出)により応募作品の実現化・商品化を目指した産業デザインコンペを実施するとともに、産業デザイン普及啓発イベントとしてデザインフェアを開催した。

①かわさき産業デザインコンペ2014

- テーマ「作法を変える、内でも外でも」
- 課題 A オフィスで使用する移動可能なパーティション
 - B 犬の散歩用マナーセットを収納する専用ハンディバッグ
 - C 一体型花立香炉
 - D 超硬合金の「重さ」と「硬さ」の素材特性を活かした新しい用品
 - E クリエイティブマインドを刺激するデスク
 - F 壁掛け用植物ラック
 - G 旋盤加工が産み出す新しい用品
- 応募点数 171点 入賞作品数 10点
- 高校生部門

テーマ 「家でも街でも、生活を楽しく変えるモノ」 応募点数 101点 入賞作品数 9点

②第26回かわさきデザインフェア

- ・ 期日・会場 平成27年1月27日 川崎市産業振興会館ホール他
- 内容 かわさき産業デザインコンペ2014 最終(公開)審査会・表彰式
- 第104回かわさきデザインフォーラム(講演会)
- ・ かわさき産業デザインコンペ入賞作品展示
- · 参加人数 176名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.kawasaki.jp/jigyou/category/79-29-1-0-0-0-0-0-0.html

次回実施予定及び評価

平成27年度も継続して実施。

平成28年度以降は「産業デザイン振興育成事業」と統合し、実施予定

機関名	新潟市役所
部署名	経済部企業立地課
電話連絡先	025-226-1689

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
"がたまる"アイデアソン・ハッカソン	2 6 年度	1,000千円 (27年度)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

- O H 2 6・2 7 年度と2 回開催。下記はH 2 7 開催時の内容。
- 1 目的 市オープンデータ広報(地域データ利活用プラットフォーム活用)及びICT・デザイン産業,ベンチャー活性化,学 生の地元企業への就職促進を目的にアイデアソン・ハッカソンを開催。
- 2 構成 キーノート・アイデアソン H27.11.28(土) / ハッカソン H27.11.29(日)
- 3 規模 97名(ITエンジニア・プログラマー,デザイナー,クリエイター,学生など)
- 4 会場 第一部 旧大和百貨店 3 F 特設会場 第二部 プラーカ3 3 F 富士通コミュニケーションサービス(株)リフレッシュルーム
- 5 テーマ 皆でつくる新潟の"○○どころ"
- 7 外部招聘講師等
- (1) キーノート 石戸奈々子氏(NPO 法人 CANVAS),石川竜太氏(デザイナー),佐藤裕美氏(伝統工芸士)
- (2) メンター 関治之氏(Code for Japan),山田道也氏(Code for Niigata)
- 8 併設イベント等
 - 家族連れも参加可能な手型アート体験(佐藤裕美氏)・マッピングパーティ(Code for Niigata)
- ユーストリーム配信,参加者の一体感醸成を目的とした T シャツ・ステッカーなどのノベルティ
- 9 実施主体 主催:新潟市・NPO 法人 ICT えちご応援隊・信越情報通信懇談会 協力: Code for Japan, Code for Niigata, 富士通ゲループ, 総務省信越総合通信局

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.niigata.lg.jp/business/kigyo/sokushinho/shien/ideat-hack2015.html

次回実施予定及び評価

Code for Niigata の誕生,オープ・ンデ・ータ地域デ・ータ利活用プ・ラットフォームの構築等,一定の成果はあったものの, ICT・デザイン産業,ベンチャー活性化,学生の地元企業への就職促進という本来の目的については評価がしにくいなどの課題も踏まえ,また,コスト面の検証も実施のうえ次回実施について検討する。

機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
部署名	経営支援グループ 市場開拓チーム
電話連絡先	025-246-0044

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
「百年物語」プロジェクト推進事業	平成 15 年度	9,000 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概要:

新潟発の国際ブランド構築プロジェクト「百年物語」を推進し、本県生活関連産業の商品企画・開発力の向上、欧米を中心とした海外及び国内における市場開拓を進めるもの。

実施機関:

(公財)にいがた産業創造機構

平成 27 年度事業概要:

(1)商品開発

外部からデザイン専門家を招聘し、「生活を進化させる道具」をテーマに、参加企業 12 社とのデザインミーティングを通して、商品開発を行う。

- (2) プロモーション
 - ・ドイツで開催される世界最大の消費財見本市「アンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2016」への出展。
 - ・国内で開催される見本市「インテリアライフスタイル東京」への出展
 - ・日本語・英語でのホームページ制作
- (3) 販路開拓・拡大

国内百貨店催事等への出展

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.nico.or.jp/hyaku/

次回実施予定及び評価

平成28年度実施については、現在検討中。

機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
部署名	経営支援グループ 市場開拓チーム
電話連絡先	025-246-0044

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ねくすと創造塾	平成 24 年度	165 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概 要:

県内生活関連産業の次代を担う人材育成を目的に、自社の特性を踏まえた商品開発のための ノウハウ取得を目指して講座を開催するもの。

実施機関:

(公財)にいがた産業創造機構

内容:

- ・商品プランナー育成コース:マーケティング戦略や商品プランニングを学ぶワークショップ
- ・商品マネージャー育成コース:商品開発や商品デザインを学ぶワークショップ
- ・市場マネージャー育成コース:ブランド構築方法や流通開発について学ぶワークショップ

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

https://www2.nico.or.jp/service/4099/

(平成 27 年度募集案内のページ)

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
部署名	経営支援グループ 市場開拓チーム
電話連絡先	025-246-0044

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ニイガタIDSデザインコンペティション2016	平成2年度	6,182 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概要:

生活市場に向けた「新しい商品」及び「新しいシステム」を県内企業等から募集し、作り手視点(デザイナー)・売り手視点(流通)・買い手視点(情報)の3分野の第一線で活躍する審査委員が審査・評価を行うコンペティション。

実施機関:

(公財)にいがた産業創造機構

平成 27 年度開催概要:

応募期間: 平成27年9月1日~平成28年1月29日

審 查: 平成28年3月2日 表彰式等: 平成28年3月3日

一般公開: 平成28年3月3日~3月4日

会 場:アオーレ長岡(新潟県長岡市)

審查委員:審查委員長/豊口 協氏(長岡造形大学名誉教授)

副審査委員長/土居輝彦氏(㈱ワールドフォトプレス編集局長&mono マガジン編集ディレクター)

審査委員/野口正幸氏(㈱三越伊勢丹ギフト・ソリューションズ取締役営業部長)

審査委員/宮武 滋氏(㈱東急ハンズ執行役員MD企画部長)

審査委員/ムラタ・チアキ氏(㈱ハーズ実験デザイン研究所代表取締役)

審査委員/山田節子氏(㈱)松屋MD戦略室東京生活研究所アドバイザー)

次回実施予定及び評価

山梨県

機関名	工業技術センター
部署名	デザイン技術部
電話連絡先	055-243-6111

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン情報調査提供事業	平成4年度	1,291千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デザイン開発を行う際に必要とされる各種デザイン情報を収集提供することにより、中小企業、デザイナーなどの事業活動を支援する。

① デザイン情報紙「DESIGN YAMANASHI Iの発行

県内外のデザイン情報を収集・編集し情報紙として広く県内関係者に配布する。

平成 25 年度からは複数の分野にまたがる膨大なデザインの知識から、ものづくりのアイデアの誘因を目的としたキーワードを一つ取り上げ、ポストカード形式で発行している。

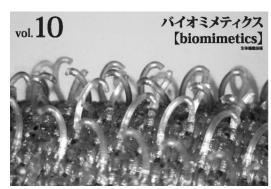
② デザインライブラリーの整備

各分野のデザイン情報を収集し、必要に応じて閲覧・貸し出しを行う。

③ デザイナーバンクの整備・運営

県内のデザイン事務所概要や活動実績などの情報をデータベース化し、デザイン開発を志向する企業などに対して公開することで、デザイン活用の促進を図る。





隔月で発行しているデザイン情報紙 「DESIGN YAMANASHI!

※毎回テーマを変え、それに沿った印象的なビジュアルと解説で構成

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.yamanashi.jp/kougyo-gjt/design/jouhou/top.html

次回実施予定及び評価

H28 年度も継続して実施予定

山梨県

機関名	工業技術センター
部署名	デザイン技術部
電話連絡先	055-243-6111

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
やまなしものづくりデザイン塾事業	平成17年度	1,634千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

将来のデザインプロデューサー(商品開発リーダー)たりうる高度デザイン人材の育成を目的として、商品開発に携わっている企業内デザイナー、製品設計者、商品企画担当者などを対象に、デザイン及びマーケティング手法を活用した商品開発の総合的な実務能力を養成する講座を開催する。

①実践コース・A「ものづくりとソーシャルデザイン」

期間:2015年10月8日~11月19日(全5回)

内容:身の回りの課題をクリエイティブな方法で解決する「ソーシャルデザイン」という考え方を中心に、ものづくりのあり

方について講義・ワークショップを通し学ぶ。

講師:兼松 佳宏 氏 (greenz.jp 編集長/NPO 法人グリーンズ理事)

定員:15名

②実践コース・B「デザインの文法」

期間:2015年11月30日~12月8日(全5回)

内容:デザイン発想のルールを言語のように「文法」として体系化し、これにより「良いデザイン」を生み出す手法につ

いて講義と演習を通じて学ぶ。

講師:太刀川 英輔 氏(NOSIGNER代表)

定員:15名

②実践コース・C「デザインシンキング」

期間:2016年1月14日~2月4日(全5回)

内容:今、話題となっている「デザインシンキング」をどのように開発の現場に取り入れ、どのように使って新しいものを

生み出していくのかについて、講義と演習を通じて学ぶ。

講師: 富田 欣和 (慶應義塾 SDM 研究科 特任講師)

定員:15名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.yamanashi.jp/kougyo-gjt/design/design-juku.html

次回実施予定及び評価

H28 年度も継続して実施予定

山梨県

機関名	工業技術センター
部署名	デザイン技術部
雷話連絡先	055-243-6111

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
やまなし地場産品ブランディング支援事業	平成27年度	8,557千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

外部デザイナーの指導・助言の下に、山梨県地場企業の技術、ノウハウ、取り扱う素材、既存製品・商品などを基に、新製品・商品開発を行うことを通じて、地場企業のデザインカの向上を図る。

- ①プロダクトアウト型新製品開発
 - ②マーケットイン型新商品開発

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

無し

次回実施予定及び評価

H28 年度も継続して実施予定

長野県

機関名	観光部
部署名	信州ブランド推進室
電話連絡先	026-235-7247

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
信州ブランドフォーラム	平成16年度	県負担金
	平成10年度	3 0 0千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

産・学・官が協働して信州ブランドの構築を目指し、ブランドづくりへの施策や知識の普及・啓発を図るために開催する。

開催時期:毎年11月中旬

開催場所:長野市内 参加人数:約300人

実施団体:信州ブランドフォーラム開催実行委員会

(長野県デザイン振興協会、長野県、(一社)長野県経営者協会、(一社)長野県商工会議所連合会、

長野県中小企業団体中央会、長野県商工会連合会、信州大学、長野大学)

実施内容:信州ブランドアワードの発表・表彰、講演、パネルディスカッション等

※「信州ブランドアワード」: 長野県の特質を活かしたブランドの選定・表彰

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.ndpa.jp/brand_award

次回実施予定及び評価

県内のブランドの育成を目指し、今後も継続して実施する。

長野県

機関名	長野県工業技術総合センター
部署名	環境·情報技術部門
電話連絡先	0263-25-0790

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
地域資源製品開発支援センター事業	平成 20 年度	13,549 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

地域資源製品の高付加価値化を効果的に支援するため、工業技術総合センターにおいて、「地域資源製品開発支 援センター事業」を推進し、民間出身の総合プロデューサーが中心となって感性価値を高めたデザインを活用した商品 化への支援を行う。

<主な事業内容>

(1)総合プロデューサーによる監修

民間企業において多くの商品開発経験・実績を有する人材を「製品開発総合プロデューサー」として配置し、製品開 発の初期から商品化までを総合的に監修し、効果的な支援を図る。

(2) デザイン活用への支援機能

デザイン活用に関する専門知識を有する支援員を配置し、多種多様なデザイン支援ニーズへの対応強化や開発製品 のPR支援を行う。

(3) 新製品開発プロジェクトの推進

製品化の相談内容に応じたプロジェクトチームを編成し、デザイナーなどの専門家の助言指導を得ながら、魅力的な地 域資源製品の開発を進める。

(4)新製品開発塾の開催

中小企業等を対象とした新製品開発塾(ワークショップ)を開催し、地域資源を有効活用した製品企画・構想の策 定支援を行う。

【商品化事例】



ろくろスピーカーII

<事業に関する情報が掲載されているサイトURL>





生物顕微鏡「X-LABO」

http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/joho/chiikishigen/

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続実施

機関名	経済産業部商工業局
部署名	地域産業課
雷話連絡先	054-221-2812

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
「グッドデザインしずおか」選定事業	平成5年度	2,237千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

静岡県内の中小企業等の製品開発の取組について、そのデザイン性や市場性が優れた製品を選定、奨励することにより、企業、開発担当者、デザイナー等のものづくりに対する意欲・認識の向上を図り、さらに企業はもとより県民全体のデザイン意識の向上と浸透を図ることを目的とする。

募集対象: 県内の中小企業等が開発又は生産している製品

募集期間:毎年6~7月

選定方法 : 大学教授、デザイナー、流通専門家等の10名以内で構成される審査会を設置し、一次審査、二

次審査を行い決定

審査日程: 一次審査(書類) 8月下旬

二次審査(現物審査及び質疑応答) 10月中旬

表 彰: 大賞(知事賞) 総合的に評価が高いもの

ユニバーサルデザイン賞 使いやすさ・安全面・環境に配慮していると評価されたもの

マネジメント賞 製品化の過程でデザインを戦略的に活かしていると評価されたもの

文化賞 伝統文化や地域文化の魅力が表現されていると評価されたもの

技術賞 技術や素材の改良・開発がなされていると評価されたもの

奨励賞 審査員の評価が高いもの

計 12 点程度

支援等:・審査員との意見交換会

・流通アドバイス会(販路開拓等について専門家との個別面談方式相談会)

・選定製品紹介パンフレット、静岡県ホームページでの紹介

・県庁等での展示

・首都圏で開催される展示会(東京インターナショナルギフトショー)への出展

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-560/chiikisangyo.html

次回実施予定及び評価

機関名	経済産業部商工業局
部署名	地域産業課
雷話連絡先	054-221-2812

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン情報サービスシステム設置事業	平成 13 年度	3,795 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■デザイナーバンク

県内のデザイナー(グラフィック、プロダクト、アパレル、テキスタイル等)の情報をデータベース化して、ホームページ上に公開し、検索できるシステム

登録件数 ; 105件(平成27年10月末現在)

■デザインライブラリの整備・閲覧・貸出

工業技術研究所所蔵出版物(書籍、雑誌、ビデオ等)の情報をデータベース化し、ホームページ上に公開。閲覧・貸出も可能

所蔵出版物 ; 約2300点

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.shizuoka.jp/dis/

次回実施予定及び評価

機関名	経済産業部商工業局
部署名	地域産業課
雷話連絡先	054-221-2812

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
工業技術研究所実施事業	平成 13 年度	8,206 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■研究開発

ユニバーサルデザインに配慮した製品開発や、C A D / C G などを利用したプロダクト・グラフィックデザイン開発を企業等と共同で行っている。

■ 技術指導・相談

技術指導·相談件数:約1820件(H26年度)

■デザイン開発総合支援システム(H27更新)の開放利用

利用件数 : 約 200 件 (H26 年度)

DTP支援システム、プレゼンテーション支援システム、3次元支援システム

プリンタステーション

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.shizuoka.jp/

次回実施予定及び評価

機関名	経済産業部商工業局
部署名	地域産業課
雷話連絡先	054-221-2812

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
使用者育成ワークショップ事業	平成 27 年度	1,388 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

平成 27 年度に更新した「デザイン開発支援システム」について、三次元 CAD の活用方法に関するワークショップ を開催し、県内の中小企業等の技術の向上を図り、より高度な製品開発につなげる。

開催時期:11月、2月頃

募集人数: 県内の中小企業等10名(先着順)

内容(例): 1日目 基本的な使用方法、簡単な幾何学形状の作成等

2日目 自由曲面を使用した形状の作成、3 Dプリンタ出力用データの作成等 3日目 プレゼン等に使用する色調補正、印刷原稿に使用するデータの作成等

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.shizuoka.jp/

次回実施予定及び評価

機関名	経済産業部商工業局
部署名	地域産業課
雷話連絡先	054-221-2812

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインマッチング事業	平成 27 年度	718 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

静岡県内中小企業等におけるデザインを活用した高付加価値の製品づくりを支援するため、デザイン活用法等を テーマとする講演会及び企業とデザイナーをつなぐマッチング交流会を開催する。

募集対象: 県内に生産・開発拠点がある中小企業、地場産業・伝統工芸品生産者等

募集人数: 県内で活動しているデザイナー 約30名

県内に生産・開発拠点がある中小企業等 約30名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.shizuoka.jp/

次回実施予定及び評価

機関名	静岡市
部署名	経済局商工部産業振興課地場産業係
電話連絡先	(054) 281-2100

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ニューウェーブ「しずおか」創造事業	平成20 年度	6,437千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

静岡市の地場産業である家具をはじめとした木製品製造業等の新商品開発を支援しイノベーションを喚起するため、有志の参加によりプロデューサー指導のもとデザイナーと協働し、デザイン開発を行い、ギフトショー等都内見本市で展示発表し次代を担う新商品を開発する。

参加企業 : 地元木製品製造業等事業所及び職人7者6組

デザイナー:6者

事業タイトル:「つなぐデザイン」

開発品: 木製仏壇·小木製品·漆器等計約30点

プロデューサー: 日原佐知夫(創造意匠代表)

展示会: 「第80回東京インターナショナルギフトショー秋2015」

(平成27年9月4~6日) 他





「ギフトショー」出展風景

開発商品例

実施団体: 公益財団法人静岡産業振興協会(補助金事業)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.t-messe.or.jp/project

次回実施予定及び評価

機関名	静岡市
部署名	経済局商工部産業振興課地場産業係
雷話連絡先	(054) 281-2100

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興事業	平成10 年度	291千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

地元デザイナー団体と協働し、デザイナー等の提案による展示会を開催し、地元業界がデザイナー、大学、デザインプロジェクト等と交流することで振興を図る。

事業内容 : ①「静岡のカタチ展 2015 by デザイン静岡」の開催

(会場) ツインメッセ静岡 北館大展示場

(「シズオカ [K A G U] メッセ 2015」内)

(期日) 平成27年6月9~14日

②「私のデザインセレクション展」の開催

(会場) ツインメッセ静岡 1階展示コーナー

(期日) 平成27年11月27日~



「私のデザインセレクション展」風景

実施団体 : 公益財団法人静岡産業振興協会(補助金事業)・デザイン静岡

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.t-messe.or.jp/support

次回実施予定及び評価



機関名	富山県
部署名	商工企画課
電話連絡先	076-444-3245

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興事業(一部)	一 年度	57,218 千円
プリイン振興事業(一郎)		86,745 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■富山デザインウエーブの開催支援

<u>商品化を目的とした「富山デザイン</u>コンペティション」を核としたデザインイベントの集合体。デザイン開発の促進と、若手デザイナーの育成を目的として開催。

会期: 平成 27年 10月1日~6日 (ウイング・ウイング高岡)

内容:①企画展「クロスオーバー」

プロダクト、工芸、アート、建築と様々なジャンルで活躍する、鈴木マサル氏、

鈴野浩一氏、萩原修氏の活動を紹介。

②富山デザインコンペティション 2015 作品展

「地域の魅力を伝えるスーベニア」をテーマに実施したコンペ1次審査通過作品を紹介。

③富山マテリアルワークショップ作品展

「直径 60mm の道具」をテーマに、8組のデザイナーが製作したガラスと金属の作品を展示

■TOYAMA DESIGN -伝統工芸・ヘルスケア・ロボット分野における今と未来のものづくり-の開催

■ 富山県で次世代を担う産業として更なる発展が期待される「伝統工芸」、「ヘルスケア」、「ロボット」の3分野の産業デザインにフォーカスし、富山の取組みを発信するイベントを東京で開催。

日時: 平成 27年11月10日~15日(六本木 アクシス)

内容:①展覧会

上記3分野で伝統を活かしながら革新的なビジネスモデルを展開する県内企業を デザインの視点で紹介

②シンポジウム

次世代を担う産業分野における現状と今後について、各界第一人者と県内企業の代表者等が、デザインの視点から講演

(講師: 五洲薬品㈱代表取締役社長 藤井侃氏、日経 BP ヒット総合研究所上席研究員 渡辺和博氏ほか)

■富山・韓国・台湾デザイン交流事業の実施

- 韓国・台湾の国際的デザイン関連展示会への出展や、3地域で活躍するデザイン関係者によるフォーラムの 開催を通し、海外デザイン関係者との交流を促進。

内容: ①ソウルデザインフェスティバル (平成 27年 12月 2日~6日、韓国) への出展

- ②台湾デザインエキスポ(平成 27 年 11 月 21 日~12 月 6 日、台湾)への出展
- ③とやまデザイン&ビジネスフォーラム(平成 27 年 12 月 15 日、富山)の開催

(講師: ソウルデザイン財団前経営団長 鄭 國鉉氏、台湾デザインセンター執行長 陳文龍氏ほか)

■総合デザインセンターへの最先端設備の導入

- 県内企業のデザインを活かした製品開発の支援を強化するため、3 Dプリンター等最先端設備を富山県総合デザインセンターに新たに導入。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.toyamadesign.jp/

次回実施予定及び評価

一部今後も実施予定

機関名	富山県
部署名	商工企画課
電話連絡先	076-444-3245

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
総合デザインセンター事業(一部)	平成 11 年度	2,055 千円
総ってリイノビンター争未(一部) 		6,877 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デザイナーの資質向上及びデザイン開発型企業の育成を目的に、富山県総合デザインセンターを中心として、 商品企画からデザイン開発、販路開拓までを総合的に支援する。

■デザイン開発支援事業

- ・県内企業等を対象とし、個々の企業の状況に応じた開発の方向性(新商品開発、パッケージデザイン変 更、ブランド構築等)をアドバイス
- ・企業とデザインセンターの共同商品開発、各種コンペ優秀作品の商品化支援

■市場開拓·流通支援事業

・富山プロダクツ選定事業

県内企業が企画・製造した優れたデザインと機能を持つ商品を「富山プロダクツ」として選定し、総合カタログやホームページへの掲載、展示会出展など販路開拓を支援。

・デザインブランド販路開拓事業

「全国伝統的工芸品フェスタ in 富山」に合わせ、富山プロダクツ選定商品、富山デザインコンペ入賞作品等の展示を実施

会期:平成27年11月2日~30日場所:富山県産業高度化センター展示室

■デザイン交流事業

・デザイン講習会「蓮池槇郎のイタリア 52 年間 時代を、デザインを読む」の開催

日時: 平成 27年11月17日

場所:富山県産業高度化センター2階会議室

講師:蓮池 槇郎氏 (デザイナー)

・ナイトフォーラム「東京在住のデザインディレクターが富山に通う理由」の開催

日時: 平成27年6月12日

場所: D&DEPARTMENT TOYAMA

講師:ナガオカケンメイ氏(デザイン活動家・京都造形芸術大学教授・武蔵野美術大学客員教授)

桐山 登士樹 (富山県総合デザインセンター デザインディレクター)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.toyamadesign.jp/

次回実施予定及び評価

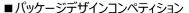
機関名	富山市
部署名	商工労働部 薬業物産課
電話連絡先	076-443-2071

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
富山デザインフェア2015	平成3年度	1,600 千円
	十成3千度	33,300 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

商業デザインの国内作品及び富山県内を中心に活躍する地元デザイナーの作品を一堂に展示し、広く一般市民や企業の方にデザインへ理解を深めてもらうとともに、デザイン技術の向上と人材育成を図るもの。

- ■主催 富山デザインフェア実行委員会、富山市
- ■期間 平成27年10月2日(金)~4日(日)
- ■場所 富山市民プラザ、デザインサロン富山
- ■展示内容(展示総数734点)
 - ·2015 TOYAMA ADC 展
 - ・日本パッケージデザイン展2015とやま
 - ・日本パッケージデザイン大賞2015入賞作品展
 - ・パッケージデザインコンペティション作品展
 - ・富山県内パッケージデザイン作品展
 - •PAPER VISION —subtexit—
 - ·第37回北日本新聞広告當入當作品展
 - ·全広連鈴木三郎助大賞·地域賞入賞作品展
 - ・第22回とやまクリエーター大賞展
 - ・ディスプレイデザイン賞2015作品展
 - ·第68回広告電通賞入賞作品展
 - ・景観広告とやま賞入選作品展
 - ・80年代のポーランドポスター展[第1回世界ポスタートリエンナーレトヤマより]



デザイナーを目指す学生の技術力向上と本市パッケージ産業の振興を目的としたパッケージデザインコンペティションを開催する。

- ・応募資格日本国内の大学、大学院、短期大学、専門学校に在学中の学生
- ・テ マ「お菓子を包む」
- ・実 績 応募総数110作品、うち入賞15作品
- ■デザインセミナー
 - (1) デザインセミナー 平成27年10月3日(土) (参加人数139人)
 - ·講師 髙田唯氏【株式会社ALL RIGHT】
 - ・テーマ 「次のデザイン」
 - (2) パッケージデザインセミナー 平成27年10月4日(日) (参加人数68人)
 - ・講師 伊藤透氏【公益社団法人日本パッケージデザイン協会副理事長】
 - ・テーマ 「デザインから日本を考えてみよう」

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.toyama.toyama.jp/shokorodobu/yakugyobussanka/toyama-designfair.html

次回実施予定及び評価



機関名	富山市
部署名	商工労働部 薬業物産課
電話連絡先	076-443-2071

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興事業	_	8,245千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■デザイン展開催補助

次の県内のデザイン関係イベントに対する補助。

- (1) 富山デザインウエーブ(平成27年10月1日~6日、ウイング・ウイング高岡)
- (2) 富山県デザイン展(平成27年10月2日~4日、富山県高岡文化ホール)

■富山市デザイン協議会支援事業

(1) 富山市デザイン協議会運営補助

デザインサロン富山の運営や、デザイン先進地への視察等を行い、富山市における新たなデザイン振興策の調査・研究を目的に、市内デザイン・印刷関連団体及び事業者により設立された「富山市デザイン協議会」に対し、運営補助する。

(2) デザインサロン富山運営補助

市内デザイン産業の活性化及びデザイナー、学生の支援を目的に開館した「デザインサロン富山」に対し、運営補助する。

事業内容

- ・デザインに係る展示会及び、会議、セミナーの実施やデザインの交流ができる場を提供。
- ・十分な制作環境を有しない学生などに対し、制作に使用できるパソコンを開放。
- ・コピー機や大型プリンタの印刷サービス
- ・デザイン関連書籍の閲覧

次回実施予定及び評価

機関名	富山市
部署名	商工労働部 薬業物産課
電話連絡先	076-443-2071

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ポスターコーディネート事業	平成18年度	1,611千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

民間企業の寄附を受けて設置したポスターギャラリーや市内各所に設置されている情報掲出パネル(シティスケープ)に対して、その使用方法や掲示するポスターについて専門的にコーディネートし、デザイン性の高いポスターを街なかに掲出することで、デザインの普及と街の賑わいづくりを図る。

実施主体 富山市デザイン協議会 (事業委託)







次回実施予定及び評価

機関名	富山市
部署名	商工労働部 薬業物産課
電話連絡先	076-443-2071

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ポスターの街・とやま開催事業	亚出 1 5 年度	2,500千円
ハスグーのはずといる別性尹未	平成15年度 	6,700千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

世界 5 大ポスター展の 1 つと言われ、世界的に評価の高い「世界ポスタートリエンナーレ・トヤマ」(富山県立近代美術館主催)を、より多くの方に周知・P R するため、展示開催期間に合わせ実施される協賛イベント「ポスターの街・とやま」事業を支援する。

(※世界ポスタートリエンナーレトヤマは1985年から3年に一度開催)

- ■主催「ポスターの街・とやま」実行委員会
- ■期間 平成27年9月1日(火)~平成27年11月23日(月·祝)
- ■場所 富山市内各所

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.ccis-toyama.or.jp/toyama/poster/index.html

次回実施予定及び評価

平成30年度も継続して実施予定

機関名	富山市
部署名	商工労働部 薬業物産課
電話連絡先	076-443-2071

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
グラフィックデザイン推進事業	2 2 年度	2,926千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

富山市の魅力を発信するイベント等のポスターを、本市のイメージに相応しいデザインに統一的に整備しPR等に 活用するため、コンペを実施し、有識者で組織した「富山市ポスターデザイン選定委員会」で選定を行う。なお、コン ペは市内のデザイン事務所に所属するデザイナー、または、市内に住所を有するデザイナーのうち、一定の基準を満 たす者に対して募集を行う。

■募集テーマ

第一期:第55回富山まつり(応募数7)、富山デザインフェア2015(応募数9)

第二期:第62回全日本チンドンコンクール(応募数9)

■富山市ポスターデザイン選定委員会

委員長 伊東 順二 氏(富山市政策参与、東京藝術大学特任教授)

委 員 長友 啓典 氏(富山市政策参与、株式会社ケイツー代表)

柴田 常史 氏 (株式会社リンク エス代表取締役) 桐山 登士樹 氏 (富山県立近代美術館 副館長、株式会社 TRUNK 代表取締役)

片岸 昭二 氏(南砺市立福光美術館館長)

■実績



第55回富山まつり



富山デザインフェア 2015





第62回全日本チンドンコンクール

次回実施予定及び評価

機関名	高岡市
部署名	産業企画課
電話連絡先	0766-20-1394

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
工芸都市高岡クラフトコンペティション	昭和 61年度	5,400千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

工芸都市高岡クラフトコンペは、「ものづくりのまち高岡」発展の原動力となることを目指し、また、全国の若手クラフトマンの登竜門として、高岡伝統産業青年会、高岡商工会議所、高岡市などからなる実行委員会により 1986 年にスタートしました。2015年までに、全国のからのベ1万1,712名の出品と歴代84名(延べ207名)の多彩な審査員のみなさんのご協力に支えられ、全国有数のクラフトコンペとして今日を迎えました。

工芸都市高岡 2015 クラフト展

会期 平成 27年10月1日(木)~10月5日(月)

時間 午前10時~午後6時 ※最終日は午後5時まで

会場 (株)大和高岡店 4 F催事場(富山県高岡市御旅屋町 101)

TAKAOKA CRAFT COMPETITION











次回実施予定及び評価

機関名	高岡市
部署名	デザイン・工芸センター
電話連絡先	0766-62-0520

事業名	開始年度	全体予算額
クラフトマン・デザイナー育成支援事業	昭和60年度	794 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

第一線で活躍するデザイナーやクリエイターを招き「デザインセミナー」を開催する(昭和60年から開催)。また、地元クラフトマンの自立を支援する事業として展示即売会「クラフトマンズギャザリング(クラフトマンの集い)」を開催する(平成15年から開催)。これらの事業は県内の若手クラフトマンに作品の発表機会、消費者との交流の場を提供するとともに、クラフトマンを含めた作り手の意識の高揚と新商品開発から販路開拓までの活性化を促すことを目的とする。

■クラフトマンズ ギャザリング

期日 平成 27 年 10 月 1 日 (木) \sim 10 月 5 日 (月) 会場 大和高岡店 1 階 アトリウム 入場者数 3375 名



■デザインセミナー

期日:平成27年3月20日(金)

会場:ウイングウイング高岡503会議室

講師:松場 登美氏(株式会社 石見銀山生活文化研究所 代表取締役所長)

テーマ:「足元の宝を見つめて暮らしをデザインする」

入場者数:60名



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

クラフトマンズギャザリング

http://www.suncenter.co.jp/takaoka/event/index.html



次回実施予定及び評価

クラフトマンズギャザリングは平成 27 年度も引き続き実施予定 デザインセミナーは今年度は3月に実施予定

機関名	高岡市
部署名	デザイン・工芸センター
雷話連絡先	0766-62-0520

事業名	開	始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン情報誌発行事業	Z	平成4年度	1351 千円

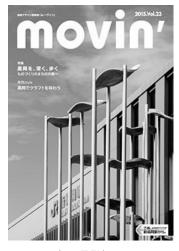
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

ものづくりのまち高岡の、デザインや新商品をはじめとする産業の最新動向について取材し、「高岡発」のデザインやクラフトなどの情報をわかりやすくまとめた情報誌を発行する。

また、商品だけでなく、つくり手、工房、製造現場などを観光も含めた内容で紹介し、高岡の魅力を発信する。
・A4 版 12ページ 6000 部 年 1 回 (3月) 発行

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.suncenter.co.jp/takaoka/movin/movin.html



2015年3月発行 VOL.23



特集「高岡でクラフトを味わう」

次回実施予定及び評価

機関名	高岡市
部署名	デザイン・工芸センター
雷話連絡先	0766-62-0520

事業名	開始年度	補助予算額
高岡金属意匠審議会運営補助金	_	60 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

高岡金属意匠審議会の運営にかかる経費に対し、補助する。

「高岡金属意匠審議会」とは

高岡金属意匠審議会は、昭和32年2月設置され、高岡市内及び周辺地域で生産される金属工芸品の新規意匠の奨励や登録・保護等の事業を実施し、地域産業の振興・発展に一定の役割を果たすとともに、業界相互のトラブルを未然に防止するために各種事業を行っております。

■知的財産権セミナーの開催

平成 23 年度 「商品力強化のためのデザインと知財戦略」

平成24年度「商品力強化のためのデザインと知財戦略 PART2|

平成 25 年度 「デザイン活用ビジネスのための知的財産権講座(著作権編)」

平成 26 年度「デザイン活用ビジネスのための知的財産権講座(不正競争防止法編)」

平成 27 年度 「デザイン活用ビジネスのための知的財産権講座(デザインのリスクマネジメント編)」

講師 弁理士、渡邉知子国際特許事務所代表 / 渡邉 知子氏

主催 高岡金属意匠審議会、高岡市

※平成 23 年度は中部経済産業局の補助事業として開催

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.suncenter.co.jp/takaoka/isyou/index.html



次回実施予定及び評価

機関名	高岡市
部署名	デザイン・工芸センター
電話連絡先	0766-62-0520

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
新クラフト産業デザイン育成支援事業	平成 11 年度	1,200千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

高岡伝統工芸産業の再生策として、市場競争力を持つ産地ブランド新商品開発プロジェクトを当センターの開設以来実施してい る。中長期のテーマによるプロジェクトを立ち上げ、企業の参加を募り、指導者(招へいデザイナー)による指導の下、産官一体で実 施している。

平成26年度からは、北陸新幹線開業により交流人口の増加が期待される高岡の魅力を県内外に伝えるギフト商品開発プロジェク ト「ZAI」」に取り組んでいる。銅器・漆器などの地域資源素材 [ZAI] を活かした高付加価値な商品開発を目指す。伝統工芸メー カー・問屋、デザイン関係者など19名参加。

[プロジェクト実績]

- ・平成11年度【鉛レス素材開発研究会】
- ・平成 12~15 年【HiHill (ハイヒル) プロジェクト】 伝統素材を活かした建築内外装材の開発。 ※平成 16 年グッドデザイン賞特別賞受賞、有限会社化
- ・平成 16~18 年【うるおしプロジェクト】 水周りや女性向けの新高岡漆器商品開発。
- ・平成 19~21 年【いのり・いわいプロジェクト】 従来の神仏具にとらわれない銅器、漆器関連商品開発。
- ・平成 22~25 年【udeco (ユデコ) プロジェクト】 ユニバーサルデザイン(UD)、エコロジー(eco)をテーマにした商品開発。
- ・平成26~28年【コミュニケーションギフト開発プロジェクト「ZAI」】



http://www.suncenter.co.jp/takaoka/info/indexinfo.html









次回実施予定及び評価

機関名	石川県	(公財)石川県デザ	インセンター
部署名	産業政策課	同上	
電話連絡先	076-225-1519	076-267-0365	
	_		坩助 叉管類

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
基幹産業デザインカ育成支援事業	平成23年度	県1,600千円 全2,100千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

本県の基幹産業である機械・繊維・I T・食品等の中小企業を対象に、「デザイン」の活用 促進やデザインに関連する人材育成を行う(記載内容はH27年度で予定含む)。

- 1 デザイン戦略セミナー
- (1) ものづくり企業を対象としたデザイン活用

回数:1回 参加者:40人 講師:全国規模で活躍しているデザイナー

(2) 北陸新幹線開業を踏まえた首都圏市場や県外観光客を対象としたデザイン活用

回数: 3回 参加者:各回約30人 講師:県内外の3事業者

2 地域巡回デザイン相談

県内3地域:輪島市(県北) 白山市(県央) 加賀市(県南)

相談件数:各地域3回程度

3 デザインクリニック事業

企業の要望により、県内デザイナーを派遣し、県工業試験場の技術的な協力も得て、

製品デザインやパッケージデザイン等についてアドバイス

対象企業:10 社程度

4 デザイントライアル事業

工業デザインに関わる団体や大学が連携し、地元企業から提示された商品開発課題に対して、学生が講師の指導を受けながらデザイン提案を行う

対象企業: 2社 学生: 各社15人程度 研修会・演習:10回程度

連携機関:石川県プロダクトデザイン協会・金沢美術工芸大学



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.design-ishikawa.jp

次回実施予定及び評価

H 2 8 年度も継続予定

機関名	石川県	金沢市	(公財)石川県デザインセンター
部署名	産業政策課	クラフト政策推進課	同上
電話連絡先	076-225-1519	076-220-2373	076-267-0365

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興事業	昭和60年度	県3,500千円 市1,700千円 全7,300千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内におけるデザイン関係ビジネスの振興やクラフト(工芸)産業の支援を目的に各種事業を実施することにより、本県のデザイン業界の振興を図る(記載内容はH27年度で予定含む)。

1 石川デザイン賞

デザインの普及や発展に貢献があった企業や団体等を顕彰 3者程度

2 デザイン相談・指導/情報・収集提供事業 デザインに関する各種相談への対応、デザインライブラリーの運営など

3 マーケットイン商品開発事業

県内のクラフト作家等が、東京都内の百貨店をモデルとして、専門家から指導を受けながら、マーケット側の視点を重視した商品開発を行い、展示会で展示販売する

参加者:約30者 研修会:3回程度 展示会:松屋銀座11月末から2週間

4 デザイン推奨事業

県内のデザインに優れたクラフト作家等を選定し、全国規模の見本市出展や商品カタログの作成・配付により、販路開拓を支援

選定数:18者 見本市:2月上旬の東京インターナショナルギフトショー春

5 石川県デザイン展

デザインの重要性について P R するため、 県内の企業、デザイナー、 学生から優れたデザイン作品を公募し、 これらを一堂に展示

会期:11月上旬の4日間 会場:石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市)

来場者:約6,300人 出展作品:一般106件 学生:93件



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.design-ishikawa.jp

次回実施予定及び評価

H 2 8年度も継続予定

機関名	石川県	金沢市	(公財)石川県デザインセンター
部署名	産業政策課	クラフト政策推進課	同上
電話連絡先	076-225-1519	076-220-2373	076-267-0365

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
国際北三7届 会识 2.0.1.6.周/战事类	昭和59年度	県・金沢市で
国際ガラス展・金沢2016開催事業 	(3年に1回開催)	予算要求中

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 開催趣旨

ガラス作品の国際公募展である本展の開催を通じ、ガラスという新しい生活文化や産業を育てるとともに、他の工芸や産業分野に対して創造性を触発していく。

2 概要

(1) 主催

国際ガラス展・金沢開催委員会(構成:県、金沢市、金沢商工会議所、(公財)石川県 デザインセンター)

(2)作品公募

期 間:平成27年9月上旬~平成28年3月3日

応募数:前回(2013)は35の国と地域から332点(うち国内133点)

(3)審査方法

1次(画像)審査 平成28年4月中旬 スライド 審査員:国内4人 本審査 平成28年6月下旬 実物 審査員:海外3人国内2人

(4)賞

大賞1点 副賞100万円 ほか金賞1点、銀賞4点、奨励賞6点、審査員特別賞5点

(5)展示会

平成 28 年 10 月 19 日~10 月 31 日 会場:石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市) 平成 28 年 11 月中旬から約 2 カ月間 会場:石川県能登島ガラス美術館(七尾市)



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.design-ishikawa.jp.

次回実施予定及び評価

次回は本展開催後、関係者間で協議

機関名	石川県	金沢市ほか2市	(公財)石川県デザインセンター
1%10,1 <u>D</u>	11/1/1/1	並//(13/6/3/2/13	(2/0)
部署名	産業政策課		同上
電話連絡先	076-225-1519		076-267-0365

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
国際漆展・石川2017開催(準備)事業	平成元年度 (3年に1回開催)	県・金沢市で準備 事業予算要求中

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 開催趣旨

本展は、漆を用いた新しい生活提案や新しい感性の提案等を広く国内外に求めることに より、漆産業の活性化と漆を通じた国際交流の推進、さらには、生活文化の向上を期待して開催している。

2 概要

(1) 主催(前回 2014 の場合)

国際漆展・石川開催委員会(構成:県、金沢市、輪島市、加賀市、金沢商工会議所、 輪島漆器商工業協同組合、山中漆器連合協同組合、金沢漆器商工業協同組合、 (公財)石川県デザインセンター)

(2) 作品公募(前回 2014 の場合)

期間:平成25年11月上旬~平成26年4月18日

応募数:15の国と地域から207点(うち国内126点)

部門:デザインとアートの2部門

(3) 審査方法(前回 2014 の場合)

1次(画像)審査 平成26年5月23日 スライド 審査員:国内4人 本審査 平成26年8月7日 実物 審査員:海外1人国内5人

(4) 賞(前回 2014 の場合)

大賞1点 副賞100万円 ほか金賞2点、銀賞2点、奨励賞4点、審査員特別賞6点等

(5) 展示会(前回 2014 の場合)

平成 26 年 10 月 22 日~11 月 3 日 会場:石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市) 平成 26 年 12 月 19 日~翌年 1 月 18 日 会場:石川県輪島漆芸石美術館(輪島市)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.design-ishikawa.jp.

次回実施予定及び評価

関係者間で協議

岐阜県

機関名	岐阜県
部署名	商工労働部地域産業課県産品開発係
電話連絡先	058-272-8362

事業名	開始年度	全体予算額
商品開発•流通支援事業	2 3 年度	21,242千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

消費者の視点に立ったデザイン性、市場性の高い商品開発を市場へ流通させるための取り組み、商品価値を消費者に適切に伝える伝達力向上対する支援を行い、県内企業の利益率の高いビジネスモデルづくりを推進する。

事業内容:

① 商品開発支援事業

・県内のモノづくり企業の商品等開発プロセスに流通事業者を参画させることにより、消費者視点に立った品質、デザイン性、機能性に優れた商品開発や、商品のパッケージデザイン開発を支援する。

② 流通支援事業

- ・県内のモノづくり企業の商品開発力の向上と、首都圏における利益率の高い販路開拓を目指して、都内セレクトショップで県産品のテストマーケティングを実施する。
- ・なお、都内セレクトショップでは、モノづくり企業の海外展開支援の一環として、海外の高感度な消費者の反応を 知るための在日外国人を対象としたテストマーケィングや県内企業との交流イベントも併せて実施する。
- ・県産品を一堂に集め、従来のインテリア、雑貨等の見本市とは異なるファッション・アートなどの国際展示会にブースを出展し、岐阜県のモノづくりの P R と新たな販路開拓を支援する。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/ken-gaiyo/soshiki-annai/shoko-rodo/chiiki-sangyo/

次回実施予定及び評価

岐阜県

機関名	岐阜県産業技術センター
部署名	繊維部
雷話連絡先	058-388-3151

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインセミナー	平成12 年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

事業内容

岐阜県繊維デザイン協会と共催

期日:11月、3月

場所:毛織会館(岐阜県羽島市竹鼻町)

テーマ: 11 月「来シーズン秋冬トレンド情報 |

3月「今シーズン素材傾向の総括と来シーズン春夏素材傾向」

実施団体:岐阜県繊維デザイン協会主催 ほか4団体

講師:11月 TCカンパニー代表、エスモードジャポン大阪校ディレクター 十三千鶴氏

3月 オフィスクルマ 車純子氏

参加人数:100 名程度

次回実施予定及び評価

来年度も継続予定

岐阜県

機関名	公益財団法人 岐阜県産業経済振興センター
部署名	産業振興部 振興課 起業・デザイン支援担当
電話連絡先	058-277-1079

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
モノづくり商品開発支援事業	2 7 年度	28,500 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内モノづくり事業者の新商品の企画・開発を支援することにより、顧客の視点に立ったデザイン性・市場性の高い新商品開発に挑戦する機会を提供し、企業の商品開発力の向上を図ると共に、国内外に発信できる岐阜県ブランドの商品ラインナップの強化、さらには地域のデザイナーの育成を図る。

① 商品開発支援事業

県内のモノづくり企事業者の新商品企画・開発を支援することにより、顧客の視点に立ったデザイン性・市場性の高い 新商品開発に挑戦する機会を提供し、企業の商品開発力の向上を図るとともに、国内外に発信できる岐阜県ブランドの商品ラインナップの強化、さらには地域のデザイナーの育成を図る。

募集期間:平成27年4月24日(金)-6月5日(金)

採択企業数:15社

内容:デザインを活用した商品開発に意欲的な企業を採択、センターが適任のデザイナーをマッチングし、年度末までに試作までの完成を目標に、月1回程度の打合せを3者(企業、デザイナー、産経センタースタッフ)で行い、デザイン性・市場性の高い商品開発に取り組む。

② セミナー1

県内のモノづくり企業を対象に、新しいビジネスや新商品開発にデザインを活用することの重要性を広く啓蒙するセミナーの開催

タイトル:「新ビジネスに活かすデザイン戦略」 開催日:平成27年9月14日(火)

募集期間:平成27年7月13日(月)-8月28日(金)

参加者:200名

場所:みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなのホール (岐阜市)

講師:伊東豊雄((株)伊東豊雄建築設計事務所 代表取締役)

※産経センター内「新ビジネス展開応援事業」の予算で実施

③ ワークショップ

県内のモノづくり企業で、今後外部のデザイナーとの商品開発を希望している企業を対象に、

商品開発のプロセス、デザイナーとのコミュニケーション方法など、基礎的なプロセスを講義とワークショプを通じて学ぶ。

タイトル:「プロダクトデザインワークショップ-商品開発のプロセスを学ぶ-」

開催日:1回目…平成27年10月28日(水)

2回目…平成27年11月4日(水)

3回目…平成27年11月18日(水)

募集期間:平成27年8月13日(月)-9月30日(水)

参加者:16名(16企業)

場所:岐阜県ふれあい福寿会館 会議室

講師:後藤規文((有)後藤デザインオフィス 代表)

④ セミナー2 (3月開催予定)

県内のモノづくり企業を対象に、デザインを活用した商品開発の必要性を啓蒙するセミナーの開催。

場所(予定):岐阜県ふれあい福寿会館レセプションルーム

募集人数(予定):70名

講師(予定):プロダクトデザイナー1名、他1名

※産経センター内「新ビジネス展開応援事業」の予算で実施予定

⑤ アドバイザー派遣事業

東海エリアのデザイナーのネットワーク構築、データベース化に向けアドバイザー派遣事業への登録をデザイナーへ促す。 ※産経センター内「アドバイザー派遣事業」の予算で実施

次回実施予定及び評価

来年度も継続予定

機関名	産業労働部
部署名	産業科学技術課研究開発支援グループ
電話連絡先	052-954-6370(内線 3454、3457)

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興	昭和36年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 「産業デザイントライアルコア」による産業デザインを意識したモノづくり支援

内容:産業デザインに関する相談、三次元造形装置などの機器を用いた試作、情報提供など、総合的な支援

を行う窓口

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.aichi-inst.jp/acist/idt.html

2. 講演会

○産業デザイントライアルコア 3 Dプリンター活用シンポジウム

日時 : 平成27年10月26日(月)午後1時30分~午後5時

場所 : あいち産業科学技術総合センター 1階講習会室

テーマ: 新たなものづくりの現状と将来展望

主催:あいち産業科学技術総合センター、岐阜県情報技術研究所、三重県工業研究所、名古屋市工

業研究所、産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 3D ものづくり特別分科会、国立研究

開発法人産業技術総合研究所

参加人数 :155名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.aichi.jp/0000086445.html

- 3. あいち産業科学技術総合センターにおける研究開発
- (1) デジタルデータを活用した窯業製品の開発

日本有数の観光資源を有する中部北陸9県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、石川、富山、福井、滋賀)が官民一体となって外国人観光客誘致を推進するプロジェクト「昇龍道」に関連する各地の名品等の パッケージや置物などの窯業製品のデザイン及び試作を実施

(2) 伝統技法を用いた現代的な常滑焼製品のデザイン開発

常滑産地に古くから伝わる伝統技法に現代的な感覚を取り入れたアレンジを施し、購買層の拡大を図るとともに、幅広いアイテム展開を試みる

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.aichi-inst.jp/

次回実施予定及び評価

機関名	産業労働部
部署名	産業科学技術課研究開発支援グループ
電話連絡先	052-954-6370(内線 3454、3457)

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザイン試作ネットワーク構築事業	平成27年度	6,471 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 産業デザイン試作ネットワーク検討委員会

県内の産業デザイン関連の中小企業等に対して、試作ネットワークのニーズ、3 Dプリンターの所有等に係るアンケートを行い、産業界、学識経験者、行政機関の外部有識者等からなる検討委員会で、アンケート結果や産業デザイン試作ネットワーク会議の取組の状況を踏まえ、本県の産業デザインの競争力強化、集積化の具体的な方策等について意見交換を行う。

2. 産業デザイン試作ネットワーク会議の開催

中小の産業デザイン関連企業と先進的な造形システムを保有する企業等を対象として、産業デザイン試作ネットワーク会議を開催する。会議では、先行事例の「京都試作ネット」等に関する講演や、「知の拠点あいち」 に新たに設置する可搬式「3 Dスキャナー」の実演等を通じて、その有用性等について習得、意見交換を行い、企業同士の試作ネットワーク構築を促進する。

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
電話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	全体予算額
クリエイティブ産業創業支援事業	平成 23 年度	28,744 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

市内で創業を目指す若手クリエイターを支援するため、クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」 を設置し、販売・デザイン等の専門家によるアドバイスを提供、商品の試験販売や活動紹介を支援する。

設置場所:ナディアパーク デザインセンタービル4階

設置数:6区画(1区画約16㎡ 全体約300㎡)

※応募、選考の状況に応じ1区画の半分(約8㎡)をミニブースとして使用可とする場合あり

賃料:無料

※但し、販売管理・運営に係る諸経費の実費負担あり

出店期間:原則1期6ヶ月(再応募可、但し上限あり)

対象者:市内での創業を目指す若手クリエイター

・クリエイティブ産業(デザイン・ファッション・工芸など)の事業を行う者

・市内での創業を目指す個人、代表者をもつグループ、または、市内での事業展開もしくは本社等の事業拠点の設置を目指す創業または当該事業の実績が5年以内の法人(中小企業)・個人事業者

- ・出店時点で年齢が45歳未満であること(法人の場合は当該事業の代表者が45歳未満であること)。
- ・税の滞納がなく、事業内容が公序良俗に反しないこと。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.idcn.jp/loop



次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
電話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	全体予算額
デザイン活用支援事業	平成 9 年度	3,086 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

地域の中小企業における新商品開発や販売促進、企業ブランディング等の場面において、デザインの活用・導入の促進を支援し、当地域の中小企業等の競争力強化に資することを目的として実施。(平成 27 年度は (株) 国際デザインセンターに委託)

■内容

- ・商品開発(新製品のデザイン、既存商品の高付加価値化)
- ・販売促進(企業ウェブサイトやパッケージデザイン等)
- ・ユニバーサルデザイン、エコデザインを取り入れた商品開発 などを指導。
- ※試作品または模型の製作までを指導目標とする。

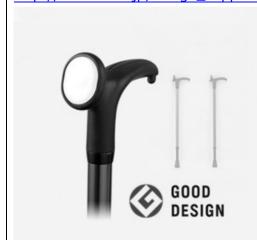
対象: 名古屋市内に事業所があり、引き続き1年以上の事業実績を有する中小企業

募集企業数:6社程度

費用:50,000円(税込) ※他に、試作品等の製作にかかる経費が必要。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.idcn.jp/design_support/advice





次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
電話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デジタルコンテンツ博覧会の開催	亚弗 26 东南	13,340 千円
ナンダルコノナノッド見云の用惟 	平成 26 年度	17,500 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デジタルコンテンツ産業の名古屋への集積と、ものづくり産業との融合による新たな価値の創出を図るため、当地域 におけるデジタルコンテンツ産業振興の取組みを広く国内外に発信する。

1 主催 デジタルコンテンツ博覧会NAGOYA実行委員会 (名古屋市、中日新聞社、中部ゲーム産学協議会)

2 事業内容

(1) 国際デジタルアニメーションフェスティバルNAGOYA2015 3DCGアニメーション作品を国内外から募集し、コンペティションを実施する。

応募数:86作品(世界21の国と地域から)

(2) デジタルコンテンツ博覧会NAGOYA

期間: 平成27年12月12日(土)、13日(日)

会場:ナディアパーク

内容:国際デジタルアニメーションフェスティバルNAGOYA2015最終ノミネート

作品上映会、審査発表・表彰式 有名クリエイターによる特別講演 文化芸術創造都市講演会

ゲームセミナー

親子向け3 D C G制作体験イベント

学生向けイベント 企業・団体展示会 デジタルキッズラボ

入場者数:5,640名



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.digihakunagoya.com

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
電話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ファッション産業の振興	昭和 56 年度	21,621 千円
ファッション性来の振興	哈仙 50 年度	21,621 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

当地域のファッション風土づくりを推進し、デザイナーなどの優秀な人材の発掘と関係業界の振興を図るため、ファッション情報の収集・提供、人材育成、ファッション風土づくりなどのファッション産業振興事業を実施している。

主催 ナゴヤファションプロモーション実行委員会 (ナゴヤファッション協会、名古屋市、公益財団法人名古屋産業振興公社)

- ■ファッション情報収集・提供事業
- ・ナゴヤファッション協会ホームページ「Fashion Wave Iの運営
- ・ファッションセミナーの開催
- ■人材育成事業
- ・「ナゴヤファッションコンテスト 2015」の開催

平成 27 年度で通算 35 回目となる、日本有数のファッションコンテスト。

ファッション産業を担う若い人たちの奨励の場とする。

デザイン画応募数数: 4,181 点(うち海外からの応募 274 点を含む)

- ・インターンシップの実施
- ■ファッションビジネス・風土づくり事業
- ・クリエーター交流会
- ・ファッションイベントの開催

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www. n-fashion.com



次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
電話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	全体予算額
ユネスコ創造都市ネットワークフォーラムの開催	平成 27 年度	7,800 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

ユネスコ・デザイン都市なごやとしての取り組みを広く発信するとともに、市民のデザインに対する理解を深め、その活用を推進するために国際フォーラムを開催。

1、国際フォーラムの開催

主催:ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

(名古屋市、㈱国際デザインセンター、名古屋商工会議所、中部デザイン団体協議会)

開催日: 平成27年5月30日(土)

場 所:国際デザインセンター3 階デザインホール

参加人数:160名

テーマ:「ユネスコ・デザイン都市としての名古屋」

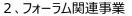
内容:

(1) 国内外のユネスコ・デザイン都市の取組み紹介

(2)「ユネスコ・デザイン都市なごや」ロゴマーク発表

トークセッション:

ロゴマークとユネスコ・デザイン都市なごや



(1) デザインワークショップ

主催:ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

開催日:平成27年5月29日(金)

会場:国際デザインセンター セミナールーム3

参加人数:41名

テーマ:「都市のビジュアル・コミュニケーションを考える」

(2) トリエンナーレスクール

主催: あいちトリエンナーレ実行委員会

共催:ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

開催日: 平成27年5月31日(日)

会場:愛知芸術文化センター12 階アートスペース A

参加人数:111名

テーマ:「デザインが国際展を変える!都市を変える!」 <事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.creative.nagoya.jp





「ユネスコ・デザイン都市なごや」 ロゴマーク

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
電話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ユネスコ・デザイン都市なごやの推進	平成21年度	5,852千円
ユベスコ・ナッイン部川など1907年度	干风21午反	7,122千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(趣旨) 平成 20 年 10 月に加盟したユネスコ (国際連合教育科学文化機関) のクリエイティブ・シティズ・ネットワーク を活用し、デザインを通じた国際交流を実施することでデザイン都市なごやの情報発信を行うとともに、人材育成・啓発などの事業を実施し、地域の活性化や市民・企業のデザインに対する意識の向上を図っている。

(主催) ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

(名古屋市、㈱国際デザインセンター、名古屋商工会議所、中部デザイン団体協議会)

1、交流・PR事業

ユネスコ・クリエイティブ・シティズ・ネットワーク加盟都市をはじめとする海外都市との交流

・ユネスコ・クリエイティブ・シティズ・ネットワーク年次総会金沢 2015

会期: 平成27年5月25日(月)~28日(木)

・デザイン都市サブネットワーク会議

会期: 平成27年5月29日(金)

場所:愛知県名古屋市

・深センデザインアワード2015への参加

将来性のある若手デザイナーを表彰するアワードへ地元のクリエイター3組を推薦

2、人材育成事業

当地域のさまざまなクリエイティブ活動と連携し、当地域のクリエイティブ産業の魅力発信を目的とした事業を実施することで人材の育成交流および地域活性化を図る。

・デザインワークショップ「デザイン都市なごやを考える1日|

第 1 回:平成 27 年 10 月 24 日(土) 参加者:36 名 第 2 回:平成 27 年 12 月 5 日(土) 参加者:22 名

・久屋大通デザインバナーコンテンスト(共催事業として実施)

久屋大通の「再生」をテーマに街路灯バナーのデザインを公募し、実際に久屋大通の街路灯に掲出することで、歩道空間の演出と地域のイメージアップを目指す事業

(主催: 久屋大通再生社会実験実行委員会)

応募総数:96作品

・ジャパン・シックス・シートアワード(事業協力)

屋外広告のレベルアップのために設けられたアワード。名古屋での開催にあたり、広報などの事業協力を実施。

(主催:ジャパン・シックスシート・アワード委員会)

3、デザイン啓発事業

デザイン団体の活発な活動やデザイン教育機関の多さなど、「デザイン都市なごや」のもつ資産を活かし、地元デザイン団体のデザイン力を活用した市民向けプログラムを実施する。

・親子デザインワークショップ「ステンシルプリントで風呂敷をつくろう」

日程: 平成27年11月29日(日)

参加者数:3歳~小学校4年生の子どもと保護者54組

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.creative-nagoya.jp

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市
部署名	市民経済局産業部次世代産業振興課
雷話連絡先	052-972-2417

事業名	開始年度	全体予算額
デザインインキュベータ助成事業	平成8年度	4,800 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(株) 国際デザインセンター内の企業育成室 (デザインラボ) に入居する創業 5 年以内の中小企業等に対し、テナント賃借料の一部を助成することにより、入居者の創業・事業発展を支援する。

■内容

・補助対象: テナント賃借料 (共益費を含む)

・補助額:補助対象経費の30%以内、限度額150万円

·補助期間:5年以内

·部屋数:11室(32.2㎡~85.12㎡)

・賃料(消費税別): 3,500円/月・㎡ または 2,800円/月・㎡

·共益費(消費税別): 1,300 円/月·㎡

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.idcn.jp/design_support/lab

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋市(国際デザインセンター)
部署名	事業部
電話連絡先	052-265-2105

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン振興事業	-	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

- 1 ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業への参画
- 2 クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」の企画運営
- 3 中小企業支援
- ◎名古屋市デザイン活用支援事業「商品開発デザインアドバイス」の企画運営
- ◎インキュベーション施設「デザインラボ」による企業支援
- ◎デザイン無料相談の実施
- ◎クリエイティブ産業等の情報提供
- ・デザイン事務所ポータルサイト:愛知・三重・岐阜の449件(http://www.idcn-db.jp)
- ・LINKS HUB: クリエイティブ企業・人材 105 件 (http://idcn.jp/linkshub/archives linkshub/)
- ・LINKS HUB PLUS: マッチングを希望する企業・事業連携モデル 53 件(http://idcn.jp/linkshub_plus/)
- ・リンク集: デザイン団体・機関・行政など、デザイン教育機関、クリエイティブコンテンツ 268 件 (http://www.idcn.jp/archives/taxo_links/associations) ※27 年開設
- 4 平成 26 年度緊急雇用創出事業「名古屋地域のクリエイティブ産業振興事業」の企画運営
- 5 コレクション・ギャラリーの展示・運営
- ・アメリカン・アール・デココレクションを中心に展示。教育機関の校外学習などにも対応
- 6 デザインギャラリーでの展示会開催・貸出
- 7 主催・共催・後援等による主な展示・セミナー
- ・第 28 回公募 2014 日本ジュエリーアート展、JAGDA やさしいハンカチ展 part3、 ワールド・デザイン・キャピタル台北-名古屋特別展、JAGDA 新人賞展 2014、 iF デザインアワード 2015 応募説明会・名古屋、2014 年度グッドデザイン賞応募説明会 など
- 8 その他
- ・デザイン企画・制作
- ・講師・委員等の派遣
 - ·情報発信事業 http://www.idcn.jp

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋商工会議所
部署名	企画振興部 企画・政策グループ
電話連絡先	052-223-5713

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
名古屋商工会議所冠講座	平成20年度	5 0 0 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概 要:県内の大学生を対象としたクリエイティブ人材養成講座

名古屋市立大学と連携し、第一線で活躍中の15組の講師(地元のデザイナー・建築家・企業人など主体)を招き、講師の活動状況や考え方などの講義を通じて、クリエイティブなものの見方・考え方の養成や、学生の起業・就業促進を図る講座。1日3コマ、5日間で計15コマの講義を実施。

受講対象:愛知県内の大学に所属するすべての大学生

開催時期:平成27年9月7日(月)~11日(金)

開催場所:名古屋市立大学 北千種キャンパス

受講費用:無料(講師の謝金・交通費、資料印刷費等の経費を名古屋商工会議所が名古屋市立大学へ全

額寄附)

受講実績:平成20年度 12校144名

平成21年度 16校177名

平成22年度 17校193名

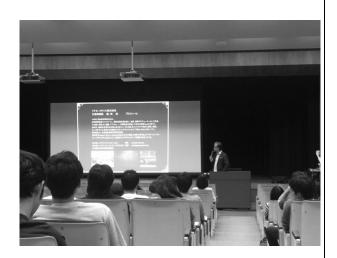
平成23年度 13校131名

平成24年度 10校135名

平成25年度 9校142名

平成26年度 14校169名

平成27年度 12校136名



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/kanmuri/index.php

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋商工会議所
部署名	企画振興部 企画・政策グループ
電話連絡先	052-223-5713

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
メッセナゴヤ2015デザインなんでも無料相談「それは、デザイナーに聞け!!	平成24年度	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概 要:国内最大級の異業種交流展示会の場を活用したデザイン無料相談事業

による無料相談。(24年度より4回目開催)

国内最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2015」会場内にて、地元13のデザイン団体からなる「中部デザイン団体協議会」(略称:CCDO)と連携して実施する、各ジャンルのデザイナー

利用対象: メッセナゴヤ来場者

開催時期:平成27年11月4日(水)~7日(土) 開催場所:「メッセナゴヤ2015」会場内CCDOブース

(名古屋市国際展示場 ポートメッセなごや1号展示館)

相談費用:無料

申込方法:現地にて受付

相談実績: 4日間で延べ43件



中部デザイン団体協議会(Council of Chubu Design Organizations)について:

愛知県内に事務局を置く13のデザイン団体で構成されるデザイン団体協議会。1988年設立。名古屋市中区栄ナディアパークにある(株)国際デザインセンター内に事務局を置き、同社と協力して中部圏のデザイン振興事業を展開している。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

平成27年度開催分 http://www.ccdo.info/archive/47/

次回実施予定及び評価

機関名	名古屋商工会議所
部署名	企画振興部 企画・政策グループ
電話連絡先	052-223-5713

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
 デザインシリーズセミナー それは、デザイナーに聞け!!	平成25年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概 要:ジャンル別デザインシリーズセミナーの開催

「中部デザイン団体協議会」(略称:CCDO)と連携し実施する、各ジャンルのデザイナーによるシリーズセミナー。また、各回のセミナー終了後には講師による無料相談会も開催。

利用対象:原則本所会員とする

開催場所: 名古屋商工会議所ビル内

受講費用:無料

申込方法: FAXにて申込

開催実績:平成26年度は、環境・省エネ、医療・健康・福祉事業の各分野で計4回開催。延べ受講者数5

4名。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.nagoya-cci.or.jp/event/eventdisp.php?event_id=1412010002

次回実施予定及び評価

平成27年度は平成28年2~3月に開催を計画。

機関名	名古屋商工会議所
部署名	企画振興部 企画・政策グループ
電話連絡先	052-223-5713

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン何でも無料相談	平成25年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概 要:常時申込み可能なデザイン相談事業

「新商品を作りたいが、デザインについてどこへ相談すればよいのか分からない」など、デザインに関する様々な相談に、「中部デザイン団体協議会」(略称: C C D O)と連携し、無料で対応する。

利用対象:原則本所会員とする

実施場所:原則として名古屋商工会議所ビル内

相談費用:初回費用は無料。具体的な成果物を求める場合や、デザインをつくり上げていく工程以降は有料(デ

ザイン事務所・デザイナー等との個別の契約)。

利用方法:①FAXにて相談の申込み

②CCDO傘下のデザイナーから、対応可能なデザイナーを選定

③相談の実施

相談実績:平成25年7月3日のサービス開始以降、平成27年11月末までに、19件の相談を実施。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.nagoya-cci.or.jp/keiei/sodan_design.html

次回実施予定及び評価

受付は常時実施中(平成28年度も継続して実施予定)

機関名	名古屋商工会議所
部署名	企画振興部 企画・政策グループ
電話連絡先	052-223-5713

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
名古屋学芸大学デザイン学科・名古屋商工会議所	平成26年度	
産学協同プロジェクト	十成20千度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概 要:学生のデザイン力を中小企業の商品開発等に活用するマッチング事業

産学連携の一環として名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科の学生のデザイン力を名古屋 商工会議所の会員企業、特に中小企業の取り扱う商品に活かし、販売戦略や商品開発に役立てる ことを目的としたマッチング事業。

利用対象:本所会員とする

実施場所:名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科

費 用:1案件につき、基本25万円

利用方法: ①電話にて申込み

②大学側と企業による面談

③②による契約成立の上、

制作実施

申込実績:平成26年下期よりサービス開始以降、平

成27年10月末までに、10件程度。



次回実施予定及び評価

受付は常時実施中(平成28年度も継続して実施予定)

機関名	三重県
部署名	雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課
電話連絡先	059-224-2227

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
芸術系大学連携事業	平成21年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

概要: 県内中小企業者等が商品・サービスの開発等に取り組むうえでのデザイン面での課題等について、当

該者からの申請により、芸術系の大学を紹介し、委託契約等の締結までをサポートする。(委託契約

等にかかる費用は申請者負担)

連携大学: 県と連携協定を締結している大学

•成安造形大学 (滋賀県)

·大阪芸術大学(大阪府)

·京都造形芸術大学(京都府)

申請時期:随時(受諾の可否は、大学との調整による。)

申請窓口:三重県 雇用経済部 中小企業・サービス産業振興課

次回実施予定及び評価

今後も継続して実施予定。

機関名	三重県
部署名	雇用経済部 地域資源活用課
電話連絡先	059-224-2336

事業名	開始年度	補助予算額
尹未仁	開如牛皮	全体予算額
		9,600 千円
デザイナー等との連携による新商品の開発支援事業	平成25年度	(ブランドプロデュース
		支援事業との合算)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業の目的

伝統産業や地場産業は、ライフスタイルの変化や海外からの安価な輸入品の増大等による需要の低迷や消費の縮小などの課題に直面しており、その課題解決を図るために、販路を見据えた商品開発、新たな需要拡大へのチャレンジ等の取組が求められています。

そこで、県内事業者とデザイナー等とのマッチング機会を創出するとともに、事業者と消費者の間に立って、商品コンセプト、消費者ニーズを上手く合致させ、より付加価値の高い、現代のライフスタイルにあった新商品の開発を支援し、大都市圏や海外に向けての販路開拓につなげることを目的としています。

2 事業内容

地域の伝統産業や地場産業に携わる県内事業者とデザイナー等とのマッチング機会を創出し、結成したマッチング チームごとに、新商品開発、販路開拓につなげるための支援を行います。

3 マッチングチーム数

平成27年度のマッチングチームは4グループ。 (*平成25年度は7グループ。平成26年度は5グループ。)

4 その他(上記事業の他、商品開発や商品のブラッシュアップなど行った件数)

平成25年度は7件。

平成26年度は13件。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

平成26年度の事業報告書

http://www.pref.mie.lg.jp/CHISHI/HP/designer_renkei/h26hokokusyo.pdf

次回実施予定及び評価

平成28年度は、デザイナーとの連携による新商品の開発支援事業とブランドプロデュース支援事業を1本化して実施する予定。

機関名	三重県
部署名	雇用経済部 地域資源活用課
電話連絡先	059-224-2336

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ブランドプロデュース支援事業	平成27年度	9,600 千円 (デザイナー連携事業と
		の合算)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業目的

伝統産業や地場産業の中小企業者が、大都市圏などへの販路開拓を目指し、デザインを戦略的に活用した付加価値の高い商品づくりを行うために、「ニーズの把握、商品改良、販路開拓のPR、流通戦略」までの一貫したブランドプロデュース(ブランディング)を支援することにより、中小企業者のデザイン戦略を活用した商品開発・販路開拓を推進し、地域経済の活性化等に寄与することを目的としています。

2 事業内容

伝統産業や地場産業(食品を除く工芸品等)の中小企業者等で、すでに三重県外において販売実績があり、大都市圏などへの販路開拓を目指し、付加価値の高い商品づくりを行い、主体的に販路開拓に取り組もうとする事業者を公募し、下記の支援を行います。

- (1) コーディネーターによるプロデュース支援
- (2) 専門家のアドバイス支援
- (3) 販路開拓サポート

3 採択件数

平成27年度に採択した事業者は2者。

4 平成27年度事業の実施期間

審査による採択の決定日から平成28年3月18日(金)まで

次回実施予定及び評価

平成28年度は、デザイナーとの連携による新商品の開発支援事業とブランドプロデュース支援事業を1本化して実施する予定。

機関名	三重県
部署名	雇用経済部 地域資源活用課
電話連絡先	059-224-2336

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
三重グッドデザイン(工芸品等)選定制度	平成26年度	2,254 千円
二里グパングイン(工云四寺) 歴史制度 	十成20十度	他の補助事業費を含む

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 選定の目的

伝統産業・地場産業や地域資源を活用した商品の中から、伝統的な技術または技法を用いて製造されたデザイン性やこだわりのある革新的な商品(商品価値、消費者視点、ライフスタイルの変化への対応、デザイン、販路開拓・意欲の取組を重視)を選定し、県が大都市圏などにおいて情報発信することで、優れた商品開発の気運を高め、地域経済の活性化を推進します。

2 平成27年度選定の対象となる商品

平成25年度以降に企画、着手、製造された商品、製造している商品のうち、(農林水産物、食品等を除く)次の条件をすべて満たすもの。(*美術品のような一品ものではなく、量産ができる商品とします。)

- (1) 伝統的な技術または技法を用いて製造された工芸品や地域に根ざした地場産業の商品。
- (2) デザイン性、機能性など現在のライフスタイルに合った魅力的な商品とするためにこだわりを持ち製作・製造した、革新的な商品。
 - *地域に根ざした産業の商品とは、鋳物業、木製品製造業、水産加工業、貴金属加工業、繊維製品製造業、ゴム製品履物製造業など県内の歴史、風土、経営資源等による地域性のある産業の商品です。

3 選定スケジュール

平成27年11月公募終了後、審査会を経て、12月に選定商品を公表します。

4 参考

平成26年度三重グッドデザインは、6つの商品を選定しました。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.mie.lg.jp/CHISHI/HP/gooddesign/bosyu.htm

次回実施予定及び評価

機関名	三重県工業研究所
部署名	窯業研究室
電話連絡先	室業研究室 059-331-2381、 窒業研究室伊賀分室 0595-44-1019

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
三重県が共催する産業デザイン振興関連の施策および事業	_	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■陶&くらしのデザイン展2015 (三重県共催事業)

全国の公設試験研究機関における様々な開発研究成果の中から、特に陶磁器を中心に、くらしにかかわる製品のデザイン及び製造技術に関する情報発信と技術交流を目的として開催される巡回展示会を共催。平成27年度は、瀬戸展(7月9~15日)、岐阜展(10月17~19日)を開催。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

https://unit.aist.go.jp/chubu/conso_1/2015/index.htm

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続して実施

機関名	三重県工業研究所
部署名	窯業研究室
電話連絡先	059-331-2381

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
三重県が後援、支援する産業デザイン振興関連の事業	(下記参照)	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■第29回 四日市 萬古陶磁器コンペ2015 (開始年度:昭和61年度)

概 要:萬古焼振興を目的とした陶磁器作品の全国公募展

主 催:萬古陶磁器振興協同組合連合会

後 援:三重県 四日市市 菰野町 四日市商工会議所 他

展 示: 平成27年5月7日~10日

テーマ:「どうぶつ」

■萬古焼技術者育成事業"やきものたまご創生塾" (開始年度:平成19年度)

概 要:萬古焼技術者育成を目的とした陶磁器研修事業

主 催:萬古陶磁器工業協同組合

後 援:三重県 四日市市、(財) 岡田文化財団

期 間:平成27年7月1日~平成28年3月11日

場 所:工業研究所窯業研究室

研修生:3名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://banko.or.jp/

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続して実施

中部 経済産業局

機関名	中部経済産業局
部署名	産業部 流通・サービス産業課
電話連絡先	052-951-0598

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
平成27年度産業支援機関及び中小企業等への「デザイン思考」普	平成 27 年度	2 000III
及啓発事業	十八 27 千反 	3,888千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

「デザイン思考」活用3回連続講座と活用セミナーの実施

-中小企業の開発力・販売力・サービスの創出、増強のための新たな手法の導入-「デザイン思考を知って経営革新・事業拡大への第一歩」

1. 事業の目的

平成25年3月に策定された「第3期中部知的財産戦略推進計画」に基づき、中小企業等におけるデザインを重視したビジネス展開を促していくため、平成23年度から流通プロデューサー、メーカー、デザイナーをマッチングし、平成26年度までの間に計20グループが新規の商品開発や既存商品のリ・デザインを実施し、商品化や意匠・商標権の取得など、具体的な成果につなげてきた。

(参考) 平成23年度~26年度「デザインを通じた意匠・商標制度の普及事業」成果報告書

http://www.chubu.meti.go.jp/c52design/index.html(当局ホームページ)

このように、中小企業の商品・サービス開発等においてイノベーションを起こすための有効な考え方である「デザイン思考」を普及するため、商工会議所、商工会、よろず支援拠点、金融機関等の産業支援機関及び中小企業等への「デザイン思考」普及啓発事業として、事例研究を交えた3回連続講座(デザイン思考活用講座)及び「デザイン思考」活用セミナー(計2回)を開催し、中小企業等支援における「デザイン思考」の幅広い活用につなげる。

2. 事業の内容

- (1)「デザイン思考」活用講座(3回連続) 於:株式会社国際デザインセンター・セミナールーム 現場で活躍する専門人材による、デザイン思考に係る手法・ノウハウについての講義、商品・サービス開発に係る 事例研究及びワークショップを実施。
 - ・第1回 平成27年11月19日 テーマ「経営とものづくり手法」
 - ・第2回 平成27年12月1日 テーマ「魅力・個性づくり手法」
 - ・第3回 平成27年12月10日 テーマ「販路拡大手法」

(2)「デザイン思考」活用セミナー

事業者向けの「デザイン思考」の気付きの機会として、問題解決・目標達成・新規開発に既にデザイン思考を活用している企業の実例を紹介するセミナーを開催。その際、「デザイン思考」活用講座の内容をテキストとしてとりまとめ活用。

·東海 平成 28 年 2 月 22 日 於:名古屋中小企業振興会館

・北陸 平成 28 年 2 月 26 日 於:金沢勤労者プラザ

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.chubu.meti.go.jp/c52design/160112/160112.html





次回実施予定及び評価

_



機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
部署名	デザイン振興部
雷話連絡先	0776-55-1756

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
 デザイン研修事業(デザイン基礎コース)	U 2 0 年度	480千円
ナリイノ1/7111/19世末(ナリイノ基(ビュース) 	H20年度	7 2 0 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業内容

デザインを基礎から学びたい方、企業人、若手デザイナーを対象に、デザインの基礎を分かりやすく理解できる場を 提供する。県内外のデザイン教育者を講師陣に招き、デザイン学校で教えている基本について指導する。

・実施回数:6回・受講定員:20名・受講料 ;12千円

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.fisc.jp/design_detail.php?eid=00001

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
部署名	デザイン振興部
雷話連絡先	0776-55-1756

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザインプロデュース事業	H 1 0 年度	2,777千円
注来 プログログェース事業		3,377千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業目的

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、個々の企業の要請に応じ、専門デザイナーを派遣し、具体的な実務を伴う指導を行う。また、組合、団体、企業グループを対象に、日本の第一線で活躍しているデザイナー等の指導による集中カウンセリングを行う。

2 事業内容

(1)専門家派遣(有料)

具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した専門家を派遣する。指導内容は、ブランディング等のプロデュースに重点を置くが、企業の課題に応じ、商品や販促ツール等のデザインについても指導を行う。

- ・利用上限回数 1企業あたり6回
- ·利用負担額 専門家謝金(40,000円)の1/2
- (2) グループカウンセリング (無料)

具体的なブランディング立案やそれに基づく商品開発の段階には至っていないが、これまでのプロダクトアウトに代わって、マーケットインの視点で商品開発に取り組もうとする企業に対し、グループ単位で、全国規模の市場動向に詳しい専門家による、既存商品の評価指導やブランディングの基本的な考え方の指導を行う。

- ・利用上限回数 1グループあたり2回(1回は東京など消費地、1回は地元)
- 3 事業主体 公益財団法人ふくい産業支援センター デザイン振興部

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.fisc.jp/archives/cat2/post_66.html

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
部署名	デザイン振興部
雷話連絡先	0776-55-1756

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
福井デザインアカデミー開催事業	H 1 1 年度	4,195千円
個升ナリインアカナミー 開催事業 		5,195千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業目的

短期・長期カリキュラムのブランディングや商品開発に関するデザイン人材研修、企業経営者向けのセミナーを通じてデザインマネジメントができる実践的な人材の育成を図る。

2 事業内容

(1) ブランディング&商品開発講座(全12回、定員20名、受講料:50千円)

ブランディング等の手法について、個々の受講者が持つ特性(企業の業種や課題等)に応じた実践的な演習を実施。

受講者は、商品開発等で具体的な課題を持つ者に限定する。また、より多くの県内企業のブランディング等の活動を応援するため、県内デザイナーの受講によるレベルアップを図る。

(2) デザインセッション (1回、定員100名、無料)

県内の産地や業界が直面しているテーマを定め、テーマに沿った県内外の企業ブランドや商品ブランド等の具体的な事例を展示、紹介し、ブランディングへの関心を高め、実際の取組みにつなげる。また、紹介を行う中で、併せて、企業経営者層のブランディングへの理解の重要性を訴える。

3 事業主体 公益財団法人ふくい産業支援センター デザイン振興部

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.fisc.jp/design.php

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
部署名	デザイン振興部
雷話連絡先	0776-55-1756

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
国体商品開発コンペティション事業	H27 年度	1,137千円 2,067千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業目的

県内企業から提案のあった新たな商品開発や既存製品の改良のうち、2018年に開催される福井国体を契機として販路拡大効果が見込まれるもの、将来にわたって販売増が見込まれる商品開発を総合的に支援し、県内産業の活性化を図る。

2 事業内容

(1) 商品企画トータルサポート事業

企業から提案のあった新商品開発の企画について商品化の可能性を選考し、インダストリアルデザイナーなどの専門家による企画のブラッシュアップ、マーケティング手法に対するアドバイス等を実施する。

- ・専門家の派遣 1企業あたり3回
- ·利用負担金 専門家謝礼(県外:100千円、県内:40千円)の1/2

(2)新商品開発助成事業

(1)のサポートを受けた企業が行う商品開発への助成制度

次回実施予定及び評価

機関名	滋賀県
部署名	商工観光労働部 商工政策課
電話連絡先	077-528-3715

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
滋賀のクリエイティブ産業振興事業	平成24年度	4,308 千円
		(平成 27 年度)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

クリエイティブ産業の振興と異業種との連携による滋賀の産業の活性化を図るため、産学金官のネットワーク化の 推進、交流会の開催、事業所の設置・販路開拓に対する助成等を行う。

∞ クリエイターのネットワーク化推進

しがクリエイター情報データベース(H26年3月運用開始)の活用やセミナー開催等により、クリエイティブ事業者のスキルアップとともに、情報を発信しクリエイター間の協働や他産業との連携を促進。

- ∞ クリエイティブ産業振興支援事業補助金(補助率1/2)
- (1)事業所開設支援: 県内のクリエイティブ事業所の新増設等を支援(限度額 500 千円)。
- (2)展示会出展支援:全国規模の展示会等への出展を支援(限度額 150 千円)。

∞ クリエイティブ産業交流会

滋賀クリエイターズ協会等と連携し、クリエイティブ事業者のネットワーク化や異業種との交流・連携の場としてクリエイティブ産業交流会を開催。

∞ クリエイティブプロデューサー人材育成

クリエイティブ産業の振興に求められるクリエイティブ部門の専門知識に加え、異業種の商品企画のノウハウを熟知したプロデューサーとなる人材を座学とワークショップを通じて育成。

∞ 滋賀クリエイターズ協会の自立化支援

滋賀のクリエイティブ事業者をはじめ産学金官のメンバーからなる「滋賀クリエイターズ協会」(H26 年 3 月発足)の活動について自立化を支援。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.shiga.lg.jp/f/shokokanko/index.html

次回実施予定及び評価

機関名	滋賀県
部署名	商工観光労働部 商工政策課
電話連絡先	077-528-3715

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
滋賀県クリエイティブ産業活用モデル創出事業	平成27年度	3,900 千円
	十成2/牛皮	(平成 27 年度)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

クリエイティブ産業が有する高付加価値化の要素を県内のものづくり企業と融合させることで、より訴求力のある製品のモデル創出を目指すとともに、雇用の創出を図る。

⊗ ビジネスマッチング会の開催

クリエイティブ事業者と製造業者等とのビジネスマッチングによる新たな事業展開の創出を促すため、マッチング会を開催。

∞ クリエイティブ産業活用モデル創出補助金(補助率1/2)

県内のクリエイターと製造業者等が連携して行う、滋賀の地域資源を活用したコンテンツ等の制作を支援(限度額 1,000 千円)。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.shiga.lg.jp/f/shokokanko/index.html

次回実施予定及び評価

機関名	滋賀県工業技術総合センター
部署名	機械電子担当
電話連絡先	077-558-1500

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術相談指導事業	平成23年度	3,560千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【目的】

本県経済の持続的発展のため、技術開発、製品開発および生産活動で発生する種々の技術問題のうち、特に 困難な課題を技術相談指導として支援し、企業の技術力・開発力を向上させる。

【デザイン分野の活動】

●滋賀小紋

滋賀県に関連する動植物や文化等をモチーフにしたデザインを「滋賀小紋」 として作成。平成25年度は県内の麻織物産地である湖東繊維工業協 同組合との共同研究により製品を開発。

平成27年度は県内の扇骨産地である滋賀県扇子工業協同組合との製品開発を実施した。



●庁内事業へデザイン支援

企業を直接支援する一方で、県庁内の関連部署で実施される支援事業に対して、啓発のためのマーク作成や広報効果の向上のためのラッピング電車デザイン等を実施し、間接的に支援した。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.shiga-irc.go.jp/activities/tech_consul/



http://www.pref.shiga.lg.jp/gyokaku/shigoto-kirari/shigoto-kirari.html

次回実施予定及び評価

滋賀小紋の扇子開発は、平成28年度は共同研究として実施の予定。

機関名	滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
部署名	陶磁器デザイン担当
電話連絡先	0748-82-1155

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
窯業技術研究開発事業	平成20年度	2,704千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【目的】

県内の陶磁器および窯業技術企業の技術支援、産業振興を目的に実施する。

【デザイン分野の活動】

信楽窯業技術試験場は長年にわたり多孔質陶器の研究を積み重ねてきており、その技術はセラミックフィルター、軽 量陶器などに応用されている。本事業においては多孔質陶器の吸水・蒸散・ガス吸着・断熱などの機能を生かし、 電気を使わない加湿器、野菜の劣化を防ぐエチレンガス吸着陶器、蓄熱式薪ストーブなどを開発している。





電気を使わない加湿器の試作例

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.shiga-irc.go.jp/scri/tou/

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続の予定

機関名	滋賀県東北部工業技術センター
部署名	繊維·高分子担当
電話連絡先	0749-62-1492

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
地域産業支援事業	平成20年度	2,730千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

地域産業の活性化を促進するため、地場産業の固有技術などの地域資源の活用やデザイン・感性の付加を行うとともに、センターの研究成果を活用することにより製品開発の支援を行う。

1. 繊維産業開発支援事業

長浜のちりめん産地が取り組む新商品開発を支援。オリジナル柄の提案や展示方法への支援を実施。



オリジナル柄ステテコの試作開発(左)とストールの展示(右)

2. デザイン力を活用した木製商品開発事業

木のぬくもりや優しさ等、木の良さを体感できる様々な木製商品の開発テーマを募集し、県内のデザイン系大学のデザインカを活用して商品化を支援することで、間伐材等の利用促進や美しい森林づくりへの貢献を図る。



LED 水耕栽培装置(左)と間伐材照明器具(右)の開発事例

次回実施予定及び評価

一部内容を変更しH28年度も実施予定

京都府

機関名	商工労働観光部 中小企業技術センター
部署名	応用技術課 デザイン担当
電話連絡先	075 -315 -8634

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザイン活用推進事業	平成13年度	800千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○デザインワーク展示事業(KYOTO DESIGN WORK SHOW)

中小企業等において商品企画やデザインを検討する場合、どのデザイナーにどのように相談すればいいのか、費用はどれくらいかかるのか等が分からず、デザイナーを活用できていないのが現状である。そこで、デザイナーと企業が出会える場を提供することによって、デザインマッチングを推進するために9社のデザイン事業所のデザインワークの展示発表を行った。

○個別デザイン課題解決のための研究・開発プロジェクトの実施と成果公開

商工業全般にわたる企業や業界、各種団体が抱えている様々なデザイン課題の中からデザイン開発のケーススタディとして適切なものをテーマとして取り上げ、産業デザイン法を活用した課題の具体的な解決に取り組み、産業デザインの導入・活用の事例としてまとめ、広く普及を図ることにより産業デザインの戦略的な活用を推進した。

○デジタル映像コンテンツ活用促進事業

映像のデジタル化、ハイビジョン化に伴い、映像制作業者をはじめ一般企業においても対応が求められており、当センターが蓄積している関連技術をベースに、最新デジル映像や制作技術に関連する技術調査とともに、展示会への出展等を実施し、府内中小企業のデジタル映像コンテンツ活用促進と関連技術者の育成を支援した。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/gijutsushien/kyoto-design-work-show/

http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/gijutsushien/des/

http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/gijutsushien/mov

次回実施予定及び評価

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
京都グッドデザイン戦略支援セミナー事業	平成23年度	3 0 0 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

公益財団法人日本デザイン振興会と共催で、製品デザインに関心のある府内事業者を対象とし たグッドデザイン 賞応募説明会、グッドデザイン賞審査報告会、グッドデザイン展見学会、京都デザインマネジメト勉強会を開催した。

○グッドデザイン賞応募説明会

府内企業のデザインカ向上及び高付加価値製品創出を目的として、グッド賞の概要と効用を解説する応募説明会を開催した。

○グッドデザイン賞審査報告会

本年度グッドデザイン賞の総評、審査について解説しデザインを経営視点でとらえ成功へ導いた事例ついて紹介した。

○グッドデザイン展見学会

本年度グッドデザイン賞の受賞作品を見学することで、次年度グッドデザイン賞応募への意欲を促した。

○京都デザインマネジメト勉強会

京都府内企業のデザインカ及び製品価値向上を目的として、グッドデザイン賞の効果をカウセリングするとともに、京都企業おける自社製品を事業レベルからデザインマネジメトの視点で助言する勉強会開催した。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/seminor/design/

次回実施予定及び評価

京都府

機関名	京都市役所
部署名	産業観光局商工部伝統産業課
電話連絡先	075-222-3337

事業名	開始年度	全体予算額
京≠の海州進山 古標車署	平成24年度	平成27年度
京もの海外進出支援事業		34,000 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 事業目的

伝統産業をはじめとするものづくり分野において、京都市内の海外市場開拓を目指す中小企業者に対し、海外ニーズを踏まえた新商品の企画・開発から、バイヤー向け展示商談会の開催や国際見本市への出展、商談のアフターフォローまで支援し、京都の文化と都市格を支える京都ブランドの海外市場開拓を強力に推進する。

2 事業内容

海外の市場ニーズにあった「商品」を海外デザイナーとともに開発する「Kyoto Contemporary」及び海外の建築 資材やインテリア市場に「素材」を提案する「Kyoto Connection」の2つのアプローチで事業を進める。

(1) Kyoto Contemporary

海外アドバイザーの指導のもと、パリ市のインキュベーション施設「アトリエ・ド・パリ」所属のデザイナーとともに、海外の現地ニーズに合った商品を開発し、上海、パリにおいて展示商談会、見本市への出展を行う。

(2) Kyoto Connection

京都の伝統技術やものづくり技術が用いられた素材を海外仕様に再開発し、主にハイエンドマーケットにクライアントを 持つ建築家、インテリアデザイナーなどをターゲットとして、パリの国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展する。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000180762.html

次回実施予定及び評価

平成28年,29年度も継続して実施予定

機関名	大阪府産業デザインセンター
部署名	商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課
電話連絡先	06-6210-9491

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額	
DIMO 大阪デザインイノベーション創出コンペティション	昭和25年度	25,000千円 (27年度予算)	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

事業内容

自社製品や技術等を活用して、新たな高付加価値製品やサービスを開発したい府内中小企業と、それらを活用した新製品・新サービス開発アイデアのある、ソリューションを提供できるデザイナー・クリエイターとをマッチングさせることで、中小企業の「デザインイノベーション」を促進する事業。

両者がコラボレーションして新事業展開をめざすとともに、その中から優れたプロジェクトに対し助成金を交付。

- 年間数件の採択案件に対し2年間助成。
 - (助成上限額 各年度500万円以内、助成率 助成対象経費の3分の2に相当する額以内)
- 広域支援機関(一般社団法人DCC)による高度専門サポート。
- クリエイティブ資源と府内中小企業をマッチング段階から支援するため、26 年度より、「大阪デザインイノベーション創出コンペティション」を実施。

大阪デザインイノベーション創出コンペティション実施結果

	2 6 年度		2 7年度	
	件数	期間	件数	期間
第1ステージ 中小企業の開発テーマ募集	27 テーマ	4/1~5/2	17 テーマ	2/2~2/27
第2ステージ クリエイティブ提案募集	47 提案	6/2~7/18	34 提案	4/6~6/12
第 3 ステージ マッチング	11 件	7月下旬~8月上旬	6件	6月下旬~7月中旬
第4ステージ 助成金申請	11 件	8月下旬~9月上旬	5件	8月下旬~9月上旬
助成金採択	3件	10/1	3 件	10/1

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://dimo.osaka.jp/

次回実施予定及び評価

平成 28 年度は、実施スキーム、助成期間、助成上限額を変更して実施予定

機関名	大阪府産業デザインセンター
部署名	商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課
電話連絡先	06-6210-9491

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
大阪府デザイン・オープン・カレッジ	昭和62年度	813千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【概要】

中小企業及びデザイン事務所等を対象に、デザイン分野の先端知識や技術、最新動向に関する ワークショップやフォーラムを開催し、中小企業には商品開発にデザインを活用できる人材を、 また、デザイン事務所等には社会のニーズに合わせた新たなデザイン活動に対応できる人材の 育成をめざした研修事業を実施。【平成27年度受講者 延べ191名】

- (1) デザイン高度化研修
 - ① 「極端で普通」な未来のデザイン

Extreme Ordinary

② Hondaのオープンイノベーション

組織横断プロジェクトにおけるデザイナーの役割

- (2) デザイン技法研修
 - ① 制約条件を逆手にとる!

共感力のある売れる商品デザイン

② プロから学ぶロゴデザインのノウハウ

ブランドコンセプトを映すロゴデザインの創り方

(3) 特別セミナー

フォーラム「デザインマネジメント 一気通貫のものづくり」

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.osaka.jp/mono/oidc/seminar23.html

次回実施予定及び評価

機関名	大阪府産業デザインセンター
部署名	商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課
電話連絡先	06-6210-9491

事業名開始		補助予算額 全体予算額
デザイン開発相談・指導事業	昭和62年度	1,205千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

〇 事業の趣旨

中小企業からのデザイン活用に関する総合的な相談・指導体制を整備し、中小企業の商品開発や 経営革新にデザインを活用する面から支援することで、経営の高度化を促進する。

〇 実施方法

・相談受付: 電話、来所、メール・ホームページ等

・相談形態 : 来訪(65件)、出張(183件)、メール・ホームページ(25件)、

電話・FAX(26件)、マイドームおおさか(79件) 【27年11月末現在】

・支援方法 : デザイン総合相談 (D-チャレンジ事業) を実施

・デザインセンターの専門職により、丁寧なヒアリングとアドバイスで相談に対応する。

- ・相談内容により、デザインプロセスやブランド開発について解説を行う。
- ・デザイン開発着手以前に事業課題がある場合には、専門職によるアドバイスを行い、適切な相談対応可能機関・人の紹介を行う。
- ・企業課題が整理された段階で、デザイン事務所の紹介を行う。

	2 4 年度	2 5年度	26年度	2 7年度
相談 実績 (一般相談·指導件数)	629件	592件	759件	3 7 9件

- 注) 27年度については、平成27年11月末現在の件数
- 平成25年度より、新たに出張デザイン相談会(月2回、マイドームおおさかで実施)や 出かけるデザイン相談会(商工会議所との連携)を実施。
- <事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.osaka.lg.jp/mono/oidc/dchallenge.html

次回実施予定及び評価

機関名	大阪府産業デザインセンター
部署名	商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課
電話連絡先	06-6210-9491

事業名	事業名	
デザイン研究指導事業	昭和62年度	1,205千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デザイン開発支援研究

府内産業界のデザイン課題の解決に資するためにデザインの基礎研究を行い、その手法を中小企業の経営基盤強化や商品開発の促進に役立てるとともに、得られた成果を Web サイトによる情報発信やセミナー(勉強会)等の開催により、広く産業界に移転する。

<開発支援研究事業>

① ビジネスマッチング・ブログの構築・運営に関する研究(H 18 年度~継続)

ものづくり企業やデザイナーの情報発信支援、また BtoB ビジネスマッチングを目的としたコミュニケーションサイト「ビジネスマッチ グブログ (BMB) 」のサイト構築・運営に関し、(地独)大阪府立産業技術総合研究所と共同で開発研究およびマッチング支援事業を行う。

- ○産技研セミナーBMB 第 32 回勉強会「TRI 試作工房・工業デザインモデル完成披露会~3D プリンタ TIPS 集~ (H27/7/9) 参加者 31 名
- ○産技研セミナーBMB 第 33 回勉強会「進化するマテリアル技術と感性価値の融合」予定(H28/1/22)定員 70 名
- ○BMB マッチング件数: 4件(H27/12/18 時点・合計 78件)

②「こども OS」の活用効果に関する研究(H20年度~継続)

キッズデザイン協議会とともに「こども OS 研究」(汎用的デザイン発想法の開発、およびその効果検証等)を進め、カード活用したデザイン発想演習を企業・大学等で実施、アイデア発想プロセスのデータ収集とワークショップ手法の最適化、成果の創出を図る。

- ■こども OS ワークショップ
 - ○世に出る伝統産業技術セミナー[京都市産業技術研究所](11/10・26)参加者60名
 - ○百科学 I·百科学Ⅲ [京都造形芸術大学](12/15)参加者 1366 名
- ■こども OS ラボ (こども OS 発想手法を使った実践的企業支援) 2 社

<交流事業>

- ① ユニバーサルデザインサロン (H27年度は2回開催予定)
 - ○第 35 回「「電動歩行アシストカート」の説明」(H26/3/25) 参加者 19 名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://bmb.oidc.jp/ http://pds.oidc.jp

次回実施予定及び評価

来年度以降も継続実施

機関名	大阪市
部署名	経済戦略局立地推進部事業創出担当
電話連絡先	06-6615-3727

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
大阪デザイン振興プラザ事業	平成8年度	202,958 千円
八Wアソ1ノ拡架ノノソ争未 		※本市負担分

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【目的】

創業間もないデザイナーのインキュベーション及びギャラリー等でのデザインの情報発信等を行い、新たな商品・ サービスを生み出すデザイナー・クリエイター人材の育成と企業のデザイン活用促進による競争力強化を図る。

【内容】

デザイナーの支援施設である「大阪デザイン振興プラザ」において、デザイナー向けオフィスを設置し、デザイナーの活動をサポートするとともに、デザインビジネスの情報発信及びデザイナー相互の交流促進を図るためギャラリーや多目的ルームを活用して展示会やセミナー・シンポジウム等を開催。

«施設の概要»

所在地:大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター(ATC)

ITM棟10階

設置主体:大阪市·ATC

開設年月日:平成8年10月1日 延床面積:2,742.27㎡

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osaka-design.co.jp/

次回実施予定及び評価

機関名	東大阪市
部署名	経済部モノづくり支援室
電話連絡先	06-4309-3177

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
東大阪デザインプロジェクト事業	平成22年度	2900 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、本市企業の高い技術力と融合させていくことで、付加価値の高いオリジナル製品を世界にいち早く送り出していくことを目的に実施。

世界的工業デザイナー喜多俊之氏に本市のデザインクリエイティブアドバイザーに就任いただき、

市内企業にデザインの重要性の啓発や指導を行っていただいている。

本プロジェクトを通じて、日本有数の産業集積地である東大阪のポテンシャルを発揮して数多くのデザイン製品をいち早く世界のマーケットに届けていくことを目指しています。

1. 喜多俊之氏によるデザインセミナー&アドバイス会

世界で認められる製品のデザインを数多く手がけたプロダクトデザイナー喜多俊之氏が、諸外国でのデザインに関する動向や製品開発におけるデザインに必要な視点、デザイン性を高めることによる効果などを解説。また、自社製品に対し直接アドバイスを受けていただけるアドバイス会も実施。



2. デザイン製品の開発と販路開拓プロモーション

リノベーション市場をメインターゲットに、住関連産業へ投入していく付加価値の高い新製品を開発し、市場への販路開拓を目指す。その分野に関心、意欲のある企業グループを形成し、喜多俊之デザインクリエイティブアドバイザーの監修のもと、新製品開発を進めるとともに、同氏がプロデュースするリノベッタ®プロジェクトのモデルルームなどで製品紹介していくなど、販路開拓を図っていく。 〈参考〉リノベッタ®プロジェクト http://www.renovetta.com/

3. 国際見本市「LIVING&DESIGN ~住まいと暮らしのリノベーション~」への出展

本プロジェクトで誕生した製品を中心に、デザイン性の高い市内企業の製品を集め、東大阪市ブースとして国際見本市「LIVING&DESIGN」展へ出展。新製品の発表の場に活用するとともに、デザインいう資源を活かし、付加価値の高い製品づくりに取り組む本プロジェクトを、デザインや建築関係、小売、専門店の方々に向け、広くアピールする。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> 東大阪デザインプロジェクト

http://www.techplaza.city.higashiosaka.osaka.jp/design_project/index.html

次回実施予定及び評価

平成28年度 継続実施予定

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0.6 - 6.6.1.5 - 5.5.7.1 odc@osakadc.ip

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
コロナプロジェクトの実施	平成27年度	5,550 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨) メイド イン・JAPANの商品は、機能性や感性価値が高く、海外でも高く評価されていますが、現実に、良い商品だと思っても海外で売れないことが多く、海外展開が不安だという企業が多いと思います。 海外マーケットの実情に詳しく、どのようなブランド戦略、モノづくり、どのような販路に乗せればよいのかを、アドバイスしてもらえる、質の高いクリエイティブ・ディレクターの存在が不可欠です。



今回、大阪デザインセンターは、近畿経済産業局と協力して、パリで長年活躍してきたハイレベルのアドバイザージャン・リュック・コロナ氏のご指導を得て、MERCIなどのセレクトショップに納入できるレベルのブランド戦略プロジェクトを実践します。

テーマ フランスのセレクトショップに合うブランド戦略、商品づくりノウハウ実践

日 時 2015年9月~2016年4月

参加費 30 万円(1人) ※ODC 賛助会員 20 万円(1人)

受講対象 中小企業経営者、商品企画開発責任者、プロデューサー、デザイナー等、一定の意思決定権限を有している方

参加者 8社 11名

2015年

9月8日(火) ①自費で渡仏。 デザイン商品の世界的展示会「メゾン・エ・オブジェ」を各社視察

9月9日(水) ②コロナ氏から個別商材クリニック

開催場所 JETROパリ事務所の会議室

内 容 コロナ氏からフランスマーケットのレクチャーと、各社の商材に対する 市場可能性、販路 想定についてコメント

9月10日(木) ③セレクトショップ巡回、販路教示

パリ市内の8ヶ所の代表的なセレクトショップをバスで巡回・視察し、

各社の販路として、具体的に指導した。

《①~③結果概要》 http://www.osakadc.jp/event/2015/1110172929.html

2016年4月に日本において、コロナ氏から第2回目のクリニックを受ける予定。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/event/2015/0601153838.html

次回実施予定及び評価

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0.6 - 6.6.1.5 - 5.5.7.1 odc@osakadc.ip

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインプロデューサー育成講座	27 年度	808 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨) デザイナーは、意匠など商品の見た目を整えるだけでなく、問題点の抽出力、解決策の発想力、具現化力、全体を通じての問題解決力など、プロジェクト全体を大きな視野でとらえることのできるプロデュース力が必須となります。 また、このような思考法は企業経営者などが企業経営に活かすことのできる非常に有効な手法です。 プロジェクト全体を俯瞰できるデザイナーや、デザイナーの思考法を理解してディレクションできる経営者などのようなデザインプロデューサーを育成するため、様々なジャンルに於いて第



一線で活躍するデザイナーや経営者などの方を講師に招き、事例を交えながら、デザイン的思考で問題を解決する方法論を教授してもらう講座です。

日 時 2015年7月14日(火)~8月25日(火)18:30~20:30全7回

会場 大阪デザインセンターSEMBA

受講料 6万円 (ODC 賛助会員4万円)

受講対象 デザイナー、企画担当者、企業経営者など

受講生 24名

講演者 辻野福三郎氏 株式会社 TTN コーポレーション

山納 洋氏 大阪ガス株式会社

羽場 一郎氏 イデア株式会社

天野 譲滋氏 株式会社ジョージ・クリエイティブ・カンパニー

石崎 弘文氏 ダイハツ工業株式会社

坂下 清氏 (一財)大阪デザインセンター

吉田 順一氏 大阪府立大学大学院

太刀川 英輔氏 NOSIGNER 株式会社

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/event/2015/0707110000.html

次回実施予定及び評価

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0 6 - 6 6 1 5 - 5 5 7 1 odc@osakadc.jp

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインシンキング修得講座	平成 27 年度	1,018 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨)

新しい発想、イノベーションをどのように起こすのか。人間中心で考えるデザイン思考は極めて有効なアプローチ法です。

デザインを通じて社会に新たな価値を創造することを目的に、今回の講座では、東大 Ischool、慶応義塾大学 SDM のアカデミックな知見を広めるとともに、現役デザイナーが実践しているデザイン思考のメソッド、どのようなソリューションの手順を経て、課題の抽出から解決策を導いているかを体系的に学びます。



企業内で変化を求めている方、社会との新たな関わり方を模索している方、是非ご参加ください。企画開発の発 想ツールが飛躍的に向上します。

日 時 2015/8/21(金)~2015/9/24(木)全6回

会場 大阪デザインセンターSEMBA

受講料 6万円 (ODC 付助会員4万円)

受講対象 デザイナー、企画担当者、企業経営者など

受講生 16名

講演者 勝尾岳彦氏 日経BP社 編集委員

小池 禎氏 オムロン ヘルスケア株式会社

塚本カナエ氏 Kanae Design Lab

飯田吉秋氏 (有) アイ・シー・アイデザイン研究所

宮澤正憲氏 (株) 博報堂 ブランドデザイン

前野隆司氏 慶應大学システムデザイン・マネジメント研究科教授

田村 大氏 シンク&ドゥ・タンク リ・パブリック代表

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/event/2015/0624164040.html

次回実施予定及び評価

28 年度も一部内容を変更して、継続実施予定

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0.6 - 6.6.1.5 - 5.5.7.1 odc@osakadc.ip

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイナー・開発者のための販路・市場講座	平成27年度	730 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨)

成熟社会となった現代においては、消費者の潜在的なニーズを引き出すことが求められます。消費者の共感レベルの質が高まっていますので、消費者の隠れた感性に働きかけることによって、商品価値は大きく向上します。しかし、デザイナーや企画開発の方は、消費者から距離があり、ニーズを把握できないままに商品づくりが進んでしまうことも多いのではないでしょうか。それが良いモノであっても売れない原因です。

消費者ニーズ、販売者の意図を正確に捉えて、より効果的なデザインに結び付けるため、典型的な購買層をどこに定めるのか(ペルソナ)、ブランド戦略、グラフィック等による店舗のイメージ発信、具体的な商品構成、陳列方法等の実例を通して、店舗規模、販売手法ごとにアピールの仕方を学びます。

これも「デザイン」です。

日 時 2016年1月6日(水)~2月17日(水)18:30~20:30全7回

会場 大阪デザインセンターSEMBA

受講料 6万円 (ODC賛助会員4万円)

受講対象 デザイナー、企画担当者、企業経営者など

定 員 24名

講演者 吉田 三千代氏 (株) サンケイリビング新聞社

石本 和治氏 1031 ビジネスコンサルティング

間宮 吉彦氏 (株) インフィクス

我妻 義一氏 (株)スマイルズ

柿尾 正之氏 (公社) 日本通信販売協会(JADMA)

玉井 恵里子氏 (株) タピエ

上野 祐子氏 (株)上野流通戦略研究所



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/event/2015/1207100000.html

次回実施予定及び評価

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0 6 - 6 6 1 5 - 5 5 7 1 odc@osakadc.jp

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインビジネスプロモーションセンターの運営	昭和35年度	9,970 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨)

デザイン導入による中小企業の活性化を促進するため、デザイン相談窓口の設置、デザイン事務所の紹介、専門アドバイザーの派遣・カウンセリングなど、企業とデザイン業界とのビジネスマッチングに引き続き取り組むとともに、マッチングにおける成果事例についても積極的にホームページを活用して情報発信する。

また、大阪産業創造館や外部機関と積極的に連携を図り、デザイナーとの個別マッチングやイベント出展、情報提供など、より多くの中小企業のニーズに対応できるよう取り組む。

① デザイン一般相談・利用

h 26 一般相談・利用件数 4,068 件 (前年度は 4,041) (内訳) デザイン一般、デザイナー紹介、プロデューサー派遣、データベース、その他

② デザイナー・デザイン事務所の紹介

h 26 依頼件数 142 社 (前年度は 124) h 26 紹介件数 136 社 (前年度は 129) (内訳) プロダクトデザイン分野 51、スペースデザイン分野 7、コミュニケーションデザイン分野 103

- ③ DPC 専任コーディネーターならびに専門プロデューサーによる個別面談カウンセリング 118 件 (内訳) DPC 専任コーディネーター(ODC 職員)対応 83 件/専門プロデューサー対応 35 件
- ④ 外部展示会等への出展

「容器展」大阪産業創造館、「LIVING & DESIGN」グランキューブ大阪、「大阪勧業展」マイドームおおさか 等



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/designer/index.html

次回実施予定及び評価

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0.6 - 6.6.1.5 - 5.5.7.1 odc@osakadc.ip

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
 モノづくり×学生デザイナー 産学連携デザイン実践プロジェクト 2015	平成25年度	480 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨)

魅力あるモノづくりには、デザインは欠かせません。 しかし、中小企業の多くは、優れた技術を持ちながらデザインをうまく取り入れられないのが現状で、デザインを学ぶ学生は、デザイン開発を体験しないまま社会へ出るのが現状です。 「産学連携デザイン実践プロジェクト 2015」では、中小企業の技術を活かして、実践的なデザイナーの育成と新しいものづくりを目指します。

中小企業から、デザイン開発したい商品を募集し、学生デザイナー が商品を取り巻く環境などを分析し、コンセプトを決め、数回のプレゼンテーションを経て最終プレゼンテーションを行い

ます。

学生資格 ・関西に在学または在住の学生

・デザイン関係の学校に在学中で、2年生以上の方

・社会実践を経験して、自分のスキルをアップさせたい方

学牛参加費用 無料

企業参加費用 35,000円

参加学生 41名

マッチング会 (学生・企業・コーディネーターの面談、交流会) 10月10日(土)

プレゼン 1 (コンセプトとアイディアを発表) 11月3日(火・祝)

プレゼン 2 (デザイン案の発表) 11月23日(月・祝)

最終プレゼン (最終デザイン案発表、交流会) 12月12日(土)

会 場 大阪工業大学うめきたナレッジセンター

参加企業 セキセイ(株)、ハローテクノ(株)、(株)ASAKURA、(株)大共、(株)フジ医療

器、(株)下西製作所、特定非営利活動法人たんぽぽの斤、(株)箭木木丁所

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.oit-dmlab.com/

次回実施予定及び評価

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0.6 - 6.6.1.5 - 5.5.7.1 odc@osakadc.ip

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
学生のためのデザイン・インターンシップ事業	平成14年度	全体 3,163 千円
		うち補助金 1,581

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨)

デザイン人材育成のため、将来デザイナーを志望する学生に就業体験を 通して、デザイナーとしての知識や技術の習得はもちろん、社会人としての 職業観の醸成により、より優秀な、意欲のあるデザイン人材を確保すること を目的としています。

企業等の実情や仕事の現場に触れることにより、社会や職業について理解を深め、問題意識が芽生えたり、将来やりたいことの目標設定などにより、進路のミスマッチを防ぐ効果が期待できます。



実施対象 デザイン系の学科を専修している学生(専門学校、短大、大学、大学院)

実施期間 夏休み中 7月13日(月)~9月30日(水)のうち14日間

実施場所 大阪市内・近郊のデザイン事務所 または 大阪デザイン振興プラザ(南港 ATC ビル内)のデザイン事務所

実施人数 20名 (定員20名、応募者66名)

費 用 無料 (交通費など実習にかかる費用については本人負担)

補助金
この事業は、公益財団法人JKA(競輪)の補助金を得て実施しています。

受入デザイン事務所 20 箇所

adoria company、インフォメーションメディアデザイン株式会社、オフィス アイ、 有限会社カムカム、CURRENT、 ケイフォルム、 ゲンクリエイティブ、 株式会社コンプレックス、SOUTH PORT ARTS、 有限会社白井デザイン研究所、 スナダ・デザイン、 株式会社こふれ、株式会社タチバナデザイン、 株式会社ダンブレイン、 有限会社デザインオフィス エム、 デジタル彩、 株式会社ピクデザイン事務所、 ビスマイメージ、 デザインオフィス リバティ、株式会社ロコールジャパン

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/outline/recruit.html

次回	宝旅	斩子	定区	37 N	≔亚/	픎
八巴	ᄾ	巴 」 1	ᄯ	ΧU		ш

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0 6 - 6 6 1 5 - 5 5 7 1 odc@osakadc.jp

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン・シンポジウムの開催	平成23年度	全体 908 千円
デリイン・シンボングムの用催		うち補助金 454

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業趣旨)

デザインは、姿・形だけでなく、社会的な課題解決にも役立っています。人々のライフスタイルの中でも「食」に関わる分野は、資源もニーズも豊富であり、ミラノ万博や TPP に鑑みても、日本にとっては、今後の重要なビジネス分野です。

日本各地には、ふるさと名物として自然の素材を活かした、おいしく健康的な食品がたくさんありますが、中小の食品メーカーにとっては、市場ニーズに合った商品づくりや販路確保が大きな課題となっています。

テ - マ 食のライフスタイル・デザイン

主 催 一般財団法人 大阪デザインセンター

共 催 大阪市立中央図書館

開催日時 平成28年1月28日(木) 14時00分 ~ 17時00分

場 所 大阪市立中央図書館

定 員 280名

参加費 無料

補助金 この事業は、公益財団法人」KA(競輪)の補助金を得て実施しています。

第 1 部 講演 1 「地域の食文化を市場開発する手法」株式会社シーズコア 渡部 紘士 氏 講演 2 「フランスの食文化とコアの価値観」 ALFELIS SARL 佐藤 大輔 氏

第 2 部 パネルディスカッション

パネラー シーズコア 渡部 紘士 氏

ALFELIS SARL 佐藤 大輔 氏

りそな総合研究所 藤原 明 氏

コーディネーター 阪急百貨店 薬師寺 雅文 氏

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/event/2015/1203152121.html

次回実施予定及び評価

28 年度も一部内容を変更して、継続実施予定

機関名	一般財団法人 大阪デザインセンター
部署名	業務部
電話連絡先	0.6 - 6.6.1.5 - 5.5.7.1 odc@osakadc.ip

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
柏原シンポジウム	平成27年度	400 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

(事業内容) 国や都道府県などが、地域資源を活用した 6 次産業化を推進しています。柏原市域でも、いろいろな取り組みが進められていますが、町の産業と資源を活かした、経済価値を生み出す仕組みづくり、外部へのアピールがさらに望まれます。そこにデザインの視点を加味すると、魅力アップにつなげることができます。

柏原市は歴史の古い町で、旧来の伝統が息づくと共に、交通の利便性から新規住民も多数増えてきたという特徴があります。新たな住民が町の歴史を共有して、ともに住み続けていく取り組みも必要です。

柏原シンポジウム 第 1 部では、ヨーロッパの町の暮らし方の紹介と柏原市の将来についての助言を伺い、あわせて、これまでの柏原市域での取り組みを振り返ります。第 2 部では、様々な角度から地域再興の方法を述べあい、柏原市における可能性を追求していただきます。

テーマ 6次産業化×デザイン を活かした町おこし 「柏原の可能性」

日 時 2015年9月26日(土) 14:30~17:00

会場 柏原市民文化会館 リビエールホール

参加費 無料

参加者 60 名

内容 第1部 講演

(1) 「地産"訪消"」をデザインする~トスカーナにあって、柏原にはないもの?~

吉田順一氏 大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 教授 観光産業戦略研究所

(2) 柏原での取り組み紹介

桝谷政則氏 おいな~れ柏原ネットワーク 代表

第2部 パネルディスカッション

【パネリスト】 吉田順一氏、 中野隆司氏 柏原市長、 天野 映氏 有限会社アマノ (天野ぶどう園) 代表取締役社長、 髙井利洋氏 カタシモワインフード株式会社 代表取締役、

桝谷政則氏、 越田英喜 一般財団法人大阪デザインセンター 理事長

【コーディネーター】 山納 洋氏 大阪ガス株式会社 近畿圏部 ソーシャルデザインチーム 都市魅力研究室 長

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.osakadc.jp/event/2015/0828175959.html

次回実施予定及び評価

未定



機関名	兵庫県
部署名	産業労働部産業振興局新産業課
電話連絡先	078-362-3054

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ	平成23年度	5,295千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 事業目的

情報・サービス関連産業の一層の振興を図るため、従来にない発想やアイデアで、先導的、モデル的な情報・サービス 関連事業を展開する中小企業等を顕彰し、県民をはじめ全国に広く周知することで、情報・サービス関連産業のマーケット拡大を図る。

2. 実施方法

企業からのエントリーにもとづき、審査委員会で兵庫県知事賞、兵庫県産業労働部長賞を決定する。 また、公開プレゼンテーションにより、兵庫県知事賞受賞企業の中からグランプリ企業を決定する。あわせて、先進的な事業を展開するクリエーター等による講演会を実施する。

3. 募集する事業

・新しいサービス分野での展開

ニッチな分野への進出、専門知識を活かした起業 など

新しいマーケットの開拓

新しい顧客の掘り起こし など

・ユニークなブランド・イメージ戦略の展開

新しい事業の展開 など

・ICTの活用による事業展開

ネットビジネス展開、業務プロセス転換 など

4. 補助金

兵庫県知事賞受賞企業に対し、展示会等出展事業、PR動画制作・発信事業、専門家等活用事業に要する経費の一部を補助

補助率: 1/2

補助金額:1,000千円以内

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://web.pref.hyogo.lg.jp/sr10/hcbgp/

次回実施予定及び評価

機関名	神戸市
部署名	企画調整局 デザイン都市推進部
雷話連絡先	078-322-6573

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
「デザイン都市・神戸」の推進①	平成 19 年度	52,440 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■「デザイン都市・神戸」創造会議の開催

まち、くらし、ものづくりの 3 つの分野を基本的方針とする「デザイン都市・神戸」を推進するため、市の各局が実施している施策や事業、今後の方針等に対して、デザインの視点で横断的、かつ具体的に提言、提案を行う有識者会議を設置している。(年 3 回程度開催)

■中小企業 PR ポスターコンペ

市内中小企業の広報強化とデザインカ向上を図るとともに、若手デザイナーの発掘につなげるため、企業の P R ポスターのデザインコンペを行い、柱巻き広告として掲出する。

- ·平成 27 年度参加企業 3 社(掲出期間: 平成 27 年 10 月 16 日~平成 28 年 1 月 7 日)
- ■クリエイティブディレクターの活用

行政のデザインの基礎力を上げ、デザインの力で様々な行政課題を解決するため専門家を委嘱。

■社会課題解決プロジェクト「issue+design」への参画 多様化する社会課題(ISSUE)をデザインの力で解決するプロジェクト。

■こども SOZO プロジェクト

こどもを対象にソウゾウ(創造と想像)力を育む場を提供するため、廃材を利用してさまざまなモノを生み出す「クリエイティブリユース」ワークショップを開催する。

■ユネスコ創造都市ネットワーク連携・交流事業の推進

ユネスコ創造都市ネットワークにおけるデザイン分野の他の認定都市とのネットワークを充実させ、「デザイン都市・神戸」の取組みを国内外へ発信する。

・ユネスコ・デザイン都市フォーラム 2015 in KOBE (平成 27 年 5 月 30 日開催)

次回実施予定及び評価

平成 28 年度以降も継続して実施予定

機関名	神戸市
部署名	企画調整局 デザイン都市推進部
電話連絡先	078-322-6573

事業名		開始年度	補助予算額 全体予算額
「デザイン都市・神戸」の推進② <デザイン・クリエイティブセンター神戸(KII	TO)の運営と活用>	平成 22 年度	118,102 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■概要

「デザイン都市・神戸」のシンボルであり、創造と交流の拠点として、みなとまち神戸の歴史的資源である旧神戸生 糸検査所を改修し、平成 24 年 8 月に「デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)」を開設した。約 1,000 ㎡のホール、ギャラリー、ライブラリ、カフェなどのほか、全 34 室のオフィス入居スペースがあり、ゼミ、セミナー、ワークショップなどさまざまな事業を展開するとともに、人材の交流を行っている。

■指定管理者

iop 都市文化創造研究所・ピースリーマネジメント・神戸商工貿易センター共同事業体

■おもな実施事業

・「KOBE デザインの日」記念イベント

平成 27 年度: LIFE IS CREATIVE 展、平成 26 年度: ちびっこうべ

- ・+ クリエイティブゼミ (年 6~7 講座開催)
- ・神戸「食」プロジェクト(年5講座開催) 他

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kiito.jp/





次回実施予定及び評価

平成 28 年度以降も継続して実施予定

機関名	神戸市
部署名	産業振興局経済部工業課
電話連絡先	078-322-6698

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
「デザイン都市・神戸」の推進③ <ものづくりのデザイン関連事業>	平成 19 年度	(産業振興局工業課予算) 7.050 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■デザインのチカラ展(平成25年度~)

西日本最大級の総合展示会「国際フロンティア産業メッセ」において、「デザイン都市・神戸」として出展し、ものづくりへのデザイン活用を広く啓発する。(年1回・2日間)

・すぐれたデザイン製品の展示紹介/デザイン相談/デザイン活用セミナー(両日開催・計2回)

(平成27年度) 平成27年9月3日~4日・協力:公益財団法人日本デザイン振興会

https://www.facebook.com/designnochikaraten

- ■ものデザインコラボ LAB (平成 27 年度~)
- ・商品開発プログラム(平成27年度~)

新商品の開発や既存製品のリニューアルを目指す中小製造業を対象に、デザイン(=課題解決)の視点と商品開発の具体的なプロセスを学ぶ講座を開催し、具体的な製品づくりにつなげる。

(平成27年度) 平成27年10月~平成28年3月(月1回・全6回)

講師:有限会社セメントプロデュースデザイン 代表 金谷 勉 氏

https://www.facebook.com/collabolab.kobe/

■工業デザイン塾(平成 17 年度~)

神戸芸術工科大学の協力により、中葉製造業の製品設計・企画等の担当者を対象に、具体的なテーマに沿って、工業デザインの初歩的な制作プロセスの知識を得る機会を提供する。

(平成27年度) 平成27年11月26日~27日 (連続講座・2日間)

■工業デザイン相談(平成17年度~)

神戸芸術工科大学の協力により、工業デザインに関する相談に助言・提案を行う事業を支援する。

実施者:公益財団法人新産業創造研究機構(NIRO)

■デザイン経営者フォーラム(平成 19 年度~)

デザイン思考を取り入れた経営マネジメントの実践者を招き、デザインの視点を活用した企業経営のヒントとアイデアを得る機会を提供する。

(平成27年度)平成28年3月実施予定

次回実施予定及び評価

平成 28 年度以降も継続して実施予定

機関名	奈良県
部署名	産業·雇用振興部 地域産業課
電話連絡先	0742-27-8804

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
小規模零細地場産業振興補助事業(デザイン	開発事業) 昭和61年度	(8,370 千円)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

〈事業概要〉

デザイナーによる商品デザイン企画・開発指導を通じ、高付加価値商品づくりをサポートし、毛皮革・履物・スポーツ用品・桐材の4業界の活性化を図る。

〈補助先〉

奈良県毛皮革協同組合連合会、奈良県履物協同組合連合会、奈良県スポーツ用品協同組合連合会、奈良県桐材組合

〈講師〉

(協)ジャパンデザインプロデューサーズユニオン会員デザイナー等

※上記補助予算額は、毛皮革・履物・スポーツ用品・桐材業界への補助の総額であり、販路開拓(展示即売会の開催)等、他の事業への補助も含む。

デザイン開発事業実施フロー

デザイン・企画指導

企業とデザイナーで 打合せを行い、 デザインの方向性を 決定します。

試作品·新商品完成



試作品の確認。商品化に向けて最終の調整を行います。

展示会等で披露



完成した新商品は、展示会やギフトショー等で披露されます。



〈デザイン例〉

- ●下駄のデザイン
- ●記念グローブのデザイン
- ●毛皮をつかったインテリア など



次回実施予定及び評価

機関名	奈良県
部署名	産業·雇用振興部 地域産業課
雷話連絡先	0742-27-8804

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
毛皮革産地と大学等のコラボ事業	平成24年度	

事業概要 (事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

〈事業概要〉

毛皮革産地である宇陀市菟田野がもつ技術・知識・素材と、上田安子服飾専門学校の学生の斬新な感性によるデザインを組合せ、ファッション性の高い新たな商品を開発し、奈良県毛皮革産地の活性化を目指す。

●事業の詳細は奈良県 HP に掲載〈http://www.pref.nara.jp/29239.htm〉

〈事業主体〉

奈良県毛皮革協同組合連合会、上田安子服飾専門学校、奈良県

コラボ事業〈平成27年度〉実施フロー

① 毛皮革に関する講義

奈良県毛皮革協同組合連合会が毛皮革の歴史、性質や縫製技術などについて、学生に講義を行いました。



②産地見学

学生が菟田野の毛皮革工 場団地を見学しました。



③産地による技術指導

毛皮革産地による技術 指導を実施しました。



4作品制作

産地による技術指導をもとに、 学生がゴシック&ロリータファッションの作品を制作しました。



5作品披露

気田野で開催された
「毛皮革フェア IN UTANO」にて作品が初披露されました。



6作品の披露~ニーズの把握~

あべのハルカス近鉄本店などで 作品を披露し、アンケートにより 消費者ニーズを把握します。

⑦作品を改良して商品化

次回実施予定及び評価

機関名	奈良県産業振興総合センター
部署名	創業・経営支援部 商業・サービス産業課
雷話連絡先	0742-31-9084

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
奈良ブランド開発支援事業	平成21年度	3,981 千円
示 以ノノバ州光 乂仮争未 	一十成21年度 	(H27年度)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○事業内容

奈良ブランド開発支援事業は、従来型の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく企業の取組み自体を支援する事業です。地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い参加者間のネットワークを構築。これを通して個々の事業者のブラッシュアップを図り、自分たちの個性を見出した事業者は松屋銀座、リビングデザインセンターOZONE等において個々の世界観を披露する機会を獲得し、顧客とつながる距離をショートカットしています。それらによって個々の企業のブランド化を図ろうとする取組です。

「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、 切磋琢磨しながら、自社ブランド構築に繋がる取組を実施し企業を支援します。

このような活動が評価されグッドデザイン賞を3年連続受賞、また日本デザインコミッティーの第716回デザインギャラリー1953企画展として「奈良 T・E・I・B・A・N 動詞のデザイン」を開催。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.nara.jp/33853.htm

次回実施予定及び評価

継続実施

機関名	奈良県産業振興総合センター
部署名	生活・産業技術研究部 ライフマテリアルグループ
雷話連絡先	0742-33-0863

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術相談・指導事業(デザイン関連)	平成 25 年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○事業内容: 県内企業の製品企画・開発における技術相談・指導対応

○利用日時:8:30~17:15 (土日祝及び年末年始は除く)

○場 所:奈良県産業振興総合センター(デザイン工房)もしくは企業の現場

○テーマ(キーワード): デザイン・人間工学・福祉関連技術・製品評価技術

○費 用:無料

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.nara.jp/28599.htm

次回実施予定及び評価

機関名	奈良県産業振興総合センター
部署名	生活・産業技術研究部 ライフマテリアルグループ
雷話連絡先	0742-33-0863

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
Living Colongo 生道的印空門交車要	平成 26 年度	470 千円
Living Science 先導的研究開発事業		(繊維・デザイン関連)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○事業内容:「健康長寿日本一」の目標達成を支援するために、衣食住の「衣」の視点から、コンフォート (快適) 衣料に関する研究を行う。

○期 間: 平成 26 年 4 月~平成 28 年 3 月

○場 所:奈良県産業振興総合センター

○テ - マ:「はだし教育用ソックスに関する研究」 「快適なソックスの風合い評価及び解析」

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.nara.jp/1751.htm

次回実施予定及び評価

研究については、平成28年度も継続して実施予定。

奈良県

機関名	奈良県産業振興総合センター
部署名	生活・産業技術研究部 ライフマテリアルグループ
電話連絡先	0742-33-0863

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
受託·共同研究推進事業	平成 25 年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○事業内容:企業が希望される研究課題を、当センターが受託し実施する研究(受託研究)と、企業が希望される研究課題を企業と当センター共同で分担し実施する研究(共同研究)を実施。

○期 間: 平成 25 年 6 月~平成 28 年 3 月

○場 所:奈良県産業振興総合センター,共同研究企業

○テ - マ:「介護施設見守りシステムのプロトタイプ開発に関する研究」 「トレーニング用履物のデザイン検証に関する研究」 (いずれも共同研究)

○費 用:企業負担(金額はテーマによる)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.nara.jp/28573.htm

次回実施予定及び評価

事業は平成28年度も継続して実施予定。テーマは未定。

和歌山県

機関名	和歌山県
部署名	商工観光労働部産業技術政策課
雷話連絡先	073-441-2354

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン相談事業	亚代 1 5 左座	192千円(H27予
ナリ1ノ他談争 表 	平成 1 5 年度 	算額)

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

商品開発支援の一部として、県内に事務所がある企業等を対象とし、それらの企業からのデザインに関する相談について、先着順で客員相談員(県が依頼するデザイナー等)からアドバイスを受けることが可能。「和歌山県工業技術センターご利用の手引き」等で掲載し、募集している。(客員相談員の謝礼金及び旅費について県が負担する。概ね8件分の予算。)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.wakayama-kg.jp/

次回実施予定及び評価

平成27年度において、5件の実績がある。(12月7日現在)

和歌山県

機関名	和歌山県
部署名	商工観光労働部企業政策局企業振興課
雷話連絡先	073-441-2757

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
わかやま地場産業ブランド力強化支援事業	平成23年度	110,000 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

地場産地の技術・経験・ネットワーク等を駆使した新たな新商品・新サービスの事業展開を推し進め、受注型のビジネスモデルから企画・提案型のビジネスモデルを目指そうとする地場産地の企業又は企業グループの取組を支援することを目的として、デザイナー等の外部専門家を活用した新商品・新サービスの開発などによる新たなブランドづくりの取り組みに対し、事業計画の策定から試作品開発・販路開拓まで一貫して、最大3年間、継続的に支援を実施。

■補助率:2/3以内

■補助上限額(3年計):企業単体1,000万円、企業グループ2,000万円

■補助対象期間:最長3年間

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/jibaburando.html

次回実施予定及び評価



機関名	鳥取県
部署名	商工労働部産業振興課
電話連絡先	0857-26-7690

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
意匠・デザインセミナー	平成18年度	302 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

戦略的知的財産活用推進事業の一環で、県内企業及び県民等の知財リテラシー向上を図ることを目的に、知的財産に関する各種セミナー・イベントを実施しており、デザイン関係では、以下のセミナーを実施予定。

■平成27年度意匠・デザインセミナー

テーマ:「企業力を上げるデザインとブランディングについて」 講師:グラフ株式会社 代表取締役社長 北川一成 氏

期日:平成27年12月14日(月)場所:鳥取県立図書館(鳥取市)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.tottori.lg.jp/243938.htm

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続予定

機関名	鳥取県
部署名	商工労働部産業振興課
電話連絡先	0857-26-7690

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
経営革新支援事業(経営革新大賞)	平成15年度	1,131千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

経営革新計画への新たな取組の推進及び企業への意欲向上を図るため、経営の向上が顕著で他の模範となる企業を「経営革新大賞」として表彰。この中で、平成22年度に「企画デザイン賞」を創設し、高いデザイン力を発揮した優秀な企業を表彰。

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続予定

機関名	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
部署名	電子・有機素材研究所 産業デザイン科
電話連絡先	0857-38-6200

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン力強化人材養成事業	平成23年度	5 6 2千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 目的

県内中小企業のデザインカ、商品開発力向上を目指した勉強会、個別相談会を開催し、指導内容、習得内容を商品開発の実践につなげることができる企業人材の養成を行う。

2. 事業内容

商品開発へのデザイン導入を促すための勉強会と個別相談会を2回に分けて実施した。

勉強会では、参加企業が自社の取り組みを発表し、講師を交えて意見交換を行った。参加者同士がお互いの取り組みを確認することで、競争意識を高めた。

参加企業は全2回参加し、第1回目で指導を受けた内容への対応、取り組みについて第2回目で報告するとともにより具体的な指導を受けた。

(1) 対象

工業系ものづくり企業 5社

(2)講師

(株)コボ 代表取締役社長 山村真一 氏、 産業技術センター 研究員 亀崎高志

(3) 日程等

第1回

日 時:平成27年7月27日~28日

場 所:勉強会(場所:産業技術センター機械素材研究所)、個別相談会(場所:各相談企業 他)

内容: 勉強会 自社紹介。事例紹介。事例研究。意見交換

個別相談会 具体的かつ実践的指導。業界情報、経営情報の提供

第2回

日 時: 平成27年11月30日~12月1日

場 所:勉強会(場所:産業技術センター機械素材研究所)、個別相談会(場所:勉強会に同じ)

内容:勉強会 自社の取り組み・進捗状況報告と講師による指導 個別相談会 取り組み・進捗状況に対する具体的かつ実践的指導

(4)参加費

無料

その他 (公財)鳥取県産業振興機構との共催事業として実施

次回実施予定及び評価

平成28年度事業については検討中

機関名	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
部署名	電子・有機素材研究所 産業デザイン科
電話連絡先	0857-38-6200

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
意匠制度講演会	平成27年度	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 目的

県内中小企業の商品開発力向上を目指し、意匠制度に関する講演会を開催し、企業経営者、技術者、支援機関職員に意匠制度活用の知識を習得いただく。

2 内容

昨今、関心が高まっているデザイン模倣の実態と意匠権の有効活用について、中小企業に役立つ制度活用といった観点から特許庁の意匠審査官にご講演いただいた。併せて産業デザイン科研究員より意匠活用支援の事例について紹介を行った。

- 「-中小企業のための意匠権 御社の製品、そのかたち、大丈夫?」
- ・講演1 「中小企業に役立つ意匠制度とその活用事例」

講師:特許庁 審査第一部意匠課 課長補佐 綿貫浩一 氏

・講演2 「鳥取県産業技術センターのデザイン活用支援」

講師:鳥取県産業技術センター産業デザイン科 研究員 亀崎高志

・鳥取県知財総合支援窓口の紹介

鳥取県知的所有権センター センター長 山本昭良 氏

- (1) 日 時 平成27年10月14日 (水) 午後2時から午後4時まで
- (2) 場 所 電子・有機素材研究所 大会議室 (メイン会場)

機械素材研究所 技術研修室(配信)、食品開発研究所施設 小会議室(配信)

- (3) 参加費 無料
- (4) 出席者数 合計64名(3会場計)

次回実施予定及び評価

平成28年度実施については未定

島根県

機関名	島根県
部署名	商工労働部産業振興課
電話連絡先	0852-22-6221

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
県内製品デザイン開発支援事業	18年度	180千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デザインに関するセミナー「デザイン@しまね流 2015」

<主旨・目的>

・デザインの活用についての意識啓発、デザインを活用する側(製造業者)とデザインを作る側(デザイナー、印刷業者)のコミュニケーションの重要性を理解してもらうためにセミナーを開催した。

<主催>

- ・島根県
- ・まつえ農水商工連携事業推進協議会
- ・(公財)しまね産業振興財団
- · (一社) 島根県発明協会

く共催>

- ·島根県印刷工業組合
- <参加者>

県内製造業者、印刷・広告等の事業者、デザイナー、行政・支援機関職員等110名 <日時・場所>

- ・平成27年2月27日(金) 14:00-17:00 市町村振興センター 6F 大会議室 <内容>
- ・講演「地方創生とデザインの役割・手法(プロダクトコミュニケーション&アート)」 講師:京都精華大学大学院デザイン研究科教授 井上 斌策 氏
- ・県内デザイナーによる作品・事例紹介
- ・デザイン支援関連事業紹介

次回実施予定及び評価

次年度実施予定、実施形態は未定

岡山県

機関名	岡山市
部署名	経済局産業振興·雇用推進課
電話連絡先	086-803-1329

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
地域産品ブランドカ向上支援事業	平成27年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

岡山の魅力ある食材など地域資源等を活用し、または自社の加工技術を活かし、新商品の開発に取り組んでいる岡山市内の食品・飲料製造の事業者の方々を対象として、専門家によるそれぞれの企業にあった個別指導を行うことで、地域産品の売上拡大を後押しすることを目指す。

■地域資源等活用促進セミナー

テーマ: 「顧客満足度が高い差別化商品とは! |

講 師:マーケティングコンサルタント ライフコーディネーター

株式会社クリエイティブ・ワイズ

株式会社マーケティング・ナビ

各代表取締役 三宅 曜子 氏

期 日:平成27年5月27日

場 所:ピュアリティ・まきび

■個別指導支援

指導専門家:マーケティングコンサルタント ライフコーディネーター

株式会社クリエイティブ・ワイズ

株式会社マーケティング・ナビ

各代表取締役 三宅 曜子 氏

個別指導内容: 既存商品の現状と課題の分析

素材の特徴と活用方法

新商品開発

試作品づくりのための方向性やイメージづくり

ネーミングやデザインの検討

魅力的なパッケージ

販路開拓戦略など。

次回実施予定及び評価

平成28年度事業の詳細は検討中

機関名	広島県
部署名	商工労働局イノベーション推進チーム
雷話連絡先	082-513-3355

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
新事業創出チャレンジ企業支援事業	平成19年度	2,700千円程度

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

基金総額15億円の「ひろしまチャレンジ基金」を(公財) ひろしま産業振興機構に造成し基金の運用益を活用して,新事業にチャレンジする中小企業等を支援する。

補助対象者	中小企業者,創業予定者
対象事業	新たな事業分野への開拓を目指す次に掲げる事業
	○事業化促進事業
	・市場調査,FS 調査,特許権等の知的財産に関する調査
	・商品開発のための試作品の作成
	・市場ニーズに適合した商品デザイン, パッケージデザイン, 商標等の開発 等
	○市場化促進事業
	・販売計画の策定
	・商品の広報活動, 見本市等出展活動 等
補助率	○事業化促進事業:助成対象経費の2/3以内
	○市場化促進事業:助成対象経費の1/2以内
補助金額	○事業化促進事業:300万円以内
	○市場化促進事業:100万円以内

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www. hiwave.or.jp/purpose1/subsidy/challenge/

(ファンド管理法人である(公財) ひろしま産業振興機構HPに掲載)

次回実施予定及び評価

平成28年度も継続して実施予定(毎年4月頃募集予定)

機関名	広島県
担当部署	商工労働局 イノベーション推進チーム
連絡先	082-513-3357
	http://www.pref.hiroshima.lg.jp

事業名	開始年度	全体予算額
中小企業イノベーション促進支援事業	平成24年度	E7 021 IM
(チーム型支援)	十八八〇十八支	57,831 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

全国トップレベルの専門家(マーケティング, セールス, ブランディング, デザイン, 知的財産戦略, 経営戦略・生産管理等)等で構成された支援チームにより, 中小企業の新事業展開等に対し, 集中支援を実施する。

実施機関	広島県中小企業・ベンチャー総合支援センター [(公財)ひろしま産業振興機構内]	
支援対象	売上増や利益率等の向上による成長を目指す県内の中小企業	
事業フロー	①支援企業の募集のためのセミナーの開催等 ②支援申込みに対し、ナビゲーター(中小企業診断士等)による現状分析・課題抽出 ③支援企業の審査・選定 ④支援チームによる集中支援 ⑤フォローアップ(支援事業の評価)	
支援期間	最長1年間(応募は随時)	
支援企業数	15社程度(新規支援対象数)	

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

https://www.hiwave.or.jp/purpose1/development/team/

次回実施予定及び評価

機関名	広島県
担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム
電話連絡先	082-513-3362

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
新技術創出支援事業	亚弗 2.6 年度	11 200 III
(感性工学を活用したものづくりの活性化)	平成 2 6 年度 	11,399 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

人間のもつ"感性"という新たな価値軸を活用した製品の差別化による高収益構造の実現に向け、人間工学や感性工学を取り入れたものづくりの推進を目的に、「ひろしま感性イノベーション推進協議会」を設置、運営している。

設立年月日	平成26年4月22日
会 長	マツダ株式会社 技監 農沢 隆秀
メンバー	人間工学・感性工学を活用したものづくりに関心のある企業,大学,試験研究機関,産業支援機関,行政機関等 (90 社・35 機関;平成27年12月現在)
活動内容	・成功事例創出を目的とした製品化支援 ・課題解決型ワークショップの開催 ・ひろしま感性ブランド(仮称)認定制度の検討 ・人材育成カリキュラムの検討

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.crrc.or.jp/kansei/

次回実施予定及び評価

機関名	東広島市
部署名	産業部産業振興課新産業創造センター(コラボスクエア)
電話連絡先	082-493-8181

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
研究会事業(デザイン研究会セミナー)	平成23年度	4 9千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

中小企業の経営者や商品企画の担当者、これから自社商品を開発しようとしている中小企業の担当者などを対象に商品・サービスの魅力を更にアップさせるための具体的な手法や考え方を学んでもらうためにデザイン研究会セミナーを開催している。

<平成27年度の実績>

・テ - マ :「商品開発の考え方と、市場導入の変貌したコミュニケーションについて」

•講 師 :清水昭和事務所 主宰 清水昭和 氏

·期 日:平成27年8月25日

・場 所: コラボスクエア会議室(東広島市西条西本町28-6)

•実施団体 : 東広島市、東広島市産学金官連携推進協議会

·参加人数 : 3 4 名

次回実施予定及び評価

機関名	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー
部署名	製品設計研究部
電話連絡先	082-420-0537

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザインに関する研究開発,支援事業	- 年度	- 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 研究開発

県内製品の高付加価値化、デザインカ向上を目的とした研究開発を実施

【県予算研究】

「福祉用途での視線操作技術の実用化(H27)」

「装着型センシングによる歩行診断支援システムの開発(H27)※事前研究」

「低価格 3Dプリンタでのヒューマン・アシスト・パーツの開発(H25) ※探索研究」

2 県行政部門との連携

商工労働局が実施するデザインや福祉分野での事業を支援

- ○ひろしま感性イノベーション推進協議会(H26~) 当県に集積する人間工学・感性工学技術での産業創出活動を支援
- ○医療関連産業クラスター形成事業(H24~) 県内企業の試作した福祉用具を施設等でモニタリングする事業を支援
- ○ひろしま発人材集積促進プロジェクト <デザイン分野> (H27~)

イノベーションの原動力となる人材集積を目的に、建築家の鈴木エドワード氏をキーパーソンに県内外からクリエイター を募りソーシャルデザインに取組む事業を支援

3 技術指導·支援

県内企業からのデザインに関する技術相談や研究会, 産地振興を支援

- 〇中国地域質感・色感研究会(事務局:(公財)5ゅうご〈産業創造センター)へ委員として参画し、中国地域企業の人間工学・感性工学を活用した調査、実験、開発を支援(H24~)
- 〇呉の介護施設,やすりメーカ,樹脂成型業者,デザイナーの新商品開発を支援(H26~)
- ○東広島市の軽量タウンカー研究会にてシニアカーの開発を支援(H23~)
- ○宮島細工のブランド化や新商品開発を支援(H19~)
- ○ひろしまデザインネットワーク(事務局: (公財) 広島市産業振興センター) へ参画し, 産学官でのデザイン振興 促進を支援

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/28/

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続して実施予定(終了事業を除く)

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
電話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインシンポジウムの開催	亚出了东南	660 TM
「デザインシンポジウム広島(SPADE)」	平成 7 年度	668 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

企業のデザイン開発力を高めるとともに、産業界及び市民のデザインに対する理解と関心を深めることを目的とする。平成26年度は、広島をベースに良いものづくり(イベント、エンターテイメント等含む)に力を注いでおられる企業をはじめ事業者の方をプレゼンテーターとして、その取組と「ものづくりにかける心」 = 「デザインマインド」の在り様を短い時間で順番に発表するスーパープレゼンテーション形式とした。発表される企業の方には参加者への自社のアピールの機会としていただくとともに、参加者には発表者の意気込みを感じてもらい、広島という身近なところでもこのような取組が良いものを生み出しており、それを生活に取り入れることが生活の豊かさや地域企業の商品の質の向上、競争力の強化に結びついていくということを理解していただきたいという趣旨で開催するものである。

名 称:デザインシンポジウム広島「SPADE (スペード) 」

(=Super Presentation Assembly for Design Encouragement~デザイン奨励のための素晴らしいプレゼンテーション集会) ※SPADEにはトランプのスペードとは別に「鋤で掘る」という意味もあり、広島の良いモノづくりを掘り起こす、デザインの土壌を耕すという意味も込めています

開催日:平成26年11月16日(日)

場 所:広島県立美術館 講堂(中区上幟町2番22号)

主 催:デザインシンポジウム広島実行委員会(公益財団法人広島市産業振興センター、広島商工会議所、広島県中小企業団体中央会)、共 催:中国経済産業局、協 賛:中国経済連合会

内容:

「プレゼンテーター」 7人 発表時間15分

映 画 部谷 京子 映画美術監督

製造業 増川 正久 三菱重工業株式会社三原製作所交通システム事業部マネージングエキスパート

小 売 宗兼 邦生 株式会社フレスタ 代表取締役社長

出 版 財津 正人 株式会社本分社 代表取締役

茶 道 上田 宗篁 茶道上田宗箇流若宗匠

家 具 山中 洋 株式会社マルニ木工 常務取締役 営業本部長

造 船 佐藤 亘一 株式会社三和ドック 総務部 検査課

「コーディネーター」株式会社中国放送 本名 正憲 アナウンサー

*コーディネーターは司会を行い、プレゼンテーターの発表の後に、プレゼンテーターと参加者を交えてディスカッション

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.itc.city.hiroshima.jp

次回実施予定及び評価

平成 28 年度実施予定(隔年開催)

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
電話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
ひろしまグッドデザイン顕彰事業		2 620 五四
マスクログラン では 1 4 回ひろしまグッドデザイン賞」 マルログラン マルロ マル 6 年度 2,6		2,630 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

広島市内に事業所を有する企業がデザイン開発した商品及びパッケージのうち、デザイン面・機能面で優れたものを「ひろしまグッドデザイン商品」として選定し、これを顕彰することで産業界及び市民のデザインに対する理解と関心を深めるとともに、デザイン関連企業の育成を図り、企業の販売促進や広島発のデザインのブランド化により産業の振興を図る。

■応募期間: 平成27年6月8日(月)~7月7日(火)まで

■募集部門:プロダクト部門 パッケージ部門

■応募点数:72社92点

■賞: グランプリ プロダクト部門・・・・1 点 パッケージ部門・・・・1 点

準グランプリ プロダクト部門・・・・1 点 パッケージ部門・・・・1 点

特別賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 点

奨励賞・・・・・・・25 点

■表彰式 : 平成 27 年 11 月 5 日 (木)

■展示販売(予定)

: 紙屋町地下街シャレオ展示販売会(広島): 平成27年11月5日(木)~6日(金)





・東京インターナショナルギフト・ショー:平成28年2月3日(水)~5日(金)

·ビジネスフェア中四国展示販売会(広島): 平成28年2月5日(金)~2月6日(土)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.itc.city.hiroshima.jp/gooddesign/index.html

次回実施予定及び評価

平成 29 年度実施予定(隔年開催のため)

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
電話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術者研修事業「デザイン講習会」	平成 15 年度	78 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

広島のデザイン関連企業の振興を図るためには、広島のデザイナーや学生のデザイン能力の向上、更に専門分野だけでなく領域の拡大を図る必要があるものの、広島にはその自己啓発をする機会が都市圏に比べ格段に少ない。

このため、高いデザインスキルにより実績を積んだデザイナーによる開発実例や最新のデザイン傾向などを聞くことにより広島のデザイナーの能力向上及び専門領域の拡大を図る。

<平成26年度>

- ・テーマ「特産品のパッケージ/デザイナーへの期待とは?~JPDA調査から見えてきたこと~」
- •講 師 大日本印刷株式会社 包装事業部 企画本部 中越 出 氏
- ·開催日平成27年2月20日(金)
- ・開催場所 広島市工業技術センター 3 階研修室

<平成27年度は企画中>

平成27年度はライトプロダクツを専門とするデザイナーを招いてグラフィックデザイナーが取り組みやすい物づくりを紹介し、デザインの専門領域を広げるための基本的考え方や着眼点などを学ぶ。

- ·開催回数 1回
- ・テ マ 未定
- ·講 師 未定
- ·開催日 未定
- ・開催場所 広島市工業技術センター 3 階研修室

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.itc.city.hiroshima.jp

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
電話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザインネットワーク推進事業	亚弗 22 年度	101 TM
「ひろしまデザインネットワーク」	平成 22 年度	101 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

行政、企業、デザイン関連業界及びデザイン教育機関が適切な役割分担のもとに連携を図りながら、デザインネットワークの構築とデザイン振興拠点機能の強化を図ることを目的として「ひろしまデザインネットワーク」を運営する。

- ・会員数 25名(デザイン教育機関5、デザイン関連業界7、企業7、行政機関6)
- ·実施回数 4回(会議3回、勉強会1回)
- •勉強会

日時 平成27年9月16日(水) 13:00~17:00 講師 公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 所長 チーフコーディネータ 堂野 智史

・開催場所 広島市工業技術センター 研修室





<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.itc.city.hiroshima.jp

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
雷話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術指導推進事業		— 千円
「技術指導相談」「工業技術支援アドバイザーの派遣」	_	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

く技術指導相談>

企業の生産性、技術力及びデザイン開発力の向上を図るため、企業技術者の来所や当センター職員の現場訪問による技術指導・相談を実施する。

・平成26年度実施件数 デザイン関係 181件

<工業技術支援アドバイザーの派遣>

企業の技術力及びデザイン開発力の強化を支援するため、専門家を派遣し、技術的課題の解決に向けた指導・相談を実施する。

以下平成26年度

- ・支援アドバイザー デザイン関係 7名
- ・実施件数 デザイン関係 4件

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.itc.city.hiroshima.jp

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続して実施

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
電話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術研究会事業「新商品デザイン開発研究会」	平成 27 年度	314 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 目的

商品開発にあたり、コンセプト段階からデザイナーと協業することで、デザイン的にも優れた商品の開発を目指すことを目的とする。

- 2 テーマ 廃盤素材による新商品デザイン開発の研究
- 3 開催日時 全7回(セミナー1回、研究会5回、見学会1回)
- 4 開催場所 広島市工業技術センター 3 階講習室、研修室

日 時	内容	講師			
第1回 8月3日(月) 14:00~16:30	ワークショップ 1 自己紹介・オリエンテーション 素材提案 デザイナーとのマッチング	公益財団法人広島市産業振興センター デザイン開発室 田中 志保			
第2回 8月 17 日(月) 14:00~16:30	見学会 岸工業株式会社 東広島工場				
第3回 9月1日(火) 14:00~16:30	ワークショップ 2 デザイナーからのデザイン提案 研究会会員でデザイン案検討	公益財団法人広島市産業振興センター デザイン開発室 田中 志保			
第4回 9月18日(金) 13:30~15:30	セミナー 「NEWSEDプロジェクトの取組」	特定非営利活動法人 NEWSED PROJECT 青山 雄二氏 中島 潤也氏			
第5回 10 月 5 日(月) 14:00~16:30	ワークショップ 3 試作検討	公益財団法人広島市産業振興センター デザイン開発室 田中 志保			
第6回 11 月 2 日(月) 14:00~16:30	ワークショップ 4 試作検討 デザインの修正	公益財団法人広島市産業振興センター デザイン開発室 田中 志保			
第7回 12 月 3 日 (木) 14:00~16:30	ワークショップ 5 商品化に向けて最終調整	公益財団法人広島市産業振興センター デザイン開発室 田中 志保			

5 会員 企業 1社 デザイナー 4社

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.itc.city.hiroshima.jp

次回実施予定及び評価

平成28年度も引き続き実施予定

機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
部署名	技術振興部 デザイン開発室
電話連絡先	082-242-4170

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術者研修事業「商品企画・開発講習会」	平成 20 年度	78 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

マーケティング調査等に予算をかけづらい中小企業は拡販のための商品企画力強化が課題となっている。そこで時代の変化に対応した商品開発を図れるよう中小企業ならではの特性を生かした新しい視点による企画立案のポイントを学ぶ機会を提供する。

<平成26年度>

- ・テ マ「商品開発と消費者リサーチ」
- ・講 師 リサーチデザイン株式会社 代表取締役 野呂輝彦 氏
- ·開催日平成27年2月27日(金)
- ・開催場所 広島市工業技術センター 3階研修室

<平成27年度は企画中>

平成27年度は消費者ニーズを的確につかんだ商品企画やマーケティング等について、商品企画を専門とする講師を招聘する。

- ·開催回数 1回
- ・テ マ 未定
- ·講 師 未定
- ·開催日 未定
- ・開催場所 広島市工業技術センター 3階研修室

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.itc.city.hiroshima.jp

次回実施予定及び評価

機関名	一般社団法人山口県デザイン協会
部署名	各支部
電話連絡先	083-920-3130

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
デザイン好きの社交場 ロダンの耳	平成26年度	千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■事業内容

毎回のテーマに沿い、デザイナーやデザインに興味のある一般の人が、様々にデザインを語る交流イベント「ロダンの耳」座談会

- ○目的/デザインの楽しさ、素晴らしさを、創造性の根幹を探りながら周知、浸透させること
- ○テーマ/所属会員や会員から推薦されたプレゼンターと実際の活動やコンセプトを紹介
- ○手法/1.担当者がプレゼンターとテーマについてライブトーク
 - 2.参加者も含めて自由なトークセッション
 - 3.希望者で懇親会を開催、テーマを掘り下げる

■実施団体

一般社団法人山口県デザイン協会各支部

■事業実績

平成27年度実績(平成27年11月末時点)

- 1月17日(土) グラフィックデザイナーって何者? デザイナーの使い方。
- 2月21日(土) Design of My Soul 魂のデザイン
- 4月18日(土)写真に現れるもの何を切り取るのか?何を現すのか?
- 7月25日(土) 花 命をいけること
- 10月3日(土) 塗料、色彩のいろいろ
- 11月13日(金) デザイン的著作権講座 例の事件から考えてみる

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.yda-net.or.jp/

次回実施予定及び評価

来年度を含めて、引き続き開催予定

機関名	一般社団法人山口県デザイン協会
部署名	広報·事業委員会
電話連絡先	083-920-3130

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
閲覧用 ポートフォリオスタイル会員紹介リスト制作	平成27年度	千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■事業内容

山口県ほかで構成する実行委員会主催の「やまぐち総合ビジネスメッセ」出展用に作成した会員のポートフォリオが 好評のため、冊子化し具体的な事業マッチングに寄与できるようコーディネーター機能を有する機関に提供する。

■実施団体

一般社団法人山口県デザイン協会 広報・事業委員会

■事業実績

平成 27 年 10 月 30 日(金)31 日(土)開催「やまぐち総合ビジネスメッセ」にて会員 46 名のポートフォリオをボードにて展示。特にコーディネーター機能を持つ来場者から好評で、冊子の配布を希望する意見もあったため、実施決定。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.yda-net.or.jp/

次回実施予定及び評価

今後、内容充実・会員全員掲載をすすめ、実施予定

担当部署

地方独立行政法人山口県産業技術センター

企業支援部デザイングループ

連絡先

0836-53-5050

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
研究開発事業	_	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内企業の技術力向上に役立つよう、技術の改善、新製品の開発等の実用化研究を主体とした研究開発を行っている。そのうち2テーマを例示しているが、このほか、企業の技術的課題解決や新製品開発支援のための共同研究、受託研究を行っている。

①県内企業を対象としたユーザビリティ設計技術に関する研究

【研究期間】平成23年度~26年度

【研究概要】本研究は、県内企業で開発される様々な産業用機器の操作パネルを調査し、数種類にパターン化した操作部を対象として、使いやすさに配慮するためのユーザビリティ設計手法を整理した。加えて、結果を分かりですくまとめたテキストを作成し、県内中小企業に配布した。

②商品企画のためのデザイン・シンキングの手法の評価

【研究期間】平成27年度

【研究概要】近年、デザイン・シンキング(デザイン思考)という、優秀なデザイナーやクリエーティブな経営者の思考をまねることで、これまでと違う新しい発想を生み出そうとする手法が注目されている。デザイン・シンキングとは、「理解」「発想」「試作」を素早く行い、新たな発想につなげる思考法であり、生活者の行動や気持ち、想い、考え方など、アプローチの中心には常に「人間」がある。デザイン・シンキングは大手企業を中心に、新商品や新サービスといった新規事業創造の導入例が報告され始めているが、中小企業の事例は現状では少ない。技術革新や大規模な市場調査をすることなく、既存市場にはない商品を発想することに向いているデザイン・シンキングのアプローチは、技術開発や市場調査にかける時間や予算の少ない企業にこそ有用であり、導入する支援が必要と考えられる。商品企画支援に向け、デザイン・シンキングの手法を実施し、その手法の評価、そして有用性と導入課題の整理を行う。

<事業に関する情報が掲載されているサイトURL>

http://www.iti-yamaguchi.or.jp

次回実施予定及び評価

来年度も継続実施

担当部署 地方独立行政法人山口県産業技術センター 企業支援部デザイングループ

連絡先 0836-53-5050

	/C/14/5			
事業名		開始年度	補助予算額 全体予算額	
	企業支援活動		_	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

① 開放機器

山口県産業技術センターに設置されている試験研究機器(デザイングループ所管17基)を使用開放している。

■平成26年度実績:156件

■平成27年度実績:117件(11月18日現在)■平成27年度新規導入機器(デザイングループ所管)

・真空注型システム (sid 株式会社 サンクロン真空注型機 SC-03 ほか)

強度のある ABS 樹脂、柔らかいゴムライクな樹脂、無色透明な樹脂などを使った実用試験用モデルや製品に近い モックアップを製作する。3Dプリンターでは製作が不可能な400mm×350mm×350mm以上の大型モデル製作に利用する。

②依頼試験

製品、原料などの各種試験・分析・測定などを行い、その結果の試験報告書または成績書を発行している。また、複雑な試験は、オーダーメイド試験として実施している。

■平成26年度実績:オーダーメイド試験5件

■平成27年度実績:オーダーメイド試験10件(11月18日現在)

③技術者研修

新技術や研究開発能力などの習得を目的として、企業技術者・学生を一定期間受け入れ、山口県産業技術センター職員が実務研修を行っている。

■平成26年度実施実績:6件

■ 3 D C A Dセミナー: 主にグラフィックデザイナーを対象にした3 D C A D講習会を開催した。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iti-yamaguchi.or.jp

次回実施予定及び評価

来年度以降も継続実施

中国 経済産業局

機関名	中国経済産業局
部署名	産業部流通・サービス産業課
電話連絡先	082-224-5655

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
カワいいモノブランドデザイン戦略事業	平成26年度	14,915千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

"カワイイ"の特性を、高い品質を誇る日本の伝統的工芸品・工業製品の"いいもの"に取り入れた「カワいいモノ」をメーカーとクリエイターが思考・発信する研究会(西日本エリア対象)を平成26年度から開始。

企業における商品開発支援やデザイン・ブランドの権利化支援、試作評価、展示会出展による販路開拓など、 開発から流通までのプロセスを一貫してバックアップし、商品力・ブランド力を高め、市場化を図る。

- ■カワいいモノブランドデザインセミナー(大阪・広島・高松・福岡にて各1回)
- ①大学等研究者によるカワイイに関する研究の発表
 - ②民間事業者によるカワイイ商品の開発事例紹介
 - ③デザイン・ブランドの保護に必要不可欠な知的財産権(意匠権・商標権)説明
- ④デザインマーケティングの手法
- ■カワいいモノ研究会の開催(広島にて年2回) 約20社程度の研究会参加企業による商品提案・発表。研究者・弁理士等によるアドバイス。
- ■もっとかわいい研修会の開催(広島にて年5回) クリエイターと参加企業によるワークショップによる商品共同開発。
- ■モニター調査

試作品を百貨店(広島パルコ)や大学にて評価(かわいさ・価格等)するとともに、意匠権・商標権について広報。





■東京インターナショナルギフトショー出展 完成した商品を2016年2月に出展予定。 (昨年度写真)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.chugoku.meti.go.jp/kawaii/

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続実施。海外展示会への出展ならびに国内での販売会を実施。



徳島県

機関名	徳島県
部署名	商工労働観光部 企業支援課
電話連絡先	088-621-2147

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
とくしまデザインプロジェクト事業	2 5 年度	2,800千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 とくしまデザイン会議

産学官(クリエイター、経済団体、大学、企業、金融機関、NPO、自治体)のメンバーで構成した会議を設置し、クリエイティブな力の活用により本県ブランドを確立する様々な取り組みを行う。

◇事業実績

日 程 平成26年7月30日(木)、開催場所 県庁11階 講堂

2 とくしまデザインフォーラム

県民や県内企業に対して、デザインへの意識高揚を狙って、県内外で活躍中の企業やクリエイターを講師に迎え、基調講演やフォーラム、展示会を開催する。

◇事業実績

日 程 平成26年10月9日(木)、開催場所 アスティとくしま2階 ときわホール 講演者 3Dモデラー 寺田天志, 事業プロデューサー 江副直樹, デザイナー 中庭日出海、参加者 76名

3 展示会(クリエイターズショー)

県内在住や県出身若手クリエイターの発表の場として、デザインフォーラムに併せて開催する。

◇事業実績

日 程 平成26年10月9日(木)から11日(土)、開催場所 アスティとくしま2階 展示ギャラリー 出 展 者 12企業・クリエイター

4 講演会

県内企業のデザインへの意識高揚とクリエイターの育成を目的として, 講演会等を実施する。

◇事業実績

講演名 デジタルの未来

日 程 平成26年7月28日(月)、開催場所 カフェ nyanfflu (徳島市東新町1丁目)

講演者 チームラボ株式会社 代表取締役 猪子 寿之 氏、参加者 50名

講 演 名 デジタル化時代のクリエイティブコミュニティの再生

日 程 平成26年7月30日(水)、開催場所 県庁11階 講堂

講演者 メビック扇町 所長・チーフコーディネーター 堂野 智史 氏、参加者 20名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.our-think.or.jp/digital/

次回実施予定及び評価

徳島県

機関名	徳島県・(公財)とくしま産業振興機構
部署名	商工労働観光部新産業戦略課
電話連絡先	088-621-2121

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
LED応用製品デザイン力強化支援事業	平成27年度	3,000千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

さまざまな種類の L E D製品が市場に大量に流通するなかで、県内 L E D関連企業が大きく売上を伸ばすためには、品質の高さはもとより、デザイン性の高い製品づくりが重要であり、特に海外市場においてはデザインが販路拡大に大きな影響を与えると考えられる。このため、プロダクトデザイナー等を活用し、県内 L E D関連企業の「製品デザインカ」強化を支援する。

<実施主体> 公益財団法人とくしま産業振興機構

<製品数>3製品程度

<支援内容>

- ○課題把握、デザイン活用支援計画策定、製品開発、販売戦略相談
- ○支援に係る次の経費を公益財団法人とくしま産業振興機構が負担
 - ・デザイナー等のコンサルタント料、旅費
 - ※製品開発に係る材料費、加工費等は企業様の負担
 - ※事業実施体制や各種条件については、デザイナー等との個別相談により決定

<実施期間>

平成28年3月31日(木)まで

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://led-valley.jp/docs/2015101900010/

次回実施予定及び評価

平成28年度も県内企業のLED応用製品のデザイン力強化支援を計画(予算要求中)

徳島県

機関名	徳島市
部署名	経済部経済政策課
雷話連絡先	088-621-5225

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
中小企業販路拡大支援事業	平成 26 年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

首都圏などの県外・海外の大規模な市場で自社の製品の販路拡大に取り組むものづくり中小企業に対し、予算の範囲内で補助金を交付。

対象者

製造業を営む中小企業のうち、販路拡大したい製品及び販路拡大にあたって必要となる支援内容が明確である者。

対象経費・補助率・補助限度額

取組内容	対象経費	補助率	限度額 (万円)
①展示会出展費 (県外で開催される販売を主目的としない 展示会への出展)	◆小間代、小間内の装飾代 ◆通信運搬費 ◆交通費、宿泊費 等		30 ※海外加算 20
②営業活動費 ④外部専門家委託が必須 (注2)	◆交通費、宿泊費◆製品パンフレット、会社案内製作・改良費◆Webサイト製作・改良費・通信運搬費 等	1/2	20 ※海外加算 10
③製品開発・改良費 (新規性、独自性、成長性があり、市場の ニーズに合わせた製品開発・改良)	◆原材料、副資材費 ◆外注・委託費(性能検査等) ◆機械装置、工具器具のリース、レンタル料 ◆マーケティング調査費(外注のみ可) 等		50
④外部専門家委託費	◆販路拡大指導・助言等業務委託料 ◆デザイン製作業務委託料 ◆技術指導・助言業務委託料 等	2/3	50

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.city.tokushima.tokushima.jp/keizai_seisaku/gaiyo48.html

次回実施予定及び評価

平成28年度も同様の事業を実施予定

香川県

機関名	香川県
部署名	商工労働部経営支援課・(公財)かがわ産業支援財団
電話連絡先	087-832-3342

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
特定地場産業活性化ブランド確立支援事業	平成19年度	15,000 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

香川県の特定地場産業の活性化を図るために、県内の特定地場産業の組合等又は特定地場産業を形成する 単独企業等が、新商品・デザイン開発等により地場産品のブランドを確立する事業に要する経費の一部を助成す る。

- ○対象事業者 県内の特定地場産業(県が選定した 29 業種※)の組合等(組合、団体及び中小企業者のグループ等)又は特定地場産業を形成する単独企業等
 - (※特定地場産業:かまぼこ、佃煮、味噌、醤油、食酢、清酒、うどん、手延素麺、冷凍食品、缶詰、手袋、カバン・袋物、ニット製品、製綿・寝具、織物、縫製品、桐下駄、家具、ちり紙、粘土瓦、レンガ、陶管、植木ばち、石材、はかり、ボタン、漆器、和がさ、うちわ)
- ○対 象 事 業 地場産品等のブランドを確立するための商品・デザイン開発、商品の情報発信及びそれらに 付随する事業
- ○助 成 額 50万円以上300万円以下
- ○助 成 率 2/3 以内
- ○助成期間 最長2年間

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kagawa-isf.jp/sien/fund_h28/fund08.htm

次回実施予定及び評価

平成 28 年度も継続して実施。

愛媛県

機関名	愛媛県
部署名	経済労働部産業支援局産業創出課
電話連絡先	089-912-2482

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
タオル製品デザイン企画手法開発研究	平成 26 年度	2,040 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○寝装関連タオル製品試作開発

タオルシーツ等の寝装関連分野について、産地の高度なシャガード織り技術を活かした、デザイン性・装飾性・肌触り等に優れた製品の試作開発を行う。

○研究機関

繊維産業技術センター

○内容

- 1. デザイン情報(色彩・柄情報)収集
- 2. 素材(糸)の検討と作成
- 3. 凹凸感のあるパイルや特徴あるテクスチャーを有する寝装技術の確立
- 4. タオルシーツのデザイン企画及び試作

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.pref.ehime.jp/h30103/sangiken/seni/

次回実施予定及び評価

愛媛県

機関名	松山市
部署名	産業経済部地域経済課
電話連絡先	089-948-6710

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
中小企業等クリエイティブビジネス推進事業	平成 26 年度	18,003 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

事業者が提供する商品・サービスに高付加価値をつけ、売上の一因ともなるデザイン等のクリエイティブ産業に着目し、クリエイター商 談会やクリエイターセミナーの開催等により、市内クリエイターの販路拡大並びに人材育成を行うことにより、市内における同産業の活性 化を図る。

○クリエイター商談会の開催

市内のクリエイティブ産業のマーケット拡大を図るため、事業者と市内のクリエイターによる商談会を開催する。事業者は、新商品の開発・販売等の際にコンテンツを必要とする事業者とし、クリエイターは事業者に対し、自ら制作するデザイン等のコンテンツを提案する。

【平成 26 年度: クリエイターによるブース出展方式】

・クリエイター商談会(松山版)

日時: 平成 26 年 10 月 17 日 (金) 場所: 愛媛新聞社 1 社 出展クリエイター数: 14 社 来場した事業者数: 18 社 23 人

・クリエイター商談会(東京版)

日時:平成26年12月9日(火) 場所:電通東京本社ビル1階

出展クリエイター数:12 社 来場した事業者数:33 社56 人

○クリエイターセミナー、クリエイティブ体験セミナーの開催

市内の専門学校に通う学生等の若年者を対象としたクリエイターセミナーを開催する。講師には現役のクリエイターを招き、参加者に即戦力となるクリエイターとしてのスキルを学んでもらう。また、市内の小中学生を対象としたクリエイティブ体験セミナーを開催し、参加者に映像やデザイン等の制作を体験してもらい、将来クリエイターを目指す参加者のさらなる動機づけを図る。

【平成 26 年度】

・クリエイターセミナー

日時:平成26年9月5日(金)14~16時 場所:愛媛県美術館1階 講堂

講師:株式会社電通 CDC クリエイティブディレクター/CM プランナー

赤松 隆一郎 氏(※松山市出身)

参加人数:約120人・クリエイティブ体験セミナー

日時: 平成 27 年 3 月 26 日(金) 13~15 時 場所: テレビ愛媛

講師:テレビ愛媛アナウンサー、カメラマン、スタッフ

参加人数:市内の小中学生82人

○「松山市クリエイティブビジネス推進検討懇談会」の開催

本市が実施するクリエイティブビジネスを推進するための事業について、クリエイティブ関連の教育機関や行政関連機関等と意見交換を行う。

【平成 26 年度】

日時: 平成 26年10月10日(金)14時30分~16時30分

場所:松山市役所会議室 出席者数:7人

次回実施予定及び評価

愛媛県

機関名	公益財団法人 えひめ産業振興財団
部署名	産業振興部 産業振興課
電話連絡先	089-960-1201

事業名	開始年度	補助予算額全体予算額
えひめ中小企業応援ファンド	2 1 年度	6,500千円
ビジネスデザイン助成事業		0,300TH

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

デザイナー等との協働によって行う、コンセプトの明確化によって、商品の魅力を高めるためのパッケージデザイン、機能性に加えてデザイン性に配慮した商品開発、ブランドの確立などの取り組みに対し、その必要な一部を助成し、デザインを活用した更なる市場競争力の強化を図る。

<助成対象者>

- ①県内中小企業者又は中小企業者等のグループ。
- ②愛媛県において、法人を設立して地域に密着した事業に取り組もうとする個人又はグループ 及び地域に密着した事業に取り組もうとする創業後5年未満の中小企業者。

<助成対象事業>

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発等への取り組みやビジネスデザインの確立に向けた取り組み。

<助成対象経費>

ビジネスデザイン助成事業に要する次の経費。①商品開発経費、②デザイン企画開発経費、 ③市場調査経費、④その他経費

<助成率>

助成対象経費の1/2以内(上限1,500千円)

<助成対象期間>

1年以内

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.ehime-iinet.or.jp/

次回実施予定及び評価

平成28年度についても継続して実施予定。

高知県

機関名	高知県
部署名	文化生活部まんが・コンテンツ課
電話連絡先	088-823-9711

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
高知県ゲームキャラクターデザインコンテスト	平成 25 年度	869 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【開催趣旨】

- ◆優秀なゲームキャラクターのデザイナーを発掘し、ビジネスマッチングを行うことを目的として、ゲームキャラクターデザ インコンテストを開催
- ◆入賞者に対し、デザイン業務が発生するよう支援をすることで、コンテンツビジネスの発展 を担う人材の発掘及び県内のコンテンツ産業振興を目指す。

【開催内容】

- ◆全国からゲームキャラクターデザインを募集
- ◆首都圏大手ゲーム開発・運営会社及び県内ゲーム開発・運営会社の担当者が応募作品を審査
- ◆県内のディレクション会社(仲介会社)が、入賞者とゲーム開発会社等とのビジネスマッチングを支援

【実施スケジュール及び実績】

H27 年 7~10 月 イラストの募集開始(応募総数 342 作品(176 名))

- 11月 審査会(優秀賞入賞者2名、奨励賞入賞者16名、特別賞入賞者17名、 育成枠4名を決定)
- 12月 入賞者とゲーム開発・運営会社とのマッチングを開始

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://contents-game.kochi.jp/index.html

次回実施予定及び評価

入賞者とゲーム開発会社等とのビジネスマッチングにおいて一定の成果を上げたが、ゲーム開発会社等からの継続的な発注には繋がりにくく、またゲーム市場動向の変化が著しいため、来年度は実施しない予定

機関名	高知県
部署名	文化生活部まんが・コンテンツ課
電話連絡先	088-823-9711

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
クリエイター育成事業	平成 25 年度	1,638 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【開催趣旨】

◆県内クリエイター及び事業者の人材育成

【開催内容】

◆県の産業人材育成プログラム(土佐まるごとビジネスアカデミー)の講座としてトップレク チャー及び基礎編を開催

【実施スケジュール及び実績】

H27年6月22日 トップレクチャー「ブランディングデザインとその手法について」

講師:エイトブランディングデザイン 代表 西澤 明洋(114名参加)

10月2日 基礎編「商品・デザイン戦略①:コミュニケーション・デザイン」

講師:電通 岸 勇希(33名参加)

10月9日 基礎編「商品・デザイン戦略②:事業戦略とコンセプト設計」

講師:モデルビレッジ 小松 一之(18名参加)

10月16日・17日 基礎編「商品・デザイン戦略③: デザイン開発の現場から(1)」

講師: イーストクリエイツ 高橋 和夫(28名参加)

10月16日・17日 基礎編「商品・デザイン戦略④: デザイン開発の現場から(2)」

講師: イーストクリエイツ 高橋 和夫(31名参加)

10月23日 基礎編「商品・デザイン戦略⑤:広告手法」

講師:高知広告センター 高橋 祐介(23名参加)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.abi.co.jp/information/tosamba.html

次回実施予定及び評価

トップレクチャー、基礎編ともに好評で、定員を上回る回も多かったことから、来年度も継続して実施する予定

機関名	公益財団法人高知県産業振興センター
部署名	産業連携推進部振興課
電話連絡先	088-845-6600

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
こうち産業振興基金事業	平成 19 年度	65,300 千円
(経営革新支援事業・建設業経営革新支援事業)	十八八五五十八五	260,000 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1) 事業概要

県内の中小企業者等の新分野への進出や新技術及び試作、改良、デザイン等の改善による新製品の開発、販路開拓などにより経営革新に向けた取り組みを支援する。

- 2)補助額·率 上限200万円/年 1/2以内
- 3) URL http://www.joho-kochi.or.jp/sangyo_shinko_kikin/index.html

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人高知県産業振興センター
部署名	産業連携推進部振興課
電話連絡先	088-845-6600

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
こうち農商工連携基金事業	平成 20 年度	95,742 千円
こりの こりの 長崎上建筑 全部 上半 上半 上半 上半 上半 上半 上半 上		102,761 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1) 事業概要

農林水産資源を活用した、より付加価値の高い競争力のある製品作りやブランド化、商品デザイン、パッケージデザインの改善による製品改良等の取り組みを支援する。

- 2) 補助額·率 上限500万円/年 2/3以内
- 3) URL http://www.joho-kochi.or.jp/php/noshoko.php

次回実施予定及び評価

機関名	公益財団法人高知県産業振興センター
部署名	産業連携推進部振興課
電話連絡先	088-845-6600

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
 経営革新コーディネート事業(高度専門サポート事業)	平成 19 年度	1,800 千円
柱呂中村コーノ1个「下事来(向反等「リソハート事来) 	十成 19 平反	8,600 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

経営革新コーディネート事業(高度専門サポート事業)

1) 事業概要

中小企業が抱える経営課題について、専門家を企業現場に派遣し、アドバイスする事業(経営革新の策定に取り組むことが要件)

活用の想定例: 販路開拓等の経営課題の解決を図るため、デザイナー等企業に派遣し、デザイン等を改善することによって、より付加価値の高い商品開発を目指す。

2)補助率(必要となる専門家謝金+旅費)の3/4+企業負担(1/4)で実施

次回実施予定及び評価

兀 玉 経済産業局

機関名	四国経済産業局
部署名	産業部 商業・流通・サービス産業課
電話連絡先	087-811-8524

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
平成 27 年度デザインを活用した商品づくりの成果普及事業	平成24 年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

四国経済産業局では、四国の商品やサービスの高付加価値化・プランド化を推進するため、 中小企業におけるデザイン活用促進事業を実施している。

デザインを活用しようと考えているものの、その機会がなかった事業者と、デザイナーとの協働を促し、付加価値の高い商品づくりを支援し感性価値商品の普及並びにデザイナーの育成、活躍の場の拡大を図るとともに、テストマーケティング調査を通じた販路開拓も行う。 併せて四国全体のデザイン活用環境の充実を目的としてデザインサミットを開催し、知的 財産権の普及促進を行う。

1. ワークショップ形式によるデザイン商品づくり

- 〇四国地域から自社商品にデザインを取り入れたい事業者を募集。
- ○意欲のある若手デザイナー(3名)と経験豊かなベテランデザイナー(1名)から成るデザイナーチー ムを事業者へ派遣。
- ○ベテランデザイナーはアドバイザーの役割とし、若手デザイナー育成のための経験の場とする。
- ○3回以上事業者、デザイナーチーム、事務局が参加するワークショップを開催し、デザイン商品(試作 品)を完成させる。※デザイン費用に対する支援はなし。

→平成27年度は3件のワークショップで商品づくりを実施

2. コンペティション形式のマッチングによる商品づくり

- 〇四国地域から自社商品にデザインを取り入れたい事業者を募集。
- 〇デザインを求める事業者の商品等を見てデザイナーがコンペティションへ応募。
- 〇コンペティション形式のマッチング会を開催。
- ○マッチング会の前に事業者とデザイナーの交流会を開催。 ○マッチング成立後デザイナーとの契約(必要な場合は事務局が仲介・サポート)。 ※デザイン費用に対する支援はなし。
 - ※商品製作期間も事務局が継続してフォローアップし、商品完成を図る。

◎H24年度~27年度:20件のマッチン グ成立

◎マッチング事例

土佐打刃物の包丁の持ち手部分をリデザイン 販売層が男性中心から女性へと広がり、ギフ ト商品として喜ばれている。

Before







3. テストマーケティング(H28.2/3~2/5)

- ○東京インターナショナルギフトショーに出展。
- 〇上記ギフトショーまでに商品が間に合わなかった 場合等は別の方法でテストマーケティングを実施。

4. 四国デザインサミット(H28.3/5)

- ○デザインを活用した四国の活性化を考える四国デザ インサミットを開催。
- ○デザインを活用のための基調講演や、デザインを活 用した商品づくりを行ったデザイナーと事業者の事 例紹介、特許庁講師による知的財産権についての説 明等を行い、事業者がデザインを活用する際に知っておくべきことなど、知財に関する知識や理解を深 める。

次回実施予定及び評価

コンペティション形式のマッチングでは、デザイナーと今まで接点がなく什事を依頼できなかった事業者や、複数のデザイナー を比較して自社に合うデザイナーを見つけたい事業者に好評を得ている。

ワークショップ形式は、ベテランデザイナーのサポートにより若手デザイナーが経験を深めるなど人材育成に繋がっている。



福岡県

機関名	福岡県
部署名	商工部中小企業振興課新事業展開支援室
電話連絡先	092-643-3449

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザイン振興事業	平成 9 年度	10,895千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

本県における産業デザインの振興を目的として設立された「福岡県産業デザイン協議会」の活動を支援し、県内企業のデザインを活用した付加価値の高い商品開発を促進。

【福岡県産業デザイン協議会】

設立:平成9年11月 会長:唐池恒二(九州旅客鉄道㈱ 代表取締役会長)

会員:協議会の趣旨に賛同する企業、デザイナー、支援機関等 約220個人・団体

- ■デザイン開発ワークショップ
- ・企業が商品開発の過程で生じる様々な課題を持ち寄り、デザイナーの指導を受けながら、議論を通じて課題の解決を目指す。 県内4地域(各地域10社程度参加)で毎月1回開催。
- ■マッチング型デザイン開発相談
- ・複数のデザイナーによるマッチング型の個別相談指導を実施。
- ■福岡デザインアワード
- ・平成11年創設。デザイン性に優れた県内商品を表彰。公開審査会を兼ねた商品展示会を開催。

日時:平成27年10月20日、21日 場所:アクロス福岡

応募件数:145件 表彰件数:42件 来場者数:約1,200人

- ・東急ハンズ博多店など県内小売店等と連携した受賞プロモーション販売イベントや、展示会への合同出展などにより、受賞商品の 販路拡大を支援。
- ※併催イベント [デザインシンポジウム]

日時:平成27年10月21日 場所:アクロス福岡

演題:「デザインという思考の仕方とモノづくり」講師:名児耶秀美氏(アッシュコンセプト(株)代表取締役)

<事業に関する情報が掲載されているサイトURL>

http://fida.jp

次回実施予定及び評価

機関名 福岡市 部署名 経済観光文化局 国際経済・コンテンツ部 コンテンツ振興課 電話連絡先 092-711-4329 開始年度 補助予算額 全体予算額 ア成8年度 136,851 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

- ○福岡市では、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザインなどクリエイティブ関連産業の振興に取り組んでいる。
- ○デザイン分野については、産学官で構成する「クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)」において、NPO 法人福岡デザインリーグとも連携し、デザイン産業の振興に取り組んでいる。

<NPO 法人福岡デザインリーグ http://www.f-design.gr.jp/>

<クリエイティブ福岡推進協議会 http://www.creative-fukuoka.jp/>

次回実施予定及び評価

福岡県

機関名	北九州市
部署名	産業経済局新成長戦略推進室サービス産業政策課
電話連絡先	093 – 582-2285

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
産業デザイン振興事業	平成 15 年度	918 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

- ■福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携
- ○デザイン開発ワークショップへの参画(平成 27 年度は8社)
- ○FUKUOKA DESIGN AWARDへの参画
- ■デザインシンポジウムの開催

西日本工業大学デザイン学部と連携し、デザインの重要性や活用法を紹介し、企業のデザインの活用に関する意識の向上を図る。

【平成 27 年度実績】

- ·開催日時 平成 27 年 10 月 30 日
- ·参加者数 128 名

次回実施予定及び評価

福岡県

機関名	工業技術センターインテリア研究所
部署名	技術開発課
電話連絡先	0944-86-3259

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
福岡県工業技術センタークラブデザイン部会	平成23年度	4 5 0 千円
製品開発研究会(デザインブラッシュアップ講座)	一十成23年度 	430千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■福岡県工業技術センタークラブ(会員数:247 社)は、県内の創造的中堅・中小企業と工業技術センターが密接な連携を図り、研究開発を軸として国際競争力のある創造力溢れる産業の育成創出を目指すもので、その体制は4つの技術部会(ナノテク 材料・バイオ・デザイン・機械電子)で構成され、企業を主体として工業技術センターが事務局を務める。

「デザイン部会(会員:67 社)」は、加入企業を対象にデザインを主とした分野で「講演会」、「企業見学会」、「研究会」を開催し、参加企業の情報収集、意見交換の場を提供する。

特に研究会では、年間5社程度に絞って「デザインブラッシュアップ講座」を開講し、「製品企画、試作、展示表現方法、パンフレットのデザイン等」まで、一連の製品化を通した企業担当者の企画力育成を実践している〔個別企業集中方式〕。

実施体制は、大学のデザイン分野教授を中心に、企業担当者、当研究所研究員、及び学生を一つのユニットとし、企業毎にユニットメンバーを変えて年間 10 数回の講座を行う。

■【講演会】

期 日: H26年8月26日(火)、場所: アクロス福岡 608 会議室、参加者: 33名

テーマ: 『デザインの力を活用した商品開発』

講師:九州大学大学院芸術工学研究院 教授 森田 昌嗣氏 (※平成27年度については、平成28年1月15日(金)実施予定)

■【企業見学】

期 日: H26年12月8日(月)、参加者: 18名

訪問先:①㈱安川電機 ロボット工場、②新日鉄住金㈱ 八幡製鉄所

(※平成 27 年度については、平成 28 年 2 月実施予定)

■【デザインブラッシュアップ講座】

期 日: H27.4~ (延べ約20回予定)、企業数:6社場所: 九州産業大学講義室、及び企業での現地講座

講 師:青木 幹太(九州産業大学 芸術学部デザイン学科教授)



(写真左) 講座の様子

(写真右) 百貨店での展示出展



次回実施予定及び評価

- ・H28 年度以降も継続して実施予定
- ・商品を魅力的に見せる技術の重要性が認識され、受講を継続希望する企業が増加している

機関名	農林水産商工本部
部署名	新産業·基礎科学課
電話連絡先	0952-25-7421

	事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
7	デザイン思考普及推進事業	27 年度	4,500 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【事業内容】

「デザイン思考」を活用して、生産効率のみを追求する従来型のものづくりから、県内企業によるワクワクするものづくりを促進する。

【事業概要】

① 「デザイン思考」研究会開催(3,000 千円)

<活動内容>

- ・「デザイン思考」の基本的な考え方と手法の習得
- ・ワークショップによる「デザイン思考」を用いた商品企画・開発手法の修得
- ・事業デザインの基本的な考え方の習得
- ○デザイン思考ワークショップ入門編

講 師:佐賀大学デザイン思考研究所 ディレクター 松前あかね 氏

内容: (1) デザイン思考とは (2) デザイン思考の活用方法(3) 体験ワークショップ(4) 製品・サービス開発への展開

参加者:38名

○デザイン思考ワークショップ中級編

講 師:佐賀大学デザイン思考研究所 ディレクター 松前あかね 氏

内容:「デザイン思考」を活用するための実践的な知識や方法の修得

人々の価値観が大きく変化している今、ユーザー自身も気がついていない真のニーズや課題を発見し、新たな価値を創造することが、ものづくりに求められている。 本ワークショップでは、チームで新たな価値を創造する方法論である「デザイン思考」を実際に活用するための知識や方法について、より実践的なかたちで学ぶことを目的とする。

日 時: 平成 27年10月22日(木)~12月12日(土)(全5回)、参加者: 28名

【第1回】対象を観察し、気づいていない価値や課題を発見する

【第2回】アイデアをかたちにする

【第3回】仮説を検証する

【第4回】愛着・固執を手放し再挑戦する

【第5回】相手に価値を伝える

② 「デザイン思考」セミナー開催(1,000 千円)

日 時: 平成28年2月12日(金)15:00~17:00(予定)

場 所:グランデはがくれ(佐賀県佐賀市)

演 題:小さな会社のブランド戦略をつくってみよう! (仮)

講 師: 村尾 隆介 氏

内容: ~矢印に気がつけば、その経営は半ば成功したようなもの~ (仮)

全国の小さな会社・お店の経営者やスタッフ向け。大きな会社のブランド戦略との違いにフォーカス。

参加者:50名程度(予定)

次回実施予定及び評価

平成28年度も実施予定(事業期間H27年度~H30年度)

機関名	農林水産商工本部
部署名	新産業·基礎科学課
雷話連絡先	0952-25-7421

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
データ&デザイン新市場創出事業	26 年度	7,998 千円
) 一分及ナリイン利川・場別山事未		20,139 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

【事業内容】

データサイエンス及びクリエイティブの視点から、企業の課題を発掘・解決する人材・組織の活動を推進することにより、県内企業の生産性改善や付加価値向上に寄与するとともに、県内での新たな BtoB 市場の創出を図る。

※うち、ここでは クリエイティブエージェント活動促進事業について記載

【事業概要】

クリエイティブエージェント活動促進事業(7,998千円)

<活動内容>

① 案活動 及び 課題解決支援事業

クリエイターが「デザイン」の観点から、中小企業の課題解決を支援する。Web サイト/SNS 活用やアプリ開発や広告宣伝ツールの制作などに対して 補助を実施。事業主体 C-revo in Saga コンソーシアム* により実施。課題解決実施(補助)件数 H26 年度 27 件 /H27 年度 25 件 ※クリエイティブ産業の活性化を目的とした組織。(株)とつべん、シエマ、(株)ウェアサーブ、佐賀大学教授で構成。

【事例】

サイト・EC サイト構築

警備業の人材確保のための 採用ウェブサイトの構築

会社の風土、スタッフの人柄、仕事のやりがいなどを的確に 伝える求人に重点を置いた企業サイトを構築。



PV など映像制作

「BOWTIE」の 海外マーケティング映像の制作

磁器製の「BOWTIE」プロモーションビデオ。 海外でのファッションショー、展示会等で活用。



チラシ等販促資材

新規サービスのブランディング

新サービスのパンフレットを作成、裏面にはサービスの 概略図をイラストで表現。セミナー参加企業への配布 等により活用。



その他アプリなど

イベント用インフォ&スタンプラリーアプリ開発

イベントの告知や会場案内までを行う機能を備えたウェブ &スマートフォン一体型アプリの構築により、集客・顧客 満足度を向上.



②イベント ・啓発活動等

(1) C-revo ミーティング

佐賀市内のミニシアター兼コミュニティースペース「シアターシェマ」を会場に隔月開催中。 毎回、20~30名規模でのトークセッションやクリエイターによるプレゼン、交流会を開催。

(2) コンテンツデザインコンテスト

佐賀大学が主催する「佐賀大学コンテンツデザインコンテスト」に協賛、協力する形で、コンテストを実施。 H27 年で 4 回目を迎え、過去の大賞受賞者が、地元のメディアで活躍するなど、実績を上げている。

【公開審査会】 受賞作品の上映とともに、製作者がプレゼンテーションによる作品解説を行う。

優秀作品の制作者には、高校生、学生、一般の各部最優秀賞及び佐賀県知事賞などの特別賞を授与する。

日 時: 平成 27年11月28日(土)

場 所:佐賀大学美術館 SUAM (佐賀県佐賀市)

発表作品: 27 作品、来場者: 約 100 名





<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/_1159/_32792/_80664.html

次回実施予定及び評価

平成28年度も実施予定(事業期間H26年度~H28年度)

機関名	佐賀県工業技術センター
部署名	生産技術部 分室 諸富デザインセンター
電話連絡先	0952-47-5601

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術ワークショップ事業 戦略的デザイン活用研究会	平成 27 年度	1,117 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

テーマ

- ■デザインを企業活動において戦略的に活用する方法や考え方の普及
- ■商品などの高付加価値化や企業競争力の強化を目的としたデザインの活用方法の習得

主催

■佐賀県工業技術センター

対 象

■家具木工関連業者、機械・電機関連業者、デザイナー、支援機関 など

活動の内容

- ■商品企画や開発手法に関するスキル向上を目的とした、外部講師等を招いた研修会の実施、企業の商品開発に関するデザイン指導 など
- □デザインセミナー

テーマ:企業価値を高めるためのデザインの活用

講 師:田子學氏(株式会社エムテド代表取締役)

日 時:平成27年7月31日/場所:佐賀県工業技術センター/参加者:58名

□研修会

テーマ:魅力ある家具のデザイン創造について

講 師:服部滋樹氏 (graf 代表 有限会社デコラティブモードナンバースリー 代表取締役) 他

日 時: 平成27年12月7日/場所:諸富デザインセンター/参加者:17名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.saga-itc.jp

次回実施予定及び評価

機関名	佐賀県工業技術センター
部署名	生産技術部 分室 諸富デザインセンター
電話連絡先	0952-47-5601

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術ワークショップ事業 バリアフリーデザイン研究会	平成7年度	219 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

テーマ

- 県内の家具・建具製造技術等を応用した、高齢者や障害のある方も安心して使用できる家具・インテリア製品についての研究 及びユニバーサルデザインについての研究
- ■県内の機械加工、制御、自動化技術等を応用した、高齢者や障害のある方の生活支援につながる機器についての研究
- ■メーカーと医療・福祉関係者のネットワーク構築

主催

■佐賀県工業技術センター

会員構成会員数:28名

- ■家具木工関連業者(量産家具メーカー、特注家具メーカー、建具メーカー、工務店)
- ■機械・電機関連業者(プラントメーカー、自動化メーカー、環境機器メーカー)
- ■医療・福祉従事者■大学■デザイナー■建築士

活動の内容

- ■商品開発/開発テーマに応じて関係する会員が集まり、機能や使いやすさ、デザインの検討を行っている。
- ■研修会/外部講師等を招き、研究会の活動成果に対する評価会の開催や、会員のスキル向上を目的とした研修会を実施 している。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.saga-itc.jp

次回実施予定及び評価

機関名	佐賀県窯業技術センター
部署名	陶磁器部デザイン担当
電話連絡先	0955-43-2185

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額	
住宅向屋外製品開発支援	H26 年度	996 千円	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

事業内容

背景

長引く食器市場の低迷により、県内陶磁器業界からは活路の見出せる製品開発が望まれているところである。当センターでは有田エクステリア研究会をとおして市場調査に基づき玄関アプローチ周辺の製品開発を行ってきた。エクステリア市場では認知されてきたが、さらなるアイテム拡充が要望されている。継続して有田エクステリア研究会の製品開発を支援している。

内容

- ・エクステリア&ガーデンに関する新製品の開発支援 屋外でのキッチンシンク、家庭菜園用のコンテナ、ポット、プランター等
- ・エクステリア関連展示会への出展支援

協力機関

- •佐賀県陶磁器工業協同組合
- ・有田エクステリア研究会(4社)

株式会社ヤマトク

岩尾磁器工業株式会社

有限会社しん窯

有限会社副正製陶所

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.scrl.gr.jp.

http://www.aritayaki.or.jp/?page_id=3390

次回実施予定及び評価

機関名	佐賀県窯業技術センター
部署名	陶磁器部デザイン担当
電話連絡先	0955-43-2185

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額	
陶磁器デジタルデザイン技術講習会	H26 年度	1,000 千円	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

事業内容

有田焼を中心とした佐賀県内の窯業産地において、「陶磁器デジタルデザイン技術」と称して、製造プロセスに 3D デジタル関連技術を導入して革新する取り組みを 20 数年来続けている。

陶磁器の量産では、石膏による型を使用する。従来は製品図面等から、職人が手作業で試作や量産のための石膏型を制作してきたが、精度向上が難しいこと、熟練した職人が退職し後継者が十分に育っていない、等の問題がつきまとっていた。導入の根幹となるのは、製品デザインをコンピュータ上で行える技術者の育成であり、以前から、3D モデリングソフトウェア Rhinoceros の操作法習得のための講習会を実施している。

平成 26 年度からは電源立地交付金の補助により、外部から講師を招聘して実施している。

期日(平成27年度実績)

1回目: 平成 27 年 10 月 6~8 日 (3 日間、10~17 時) 2回目: 平成 27 年 11 月 9~11 日 (3 日間、10~17 時)

内容

3D モデリングソフトウェア Rhinoceros の基本的な操作習得、簡易な陶磁器形状の3Dデータ制作、3Dプリンター出力体験、等

講師

株式会社アプリクラフトに依頼

受講者

計8名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.scrl.gr.jp

次回実施予定及び評価

機関名	長崎県
部署名	産業労働部 企業振興・技術支援課 / 窯業技術センター
電話連絡先	095-895-2525 / 0956-85-3140

事業名	開始年度 補助予算額 全体予算額	
グッドデザイン商品開発力向上支援事業	平成26年度	4,676千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内のデザイナーと企業等によるネットワークを構築するとともに、優れたデザインの商品を選定・表彰することにより、県内企業のデザイン開発意欲やデザイン力の向上を図る。(平成23~25年度までは「中小企業デザイン力強化対策事業」として実施。)

■長崎県産業デザインネットワーク(NID-net)

長崎デザインアワードの開催、デザイナーズバンクの運営のほか、会員相互の交流や産業デザインに関する情報発信等を行っている。

設 立:平成23年7月、事務局:長崎県窯業技術センター

会 長:松尾慶一氏(白山陶器㈱代表取締役社長)

会 員:県内企業、デザイン会社、デザイナー、金融機関、商工団体等 200者

■長崎デザインアワード2015

第5回目となる平成27年度は、県内で企画・開発された製品のうち、平成26年4月1日から平成27年7月31日までに商品化され、現在も販売されているものを対象に開催し、大賞以下入賞19点、入選27点を選出した。

募集期間:平成27年6月1日(月)~7月31日(金)

募集部門: ①生活デザイン部門 ②パッケージデザイン部門 ③工業デザイン部門、 応募総数: 137点

選定委員:山村真一 氏(㈱コボ 代表取締役社長)、かねこしんぞう 氏(Indexplus 代表取締役)、左合ひとみ 氏

(㈱左合ひとみデザイン室 代表)、塚本カナエ 氏(Kanae Design Labo 代表)、森田昌嗣 氏(九州大学

大学院芸術工学研究院 教授)

表 彰 式: 平成27年11月2日(火)、展 示 会: 平成27年11月2日(火)~11月7日(土)

場 所:長崎県美術館、主 催:長崎県産業デザインネットワーク、 共 催:長崎県

■デザインセミナー

期 日:平成27年11月2日(火)、場 所:長崎県美術館

テーマ:地域創生を担う長崎デザイン! ~長崎デザインアワード 2015 の受賞作から~

講 師:山村真一 氏(㈱コボ 代表取締役社長)、かねこしんぞう 氏(Indexplus 代表取締役)、参加人数:45名

■デザイナーズバンク

県内企業等からのデザインに関する相談に対して、事務局が登録デザイナーを紹介する。デザイナーがデザインの方向性についてアドバイスする範囲であれば、1企業あたり3回まで無料で相談できる。(交通費は企業負担。)

デザイナーズバンク登録者数:37名、無料相談対応予定数:10社程度

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/nid_net/

次回実施予定及び評価

機関名	長崎県
部署名	産業労働部 食品産業・産地振興室
電話連絡先	095-895-2637

事業名		開始年度	補助予算額 全体予算額	
クリエーター支援事業		平成27年度	4,000千円	
プル / 又版学未		十八八乙,十八〇	7,513千円	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

首都圏等で活躍する本県出身クリエーターと県内クリエーターとの交流による技術力の向上を図るとともに、県内メーカーと連携した商品開発等を支援。

■ものづくりを支えるクリエーターの集団化

プロダクト、パッケージ、WEB などの商品デザイン周りだけなく、建築家、写真家、映像作家、コピーライターなど、自身の職能をモノづくり、地域づくりなどに働かせる、県内在住もしくは首都圏を中心に活躍する県出身のクリエーターが集まる機会を創出。

- クリエーター同士の交流による技術力向上 クリエーター間でノウハウを共有するため、技術交流・情報交換会を開催。
- ■プロジェクトチーム(県内外のクリエーターから構成)によるものづくり県内メーカー支援
- ·採択件数 2件 補助金:2,000千円/件以内

次回実施予定及び評価

機関名	長崎県
部署名	窯業技術センター
雷話連絡先	0956-85-3140

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額	
共同研究 / 技術相談	_	_	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■共同研究

窯業技術センターと県内企業、大学、他の研究機関等と連携し、技術的な課題解決や新製品開発及び製品の改良などについて共同で研究開発を実施。共同研究で得られた成果については、商品化支援、知財の共同出願等に繋げている。

平成26年度実績:「波佐見焼陶磁器絵付技法を応用した歯科補綴装置作製法の開発」

「既設のガードパイプを利用した階段昇降アシスト手すりの開発」

「3 D技術を活かしたコーヒー抽出機具の開発」 「透光性磁器素材を活用した飲食器の開発」

■技術相談

県内企業、個人、団体等からの商品開発をはじめデザイン全般に関する相談について対応。

平成26年度実績:新商品開発、商品の改良、パッケージデザイン、3次元 CAD データ作製について等、334件の相談に対応。

次回実施予定及び評価

機関名	長崎県
部署名	窯業技術センター
電話連絡先	0 9 5 6 - 8 5 - 3 1 4 0

事業名		在世	排助予算額 全体予算額
技術人材養成事業		成元年度 2,	277千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

本県陶磁器関連企業の技術者、後継者等を育成するため、以下の事業を行う。

① 技術研修事業

新製品の開発や生産技術の向上を図るため、陶磁器業界の後継者や技術者を研修生として受け入れ指導を行う。

② セミナー事業

技術情報、デザイン情報の迅速な提供及び技術革新に対応できる意識改革を図るため、外部講師を招いてセミナー等を開催する。

期 日:通年

場 所:長崎県窯業技術センター、他

実施団体:長崎県窯業技術センター

参加人数:平成26年度実績

① 技術研修事業 12名

(3次元 CAD、Illustrator/Photoshop、デザイン手法等)

② セミナー事業 47名

(企画や商品開発のために知っておきたい世界観と処世訓)

次回実施予定及び評価

機関名	長崎県
部署名	窯業技術センター
電話連絡先	0956-85-3140

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
意匠開発支援事業	平成20年度	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

波佐見焼、三川内焼の新商品開発支援、販路拡大を目的に、デザインおよび技術の支援を実施。

① 波佐見

東京ドーム「テーブルウェア・フェスティバル」に出展する企業の商品開発のため、企画 検討会議と各社の訪問指導を行い、各社それぞれの特徴を生かしたデザインの商品開発を支援。

② 三川内

消費地等での展示会に出展する三川内焼の窯元の支援のため、各社の訪問指導を行い、三川内焼の伝統技術・技法を活かした商品開発を支援。

期 日:平成27年4月~平成28年1月

場所:波佐見陶磁器工業協同組合及び窯元各社、三川内陶磁器工業協同組合及び窯元各社

実施団体:波佐見陶磁器工業協同組合、三川内陶磁器工業協同組合

参加人数:平成26年度実績

① 波佐見 14社

② 三川内 12社

次回実施予定及び評価

熊本県

機関名	熊本市
部署名	農水商工局商工振興課
電話連絡先	096-328-2424

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
くまもとデザイン協議会会費	昭和 62 年度	20 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

■産業デザインの振興を目的に産学官合同で昭和62年に設立された「くまもとデザイン協議会」(設立時名称「くまもと産業デザイン協議会」)に対し、負担金(会費)を支出し、その活動を支援。

【くまもとデザイン協議会】

会長: 川口 滋(熊本県広告美術協同組合理事長)

会員: 18名(団体の会員を含む)

主な活動:

◆「DESIGN EXPO 展 |

2013年9月30日~10月6日 セミナー参加260名、交流会参加60名2014年9月30日~10月5日 セミナー参加370名、交流会参加130名2015年10月6日~10月11日 セミナー参加323名、交流会参加82名

2013 年 4 月に結成した熊本産業デザイン振興連絡会議の幹事団体として、2013 年より毎年 10 月のデザインの日のころに、熊本県工業連合会との共催で、熊本県、熊本県産業技術センター、熊本市、日本弁理士会の協力を得て、各種デザインセミナー、デザイン×知財の相談会を開催している。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kd21.org/

次回実施予定及び評価

熊本県

機関名	熊本県産業技術センター
部署名	技術交流企画室
雷話連絡先	096-368-2101

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術相談/カスタムメイド試験研究事業	_	_

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

○技術相談

商品開発に関する相談全般について対応。これから商品開発を取り組んでいこうと考えている企業の方、現在、商品開発に取り組んでいて問題や悩みを抱えている企業の方等からの相談を受け付けている。

○カスタムメイド試験研究事業

産業技術センターが、研究開発、測定・分析、技術者研修等に関する企業からの要望に応え、受託料を受けて実施する事業。デザイン分野では、県内企業の商品開発、ユーザビリティ評価等に関するテーマを受け付けている。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.kumamoto.jp/support/guidance.html

次回実施予定及び評価

熊本県

機関名	熊本県産業技術センター
部署名	技術交流企画室
電話連絡先	096-368-2101

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
技術普及講習会(産業デザイン関連)	_	-

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内企業に対し、商品企画から製品開発(工業デザイン、設計、解析、材料選定、ソフトウェア開発、試作)、コンピュータ利用技術、情報処理等の最新の技術情報などを県内企業に普及するために、外部講師の協力による最新技術の普及セミナー等を行っている。

特に(一社)熊本県工業連合会と連携し、デザインの手法や事例を提供することで、デザインの必要性や価値に ついて、体験してもらう、感じてもらうために、「デザインのすゝめ」と銘打ったセミナーやワークショップを開催している。

- ○過去に開催したテーマの事例 (一部)
- ・ランチェスター経営戦略(中小規模事業者ならではの経営戦略)
- ・ビジネスモデルキャンバス
- •極端思考発想法
- ・インクルーシブデザイン
- ・ゲームニクス

次回実施予定及び評価

大分県

機関名	大分県
部署名	商工労働部 大分県産業科学技術センター
電話連絡先	097-596-7100

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
グッドデザイン商品創出支援事業	平成 19 年度	1,212 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 事業目的県内中小企業の商品開発の各段階において的確できめ細やかな支援や、市場競争力のある商品を創出し、経営資源としての「デザイン」を定着させ、売れる商品を生み出すことのできる企業を育成する。

2. 実施主体 大分県

3. 事業の内容

(1) 商品企画ステップアップ事業

対象:支援企業5社程度、期間:約7ヶ月(会議開催、約2回/月)

内容:商品企画書を公募し選定された企業の商品企画について、アドバイザー等と共に商品企画プロジェク

トチームを組み、調査・分析・発想等の共同作業により企画作成を支援する。

(2) 商品化サポート事業

対象:支援企業3社程度、期間:約7ヶ月(会議開催約2回/月)

内容:高い市場性を期待できる商品企画書を公募により選定し、外部デザイナー等と共に、設計、試作、量産化といったアイデアをカタチにしていくための実務的作業およびパッケージ、リーフレット、広告、展示会出展等、商品の市場導入や販路開拓を総合的に支援する。





<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.oita-ri.jp/riyou-guide/gd-boshu

次回実施予定及び評価

大分県

機関名	大分県
部署名	商工労働部 工業振興課
電話連絡先	097-506-3266

	事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
	用途提案型クリエイターマッチング事業	平成 27 年度	2,400 千円
		十八 27 千反	2,790 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1. 事業目的

プロダクトデザイナーの力で地方の産業を元気にするため、県外のクリエイターと地場産業・県内企業とのコラボレーションで高度なデザインの商品を開発する。

2. 実施主体 大分県

3. 事業の内容

対象:支援企業3社

テーマ: 衣食住等の日常生活や趣味を豊かにする新しいデザイン雑貨、 その他幅広い分野の製品

内容: 県内企業(製造業)が持つ技術や素材を県が公募により選定し、マッチングコーディネート企業が、新たな用途やデザインの募集から試作品の開発(プロダクトデザイナーとのコラボによる商品開発)まで一貫して支援する。 県内芸術文化ゾーンでの成果発表、グッドデザイン賞の応募を目指す。

次回実施予定及び評価

宮崎県

機関名	みやざきフードビジネスアカデミー事務局
部署名	総合政策部フードビジネス推進課
南丰油级生	みやざきフードビジネスアカデミー事務局 0985-61-6118
電話連絡先	総合政策部フードビジネス推進課 0985-26-7052

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
みやざきフードビジネスアカデミー	平成26年度	04 660 TIII
(今スグ使えるチラシPOPデザイン実践塾)	(平成27年度)	84,669 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

県内のフードビジネス関連事業者の成長段階に応じ、経営マネジメントや販路開拓、商品ブラッシュアップなどの 分野別のセミナーを実施する標記アカデミの一環として、デザイン関連講座を実施。

チラシ·POPづくりに必要な4つの要素を伝える、4人のプロ講師が集結。-





デザイン設計・レイアウト (株) 宮崎県ソフトウェアセンター 小山 貴美雄氏



カラーコーディネート Cees color 佐藤 智恵氏



手書きコト POP (株) 山口茂デザイン事務所 山口 茂氏



キャッチコピー・ライティング ㈱風土&フードデザイン YOSHIMURA 吉村 尚子氏

■ 今スグ使えるチラシ P O Pデザイン実践塾

売上アップのため、チラシ P O P 作成の基本となるコンセプトから制作までを学ぶ。

実施時期:平成27年10月~12月

実施回数:7回

実施手法:民間委託

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://mfba.jp/

次回実施予定及び評価

- ●未定
- ●募集後すぐ定員に達するなど、ニーズが高いものと思料される。

	166 88 22	7 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		
	機関名	│ みやざきフードビジネス相談ステーシ	/ヨン	
宮崎県	部署名	総合政策部フードビジネス推進課		
	電話連絡先	みやざきフードビジネス相談ステーシ	ション 0985-89-4452	
	电前连桁九	総合政策部フードビジネス推進課	0985-26-70	52
車		即松左帝	補助予算額	

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
みやざきフードビジネス構想推進事業	平成25年度	E4 102 III
(みやざきフードビジネス相談ステーション)	十成23十反	54,103 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

標記事業の一環として、フードビジネスに関係する企業等の様々な相談に適切に対応するため、総合受付窓口として「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、相談内容に応じた支援機関や専門家を紹介するなど、各支援機関を有機的に「つなぐ」ネットワークを強化し、利用者の利便性向上を図っている。



■デザイナーズバンク

県内企業等からのデザインに関する相談に対して、事務局が登録デザイナーを紹介。

登録デザイナー数:40名

デザインに関する相談件数:158件/H26(全相談件数:1,098件/H26)

対象デザイン:加工品・青果物などのパッケージデザイン

POP・店頭販促品などのデザイン

食品に添付するリーフレットやウェブなどのデザイン

* 工業デザイン、衣装デザイン、建築デザインなどは対象外

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.i-port.or.jp/food/

次回実施予定及び評価

- ●継続して実施予定
- ●製品等の高付加価値化・差別化等のため、デザインに関する相談は多く、ニーズが高い。 マッチング事例の中には大きく売上を伸ばす企業があるなど成果が上がっている。

宮崎県

機関名	工業技術センター
部署名	企画・デザイン部
雷話連絡先	0985-74-4311

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
企業技術支援事業(工業デザインに関する研究)	平成12年度	7 4 6 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

宮崎におけるグッドデザイン開発支援に関する研究

県内中小企業等の商品開発やデザイン開発力向上を図るため、グッドデザイン賞審査基準を指標とした商品開発企画とデザイン研究支援を行う。

平成27年度は、宮崎県内デザイナー・デザイン関連団体及びデザイン活用企業等と連携したデザインセミナー 等の開催を予定している。

平成26年度実績

○みやざきデザインセミナー

「成功する商品開発ブランドづくりのための実践的な感性マーケティング活用研究」

期 日:平成26年7月4日(金)

場 所:宮崎県工業技術センター

内容:感性マーケティング活用研究

「成功するための商品開発ブランドデザインと感性マーケティングの活用」

講師:宮内博実氏 デザインインテグレート代表

宮崎の本格焼酎及び平兵衛酢(へべす)について、感性評価システム「9イメージ分類 (WAT9) 」を活用したイメージ分析調査紹介と講演会を開催した。

参加人数:31機関51名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.miyazaki.jp/

次回実施予定及び評価

宮崎県

機関名	工業技術センター
部署名	企画・デザイン部
電話連絡先	0985-74-4311

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
みやざき新産業創出研究会事業	平成12年度	2 5 2 千円
(商品開発ブランドデザイン分科会)	十成12千度	232717

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

商品開発ブランドデザイン分科会(前「デザイン研究会」)の開催運営

商標ブランドセミナーや相談会等を開催し、県内企業の新産業創出のためのデザイン活動を支援を行う。

平成27年度は、宮崎におけるデザインネットワーク推進とデザイン振興に関する会議・シンポジウム等の開催を予定している。

平成26年度実績

○商品開発ブランドデザイン分科会「感性マーケティング活用研究」

期 日: 平成26年10月2日(木)、10月3日(金)

場 所:宮崎県工業技術センターほか

内 容:①講演「平兵衛酢(へべす)報告会」、「本格焼酎報告会」

講師:宮内博実氏 デザインインテグレート代表

②デザイン相談会

参加人数:43機関66名

上記以外に、2回の分科会を開催した。(参加総数:95機関143名)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.iri.pref.miyazaki.jp/

次回実施予定及び評価

機関名	鹿児島県
部署名	商工労働水産部 産業立地課
電話連絡先	099-286-2970

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
_	平成20年度	千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

◆ かごしまデザインフェア「デザイン百覧会」の開催(各種団体との共催)

県内におけるデザインマインドの高揚と、県内企業・デザイナーのデザイン開発力の強化を図ることを目的に、作品や商品の展示会を開催している。

○主 催 : かごしまデザインフェア実行委員会

(鹿児島県, (公財)かごしま産業支援センター, (公社)鹿児島県工業倶楽部,

特定非営利活動法人鹿児島デザイン協会)

○日 時 : 平成27年2月20日(金)~22日(日)

○場 所 : かごしま県民交流センター

○イベント: ・作品, 商品の展示会 ・ワークショップの開催

・ファッションショー・ミュージックギャラリー・スピーチライブ・知財活用セミナー

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

http://www.kagoshimada.com

次回実施予定及び評価

機関名	鹿児島県
部署名	商工労働水産部 経営金融課
雷話連絡先	099-286-2951

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
食品関連産業デザイン活性化事業	27 年度	12,274 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

1 目的

県内食品関連企業のデザイン性に優れた売れる商品づくりの促進

2 事業内容

(1) セミナー

・ 内 容:容器包材の選び方,ブランディングの進め方など (対象:県内食品関連企業,デザイナー等)

(2) 企業とデザイナーのマッチング

・ 内 容: 県内企業と地元デザイナーの出会いの場を提供 (対象: 県内食品関連企業 50 社程度, デザイナー20 人程度)

(3) ワークショップ

・ 内 容:県内企業と地元デザイナーによる商品デザインの制作を支援 (対象:県内食品関連企業5社程度)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> http://food-design-k.jp

次回実施予定及び評価

28年度まで継続予定

機関名	鹿児島市経済局経済振興部
部署名	産業創出課
雷話連絡先	099-216-1319

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
クリエイティブ産業創出支援事業	平成25年度	13,492 千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

市内デザイナーのスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、「かごしまデザインアワード」を開催するとともに、受賞作品の販路開拓を支援するほかデザイン関連講座や市内企業とデザイナーのビジネスマッチング機会の提供などを行うことで、デザイン産業の人材育成や本市商工業者のマーケティングカの向上及び製品等の競争力の強化を図る。

◇「かごしまデザインアワード2015」の開催

①概要:市内企業からのデザイン課題に対して、作品を募集し、優秀な作品に褒賞を与えるとともに、商品化に向けた支援を行う。

②テーマ:「鹿児島をリデザインする」

③課題:市内6者(パブリック部門1者を含む)

・「サッカーチームのキャラクターデザイン」・「焼酎のパッケージデザイン」

・「ホテルのインテリアデザイン」・「ピザのパッケージデザイン」

・「スイーツのパッケージデザイン」・「動物園の販促物デザイン」

④応募総数:350作品

※本年度より別途学生部門を新設し、若年層の人材育成にも力を入れております。

◇10年後の鹿児島を担うクリエイティブ企業養成塾(全5回)

①概要:デザイン、マーケティング、流通など、これからの鹿児島の企業に必要な、販路開拓や商品開発のベースとなる知識を体系的に取得することを目指したセミナーを行う。

②期間:平成27年8月18日~12月18日

③参加企業:12者

◇クリエイター向け首都圏 UI ターンイベント

①概要: 鹿児島市に UI ターンを考えているクリエイター (デザイナーを含む) の方を対象に、首都圏で鹿児島市での仕事環境、状

況の情報を提供するイベントを行うことで、移住の促進を図る。

②期日: 平成27年9月4日

③参加者:19名

◇クリエイター向けオーディション

①概要:クリエイター(デザイナーを含む)に発表の場を作ることで、企業とのマッチングを図る。

②期日:平成28年2、3月頃

◆事業に関してはすべて民間委託によって実施されています。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

 $\underline{\text{http://www.city.kagoshima.lg.jp/keizai/keizaishinko/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/design-camp2015.html}$

次回実施予定及び評価

機関名	鹿児島県工業技術センター
部署名	企画支援部
電話連絡先	0995-43-5111

事業名	開始年度	全体予算額(2カ年)
レーザ加工機を用いた表面加飾技術の研究	平成27年度	496千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

目的:

レーザ加工機は、木材をはじめ金属などの切断などに用いられているが、焦点距離や、プログラムの制御の工夫により、素材の表面に対し、手加工では表現できない多彩な表現が出来る。レーザ加工技術を用いて工芸用素材の新たな表面加飾技術を開発する。

研究内容:

- ・レーザ加工機を利用した工芸品製作技術の研究
- ・レーザ加工機の加工条件の検討(焦点位置,出力,パルス照射,送り速度等)
- ・県内工芸素材への加工方法および工芸的表現手法(彫刻、精密加工等)の確立
- ・レーザ加工機による工芸的表現手法(彫刻,精密加工等)を利用したサンプル作成

次回実施予定及び評価



沖縄県

機関名	ものづくり振興課
部署名	商工労働部
電話連絡先	098-866-2337

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
沖縄県工芸製品新ニーズモデル創出事業	平成23年度	9,424千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

<事業概要>

沖縄県では工芸産業の活性化を目的に、現代の社会ニーズに対応した製品づくりを模索している工芸事業者を 発掘し、各種勉強会の実施、試作品製作補助、展示会出展等の支援を行います。

<支援内容>

- ① 県外市場における現代のニーズを探る調査への参加
- ② 流通販売のプロによる先進事例セミナーへの参加
- ③ 自分のターゲットを明確に設定する勉強会
- ※④ 県内外のデザイナーによるアドバイス支援
 - ⑤ 技術開発における専門家からのアドバイス支援
 - ⑥ 販売専門家による原価計算、流通量生産計画などのアドバイス支援
 - ⑦ 試作品開発のための経費支援(補助率75%)
 - ⑧ 告知の手法を学ぶ勉強会への参加
 - 9 HP,パッケージなどの制作支援
 - ⑩ 県外展示出品までの支援
 - ⑪ 県内外流通関係者の招聘と講演会
 - (2) 終了後、希望者については全国のインテリア、セレクトショップへの営業支援

<支援事業者>

年5~7者程度(公募により決定)

次回実施予定及び評価

沖縄県

機関名	沖縄県工芸振興センター
部署名	商工労働部
雷話連絡先	098-889-1186

事業名	開始年度	補助予算額 全体予算額
工芸感性価値創造人材育成事業	2 7年度	14,868千円

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数 など)

工芸事業者における工芸製品の高度化、多様化を促進することにより、本県の工芸産業の振興を図ることを目的とする。 具体的には、伝統的な工芸資源(図案・技法・素材など)を活用し、現代ニーズに即した、新しい感性価値による工芸製品を創造する人材を育成する。

平成 27 年度事業は、育成人数 = 3×4 グループ = $1 \times 2 \times 4$ であり、「コンセプト企画力」、「デザイン開発力」、「ブランド アルカ」の習得を行っている。

事業は公募、審査会を経て受託事業者を決定し、工芸振興センターの職員と連携しながら、推進している。

次回実施予定及び評価